

用途別実態把握

用途別実態把握

（１）市民会館

１）施設概要

① 設置目的等

市民の文化活動やコミュニティ活動を支援するため、昭和63年に北部市民会館、平成4年に中央市民会館を開設しました。設置当時、地域住民の利用を主とする13地区の公民館以外に、幅広く市民が利用できる集会施設は、越谷コミュニティセンター（会議室、和室）のみとなっていました。そこで、市域を北部、中央、南部の圏域に分け、南部の圏域は越谷コミュニティセンターの利用を想定し、北部と中央に北部市民会館と中央市民会館を整備しました。それぞれの施設では、設置当初から管理業務を委託し、現在は指定管理者制度を導入しています。



中央市民会館

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡) ※	建築年度	構造 (主たる建物)	複合・併設施設の状況	備考
1 中央市民会館	越ヶ谷四丁目1番1号	12,288.99	平成4	鉄骨鉄筋 コンクリート造	<ul style="list-style-type: none"> 中央市民会館: 8,077㎡ 越ヶ谷地区センター・公民館: 569㎡ 障害者福祉センターこぼと館: 1,026㎡ その他行政機能等: 2,617㎡ 	
2 北部市民会館	大字恩間181番地1	3,119.26	昭和63	鉄筋 コンクリート造	<ul style="list-style-type: none"> 北部市民会館: 2,623㎡ 北部市民会館図書室: 315㎡ 北部出張所: 182㎡ 	
合計		15,408.25				

※併設施設面積を含む

② 開館時間・休館日・開館日数

施設名	開館時間	休館日	開館日数
中央市民会館	午前9時～午後9時30分	年末年始 (12月29日～1月3日) 施設点検日	356日
北部市民会館		毎月第2、第4月曜日 年末年始 (12月29日～1月3日)	334日

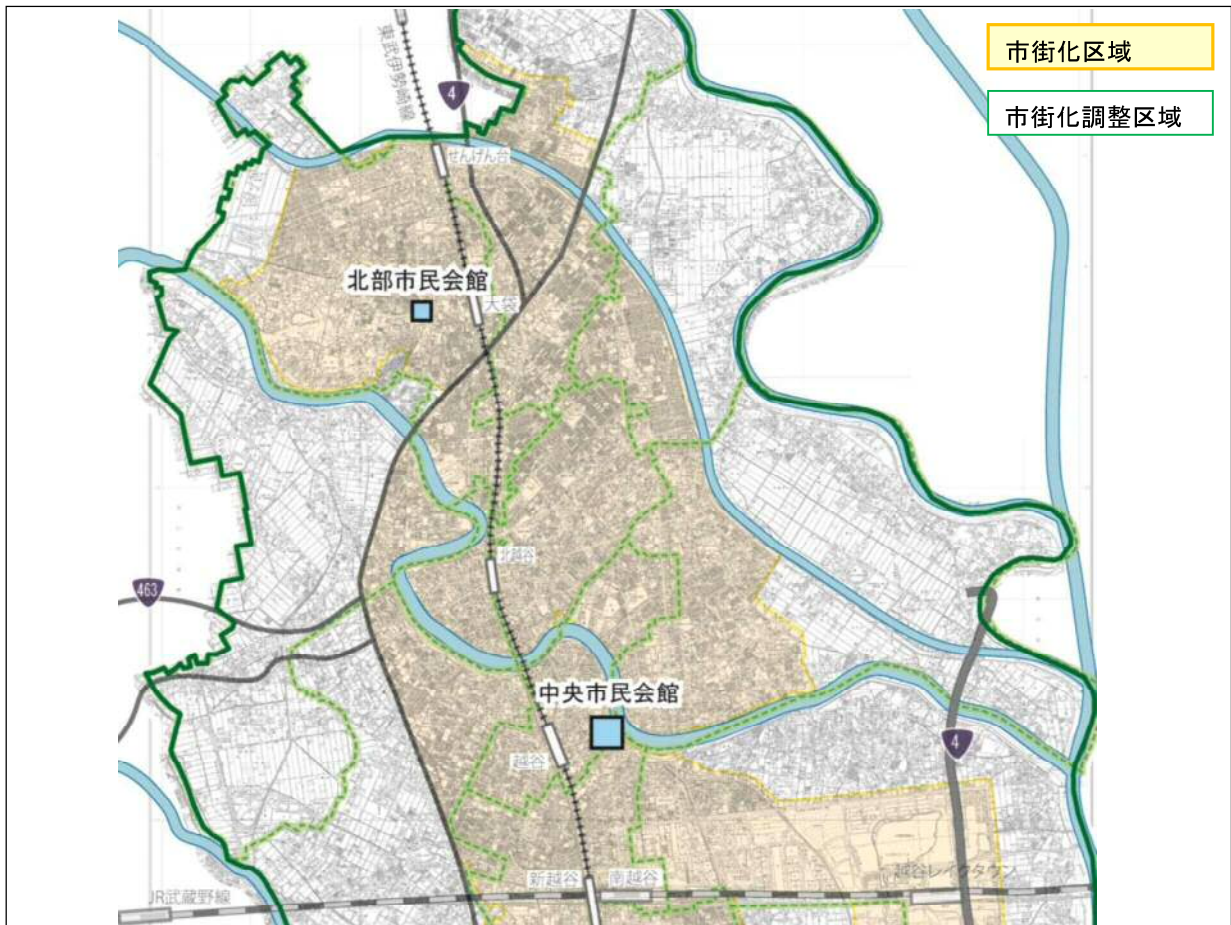
③ 事業内容

市民会館は、約330席を備えた劇場の他、多目的ホールや各種会議室を備え、文化や福祉活動の拠点としての活動を行っているほか、地域の避難所にも指定されており、大規模災害時の防災施設としての機能を担っています。

④ 配置状況

市北部に北部市民会館、市中央に中央市民会館を設置しています。

市民会館位置図

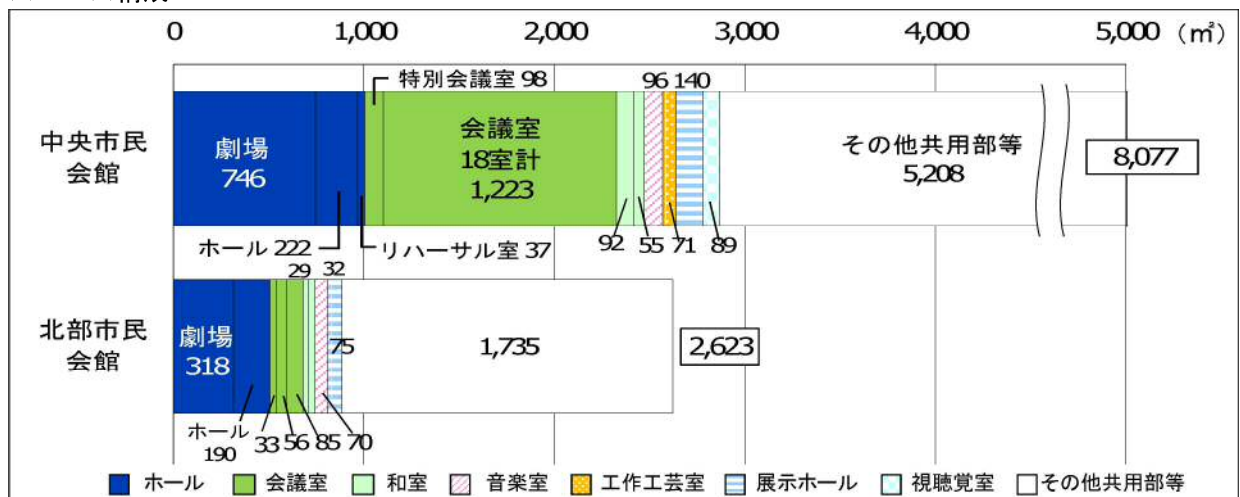


⑤ 施設の用途別面積

市民会館の規模は、中央市民会館 8,077 m²、北部市民会館 2,623 m²となっています。

主な保有スペースは、劇場、ホールを中心に、会議室、音楽室、展示ホール、その他共用部等となっています。

スペース構成



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 市民会館のスペック情報

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応				
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等
1	中央市民会館	平成4	12,289	不要	21	平成23	2	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
2	北部市民会館	昭和63	3,119	不要	25	平成22	3	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
合計			15,408															

記載例	実施済み : ○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施 : ×	
	不要 : —	

中央市民会館と北部市民会館は、昭和57年以降の新耐震基準の建物で、建物の安全性上の問題はなく、バリアフリーの対応も完了しています。しかし、北部市民会館ではアスベストの除去が未完了となっています。

② 利用の状況

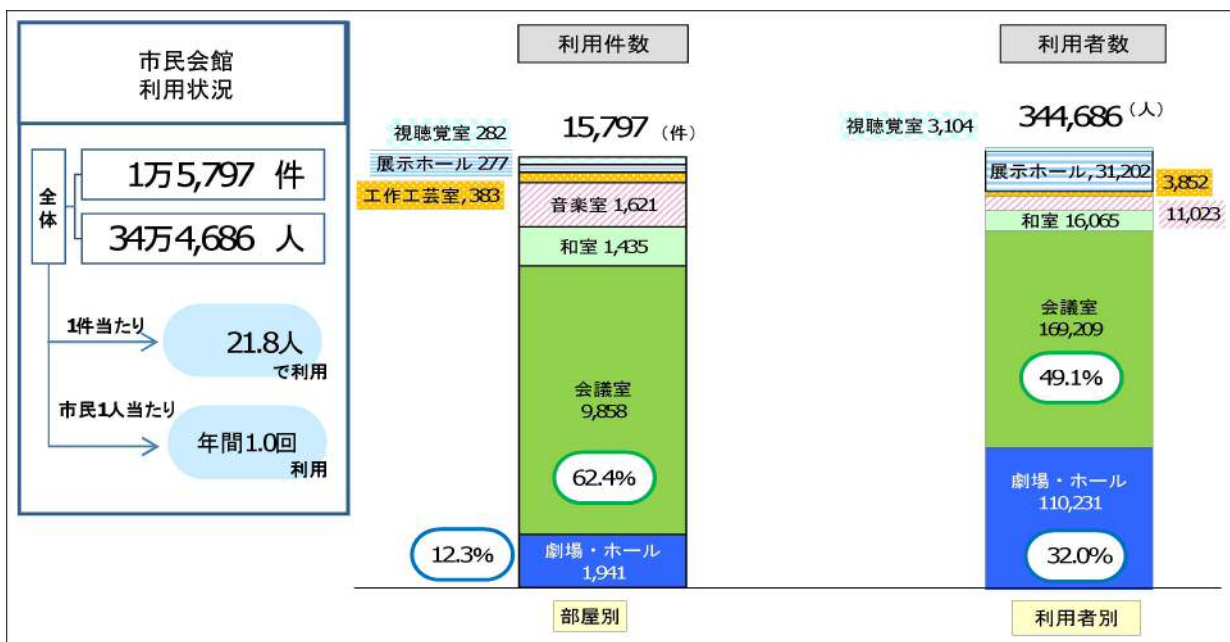
■ 全体の利用状況

市民会館は、全2施設で年間約1万6,000件、約34万人が利用しています。市民1人当たり年間約1.0回利用している計算になります。

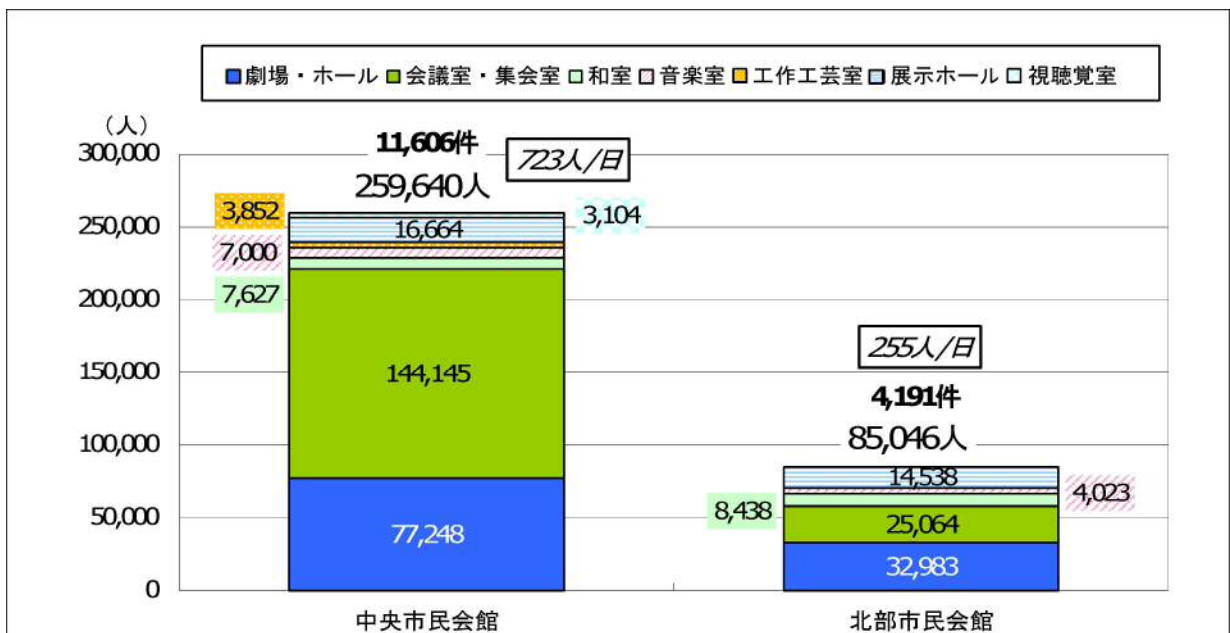
利用者数の内訳をみると、会議室が約49%を占めています。次いで、劇場・ホールの利用が約32%となっています。

施設別にみると、中央市民会館が年間約1万2,000件、約26万人（1日当たり723人）となっています。北部市民会館は年間約4,000件、約8万5,000人（1日当たり255人）となっています。

年間利用件数・利用者数



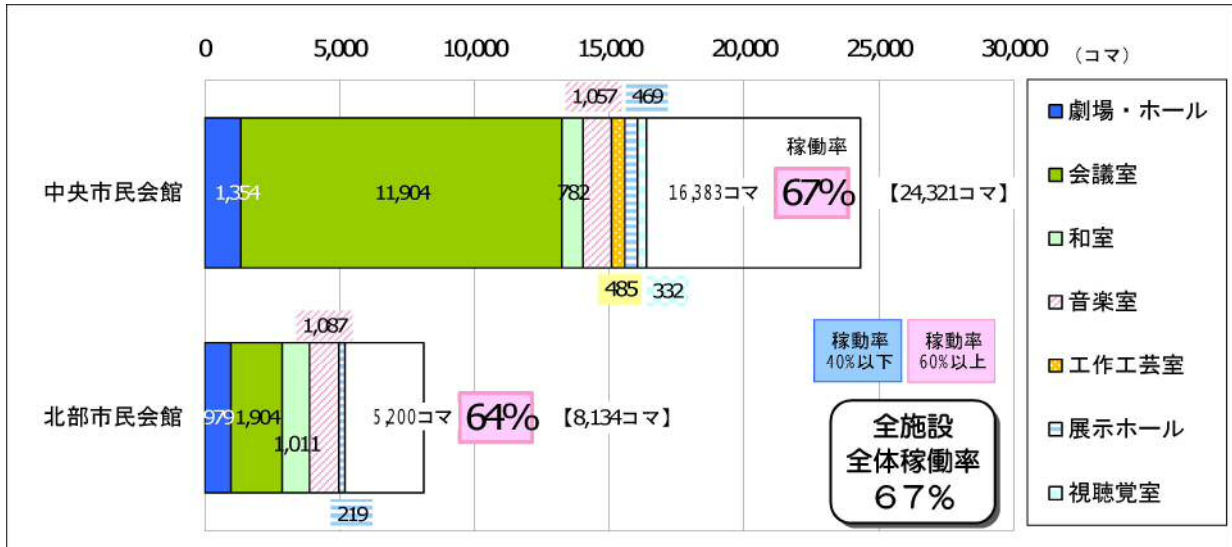
施設別・部屋別利用者数（平成24年度）



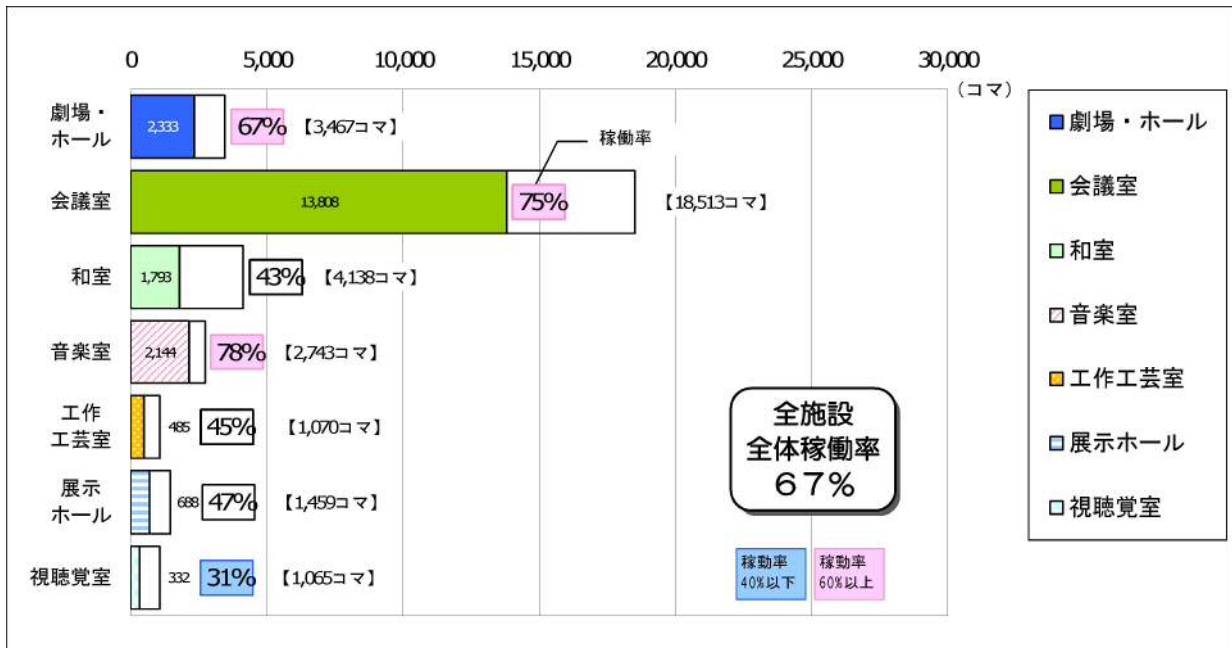
■ 部屋別利用状況

市民会館の稼働率は中央市民会館が約 67%、北部市民会館が約 64%となっており、全体の平均は約67%と全体的に高くなっています。部屋ごとにみると、音楽室が78%、会議室が75%、劇場・ホールが67%となっています。

施設別稼働率



部屋別稼働率



3) コスト状況

■ 市民会館のトータルコスト

市民会館2施設の年間トータルコストは、約4億1,000万円です。

主な支出は、指定管理料が約2億4,000万円と、全体の約58%を占めています。次に、減価償却相当額が約1億3,000万円と全体の約31%を占めています。

トータルコストに対する使用料収入の割合である、受益者負担率は約13%で、中央市民会館が約15%、北部市民会館が約9%となっています。

施設別行政コスト計算書

(円)

I.現金収支を伴うもの
【コストの部】

		中央市民会館	北部市民会館	合計
施設にかか るコスト	修繕費	7,871,734	1,481,130	9,352,864
	改修費	3,699,150	4,896,150	8,595,300
	光熱水費	0	10,702,462	10,702,462
	委託費	0	13,104,376	13,104,376
	使用料及び賃借料	0	581,805	581,805
	施設にかかるコスト 計…A	11,570,884	30,765,923	42,336,807
事業運 営にか かる コスト	使用料及び賃借料	0	70,305	70,305
	その他事業費	160,204	466,934	627,138
	事業運営にかかるコスト 計…B	160,204	537,239	697,443
指定管理料…C		198,747,000	41,160,567	239,907,567
現金収支を伴うコスト合計(A+B+C)…①		210,478,088	72,463,729	282,941,817

【収入の部】

収入	使用料収入	46,335,520	8,761,898	55,097,418
	諸収入	0	53,676	53,676
	収入合計…②	46,335,520	8,815,574	55,151,094

II.現金収支を伴わないコスト

減価償却相当額…③	101,301,336	26,068,093	127,369,429
-----------	-------------	------------	-------------

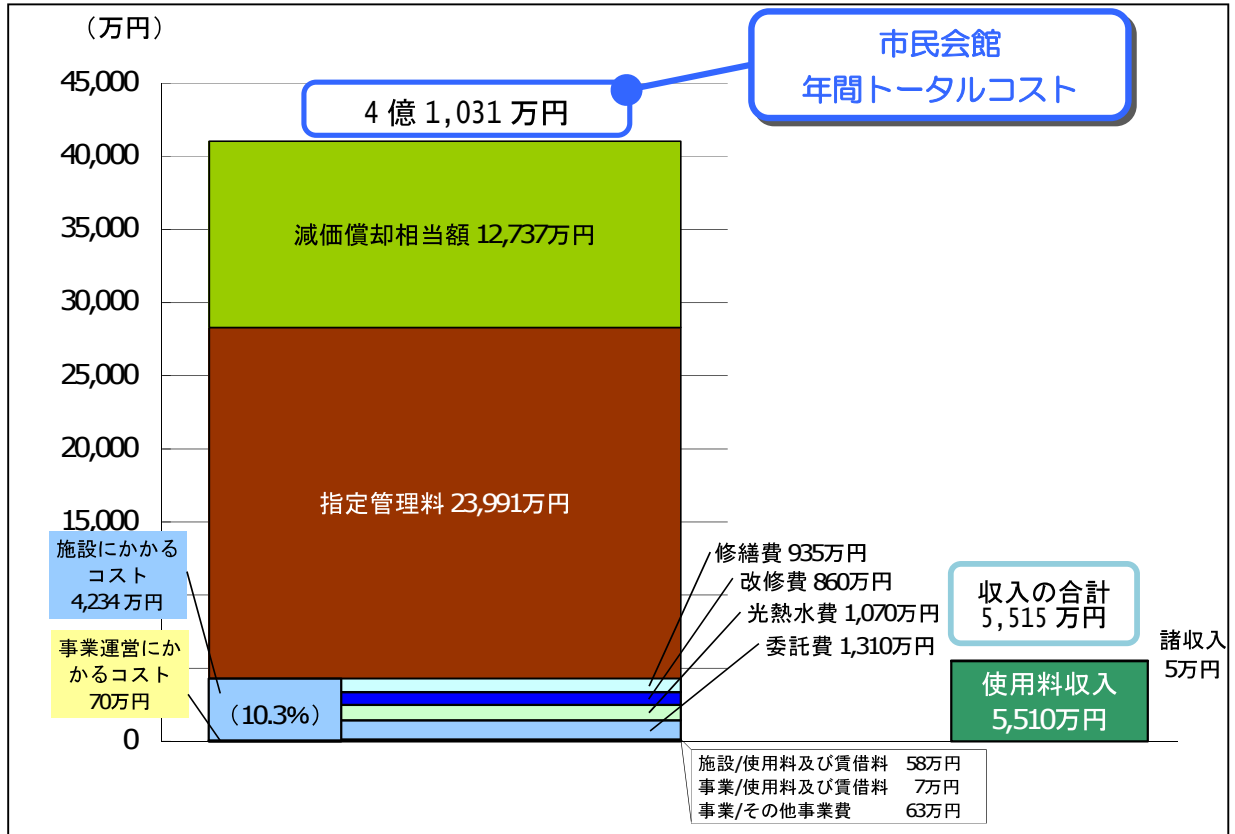
III.総括

コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)	311,779,424	98,531,822	410,311,246
収支差額(④-②)	265,443,904	89,716,248	355,160,152

※中央市民会館の光熱水費、委託費、使用料及び賃借料は指定管理料に含まれている。

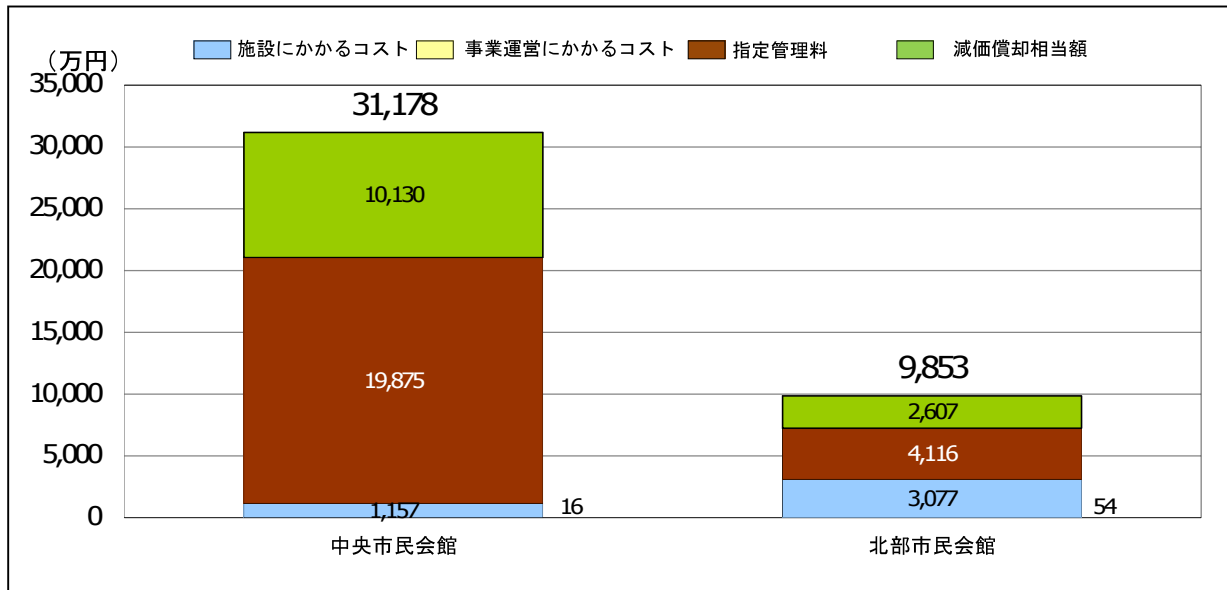
施設別トータルコストでは、中央市民会館が約 3 億 1,000 万円、北部市民会館が約 9,900 万円となっています。

全施設トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

施設別トータルコスト

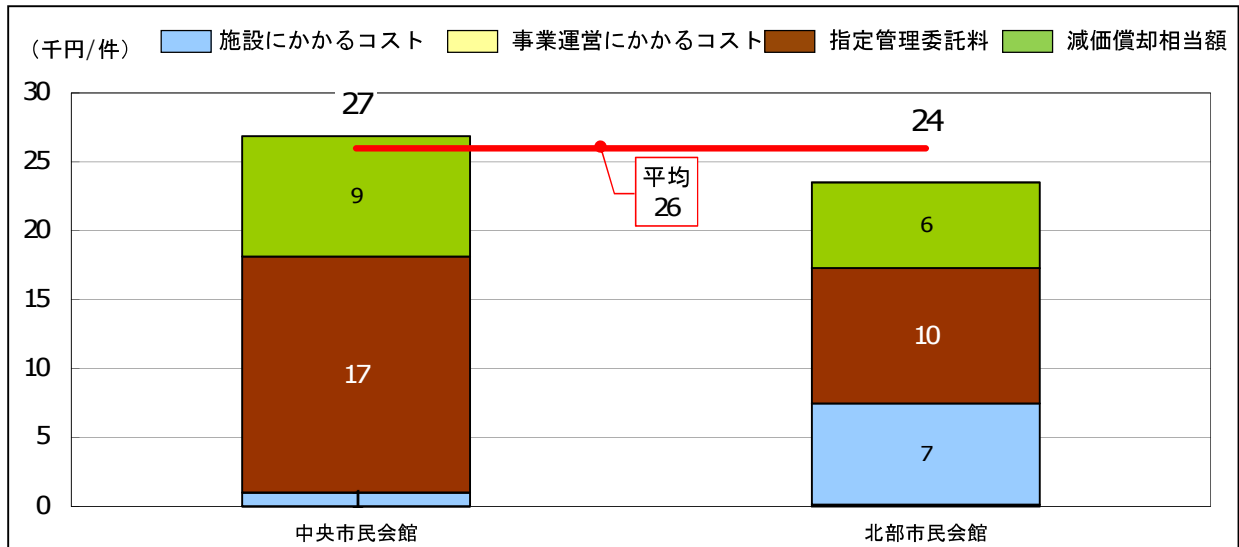


※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

■ 利用 1 件当たりのコスト

利用 1 件当たりのコストは、中央市民会館が約 2 万 7 000 円、北部市民会館が約 2 万 4 000 円となっております。

施設別 利用 1 件当たりにかかるコスト

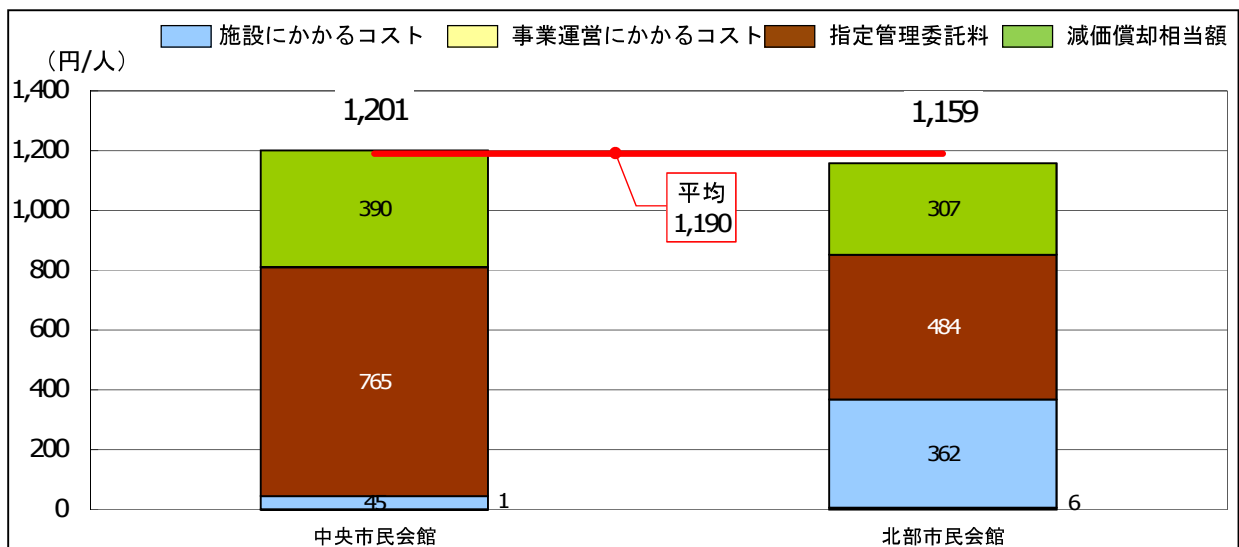


※百円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

■ 利用者 1 人当たりのコスト

利用者 1 人当たりのコストは、中央市民会館、北部市民会館とも約 1 200 円とほぼ同等となっております。

施設別 利用者 1 人当たりにかかるコスト



4) まとめ

- 築年数は、中央市民会館は21年、北部市民会館は25年経過していますが、直近で大規模改修を実施済みであり、また耐震改修の必要性もありません。
- 運営は、ともに指定管理者制度を導入しています。
- 市民会館の稼働率は中央市民会館が67%、北部市民会館が64%となっており、よく利用されている施設です。
- 年間コストは、約4億1,000万円で中央市民会館が約3億1,000万円、北部市民会館が約9,900万円となっており、指定管理料や減価償却相当額の割合が高くなっています。
- 受益者負担率は約13%で、中央市民会館が約15%、北部市民会館が約9%となっています。
- 市民会館は、地域社会の形成及び市民文化の拠点施設として重要な役割を果たしていますが、今後の検討課題として、施設規模を鑑みた中長期での施設整備更新計画の策定の検討、また受益者負担率が約13%となっているため、公共施設全般に言えることですが、減免を含めた使用料のあり方についての検討が求められます。

（２）コミュニティセンター

１）施設概要

① 設置目的等

建設当時、文化施設の少なかった本市にとって、大ホール等を備えた総合的な文化施設の建設は、長い間の市民の念願でした。

そこで、昭和４８年に南越谷駅が開業し、昭和４９年に新越谷駅が開業されるなど、市民の利便性が向上し、今後の発展が見込まれた蒲生地区にある駅近隣の工場移転跡地に、市民ホールを中心とした公共施設とショッピング施設が一つになったコミュニティ広場として、コミュニティセンターが整備されました。本施設は「サンシティ」の愛称で市民の皆様が親しまれています。



コミュニティセンター

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡) ※	建築年度	構造 (主たる建物)	複合・併設施設の状況	備考
コミュニティセンター	南越谷一丁目2876番地1	13,601.74	昭和54	鉄骨鉄筋 コンクリート造	・コミュニティセンター: 13,305㎡ ・南部出張所: 296㎡	

※市専用床面積

② 開館時間・休館日・開館日数

開館時間：午前９時～午後９時３０分

休館日：年末年始（１２月２９日～１月３日）

開館日数：３５９日（平成２４年度）

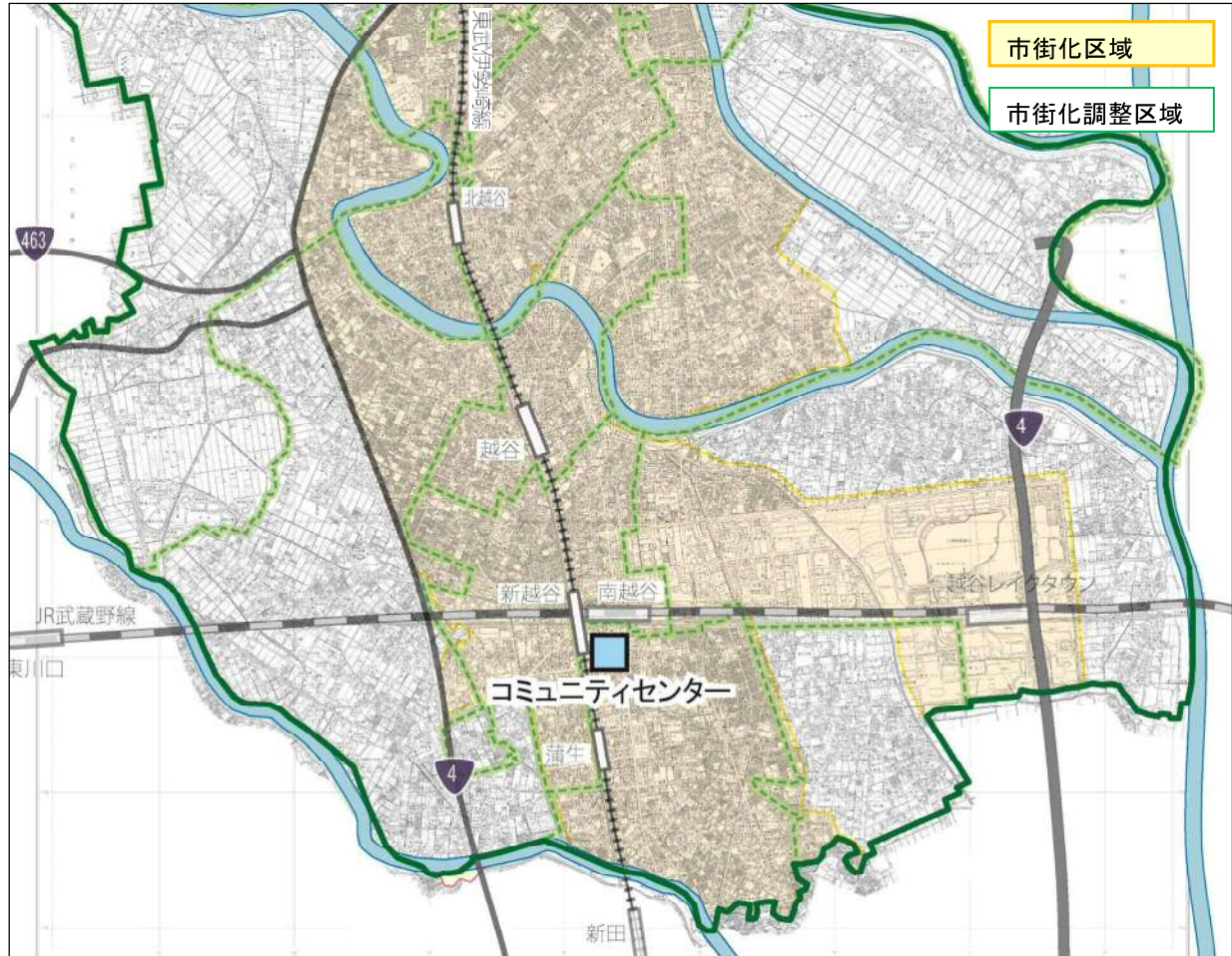
③ 事業内容

本施設は平成１８年度より指定管理者制度を導入しており、施設内には大小ホールや会議室、宴会場を備え、市民の福祉増進や文化活動の推進事業を行っています。

市の出張機関である、南部出張所が併設され南部地域の豊かな地域社会の形成と文化生活を向上させるための拠点施設としての機能を有しているほか、平成１９年１１月より避難所にも指定されており、大規模災害時の防災施設としての機能を有しています。

④ 配置状況

コミュニティセンター位置図

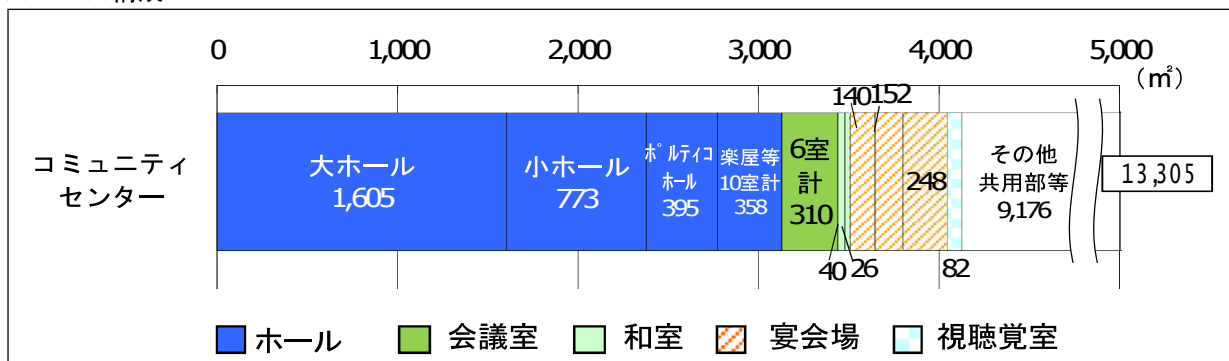


⑤ スペース構成

本施設の専有部分は、1万3,305㎡となっています。

主な保有スペースは、ホール（展示ホールを含む）を中心に、会議室、和室、宴会場、視聴覚室、その他共用部分等のスペース構成となっています。

スペース構成



２）利用把握

① 建物の状況

■ コミュニティセンターのスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応				
	建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
コミュニティセンター	昭和54	13,602	問題なし	34		34	—	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×

記載例	実施済み	○
	未実施	×
	不要	—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

本施設は、平成22年度の耐震診断によって耐震安全性が確認されていますが、バリアフリーの一部や環境対応が未整備となっています。

② 利用状況

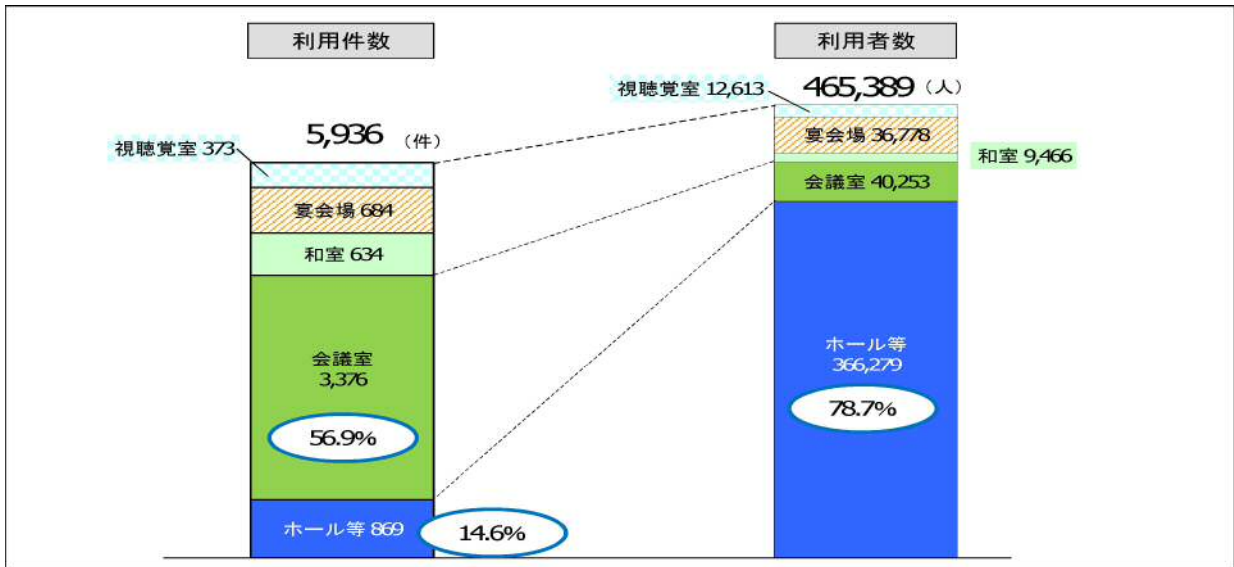
■ 全体の利用状況

本施設は、年間約 6,000 件、約 47 万人が利用しています。

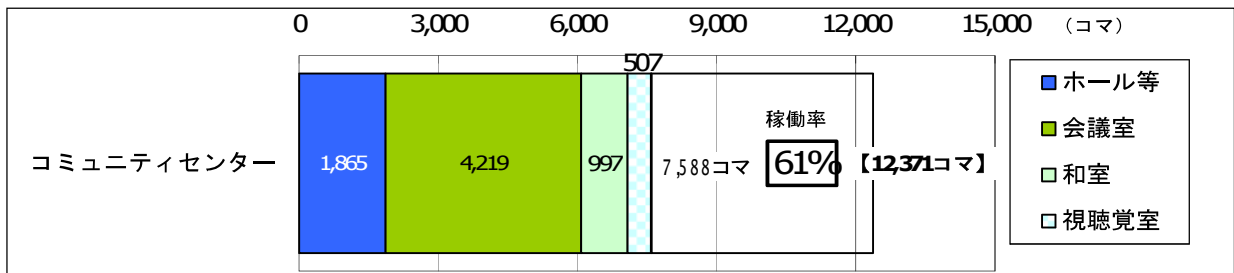
主にホール等（全体の約 79％）の利用が中心となっています。

本施設の稼働率は約 61％と比較的高くなっており、部屋別にみると、会議室が約 67％、ホール等が約 65％となっています。

年間利用件数・利用者数

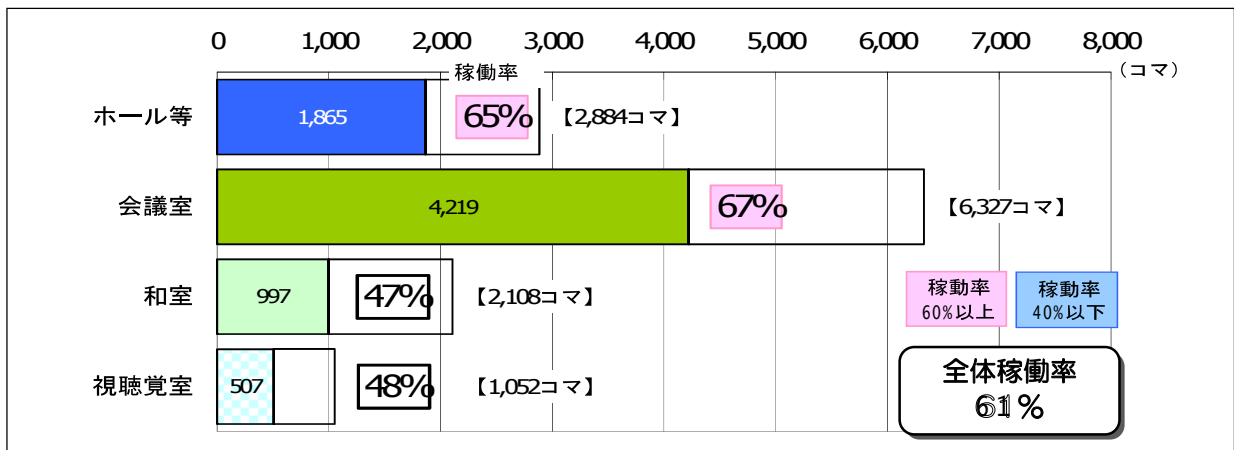


全体稼働率



※時間貸しをしていない宴会場は除く

部屋別稼働率



3) コスト状況

■ コミュニティセンターのトータルコスト

本施設の年間トータルコストは、約 5 億 1 000 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、委託費）は約 2,700 万円、南部図書室の管理を含む指定管理料が約 4 億 4,000 万円、減価償却相当額が約 3,700 万円となっています。

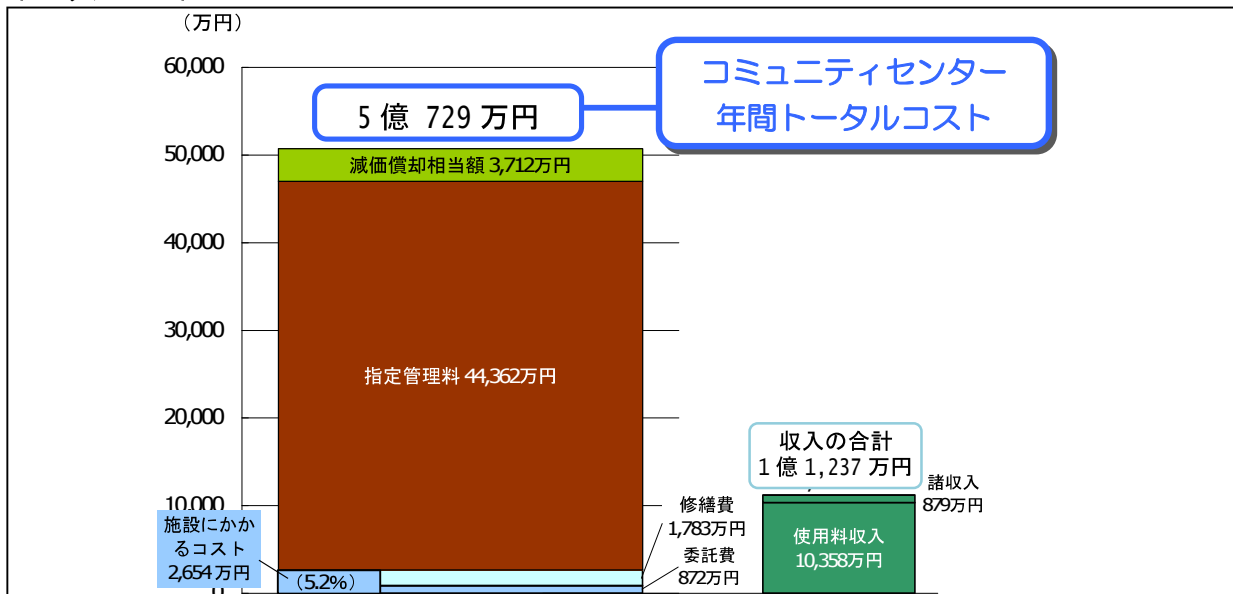
使用料等の収入は約 1 億 1,000 万円で、トータルコストに対する使用料収入の割合である受益者負担率は約 20%となっています。

(円)

行政コスト計算書

		コミュニティセンター
I. 現金収支を伴うもの		
【コストの部】		
コストにか かると するに	修繕費	17,828,762
	委託費	8,715,000
	施設にかかるコスト計…A	26,543,762
指定管理料…B		443,623,028
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		470,166,790
【収入の部】		
収入	使用料収入	103,578,700
	諸収入	8,793,461
	収入合計…②	112,372,161
II. 現金収支を伴わないコスト		
減価償却相当額…③		37,121,774
III. 総括		
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		507,288,564
収支差額(④-②)		394,916,403

トータルコスト



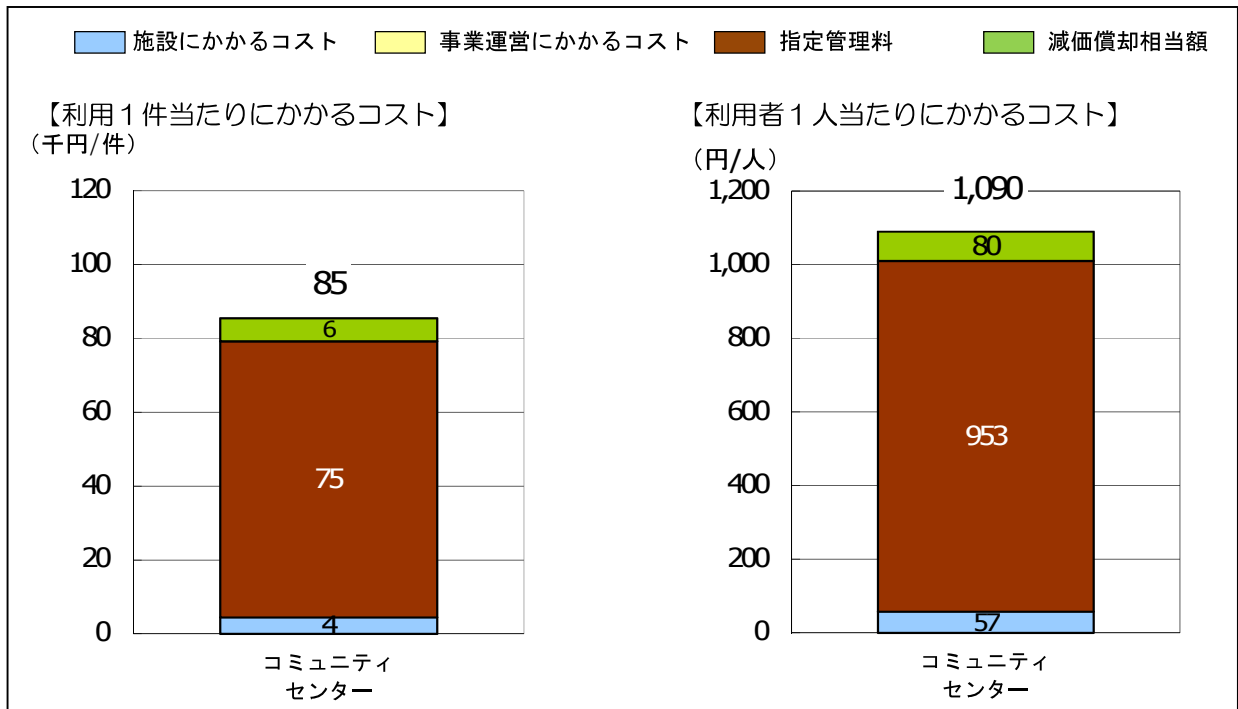
※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

■ 利用 1 件当たりのコスト・利用者 1 人当たりのコスト

利用 1 件当たりのコストは、約 8 万 5 000 円となっています。

利用者 1 人当たりのコストは、約 1 100 円となっています。

利用 1 件当たりにかかるコスト・利用者 1 人当たりにかかるコスト



3) まとめ

- 本施設は築後 30 年以上が経過している旧耐震基準の施設ですが、平成 22 年度の耐震診断の結果では耐震性は確保されており、耐震改修の必要はありません。

（運営は、指定管理者が行っており、独自の企画によるコンサート等の催し物が定期的開催されています。）

- 全体の稼働率は約 61%と高くなっており、部屋別にみると、会議室が約 67%、ホール等が約 65%となっています。
- 年間コストは、約 5 億円で、そのうち約 4 億 4 000 万円が指定管理料となっています。使用料等の収入は約 1 億 1 000 万円で、受益者負担率は約 20%となっています。
- 本施設は、地域社会の形成及び市民文化の拠点施設であり、その機能及び規模から広域的に重要な役割を果たしています。施設規模を鑑みた中長期での施設整備更新計画の策定の検討が求められます。

（受益者負担の原則から平成 25 年度に使用料の見直し等を行いました。）

（3）その他文化施設

1）施設概要

① 設置目的等

日本文化伝承の館こしがや能楽堂は本市が平成2年度から進めている、「こしがや能楽まちづくり推進事業」の啓発や、国（文化庁）、県から地域文化振興特別推進事業「演劇・能楽」の指定を受けたことを機に、日本の伝統芸術文化の継承・発展や、地域のコミュニティづくりの拠点施設として設置しました。



日本文化伝承の館こしがや能楽堂

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
日本文化伝承の館こしがや能楽堂	花田六丁目6番地1	1,099.53	平成5	その他	

② 開館時間・休館日・開館日数

開館時間：午前9時～午後9時30分

休館日：毎週水曜日（祝日のときは翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

開館日数：312日（平成24年度）

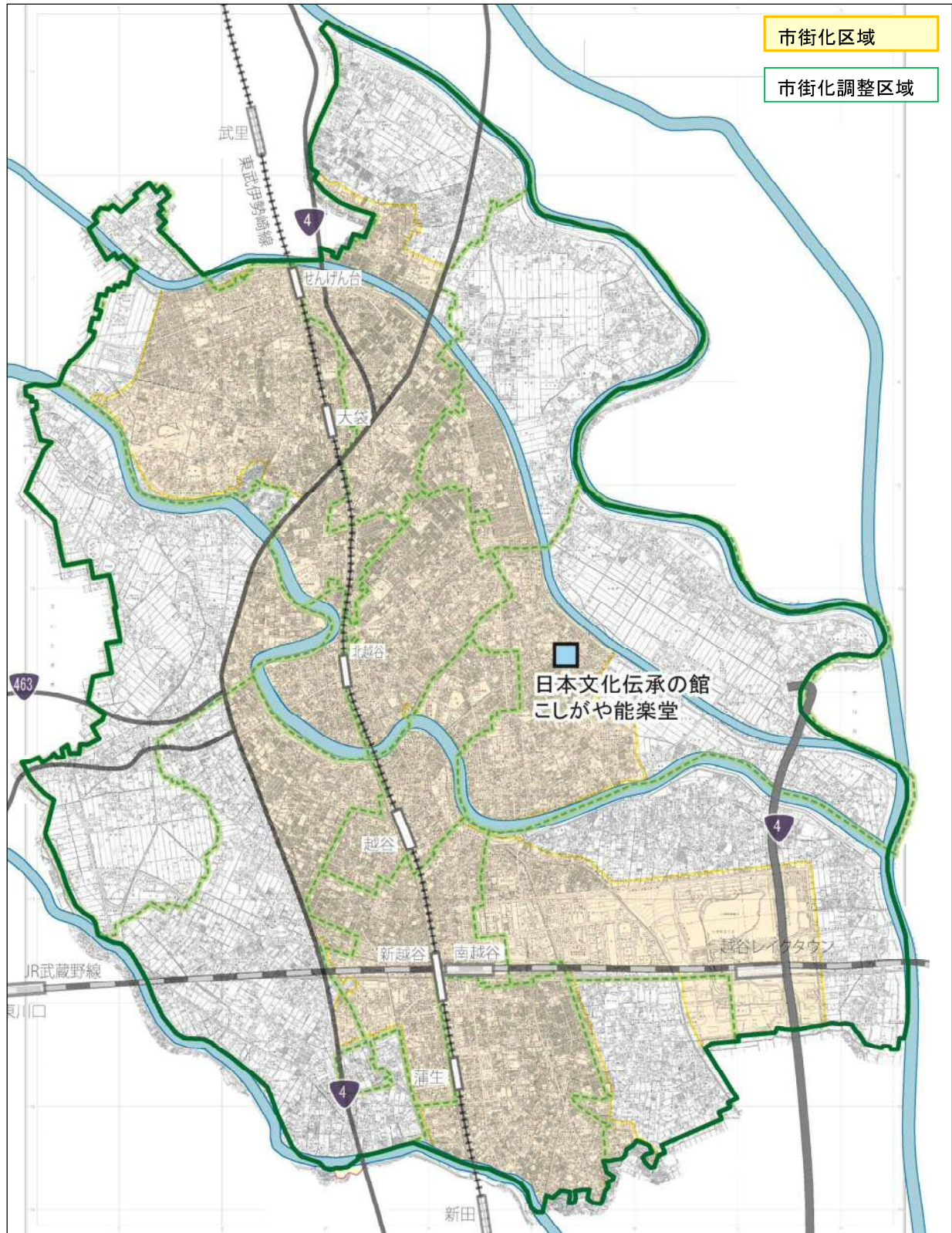
③ 事業内容

能楽や詩吟、日本舞踊、茶道、囃子、華道などの伝統文化の活動拠点として利用されています。施設内には能舞台や大広間、茶室、中庭見所、和室などがあり、施設の貸出しや能楽をはじめとする伝統芸能等の事業を行っています。運営は指定管理者制度を導入しています。

④ 配置状況

本施設は花田苑隣に設置しています。

日本文化伝承の館こしがや能楽堂施設位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 日本文化伝承の館こしがや能楽堂のスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応				
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	車いす用エレベーター※1	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
日本文化伝承の館こしがや能楽堂	平成5	1,100	不要	20		20	—	○	○	—	○	×	○	×	×	×	×

記載例	実施済み	: ○
	未実施	: ×
	不要	: —

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

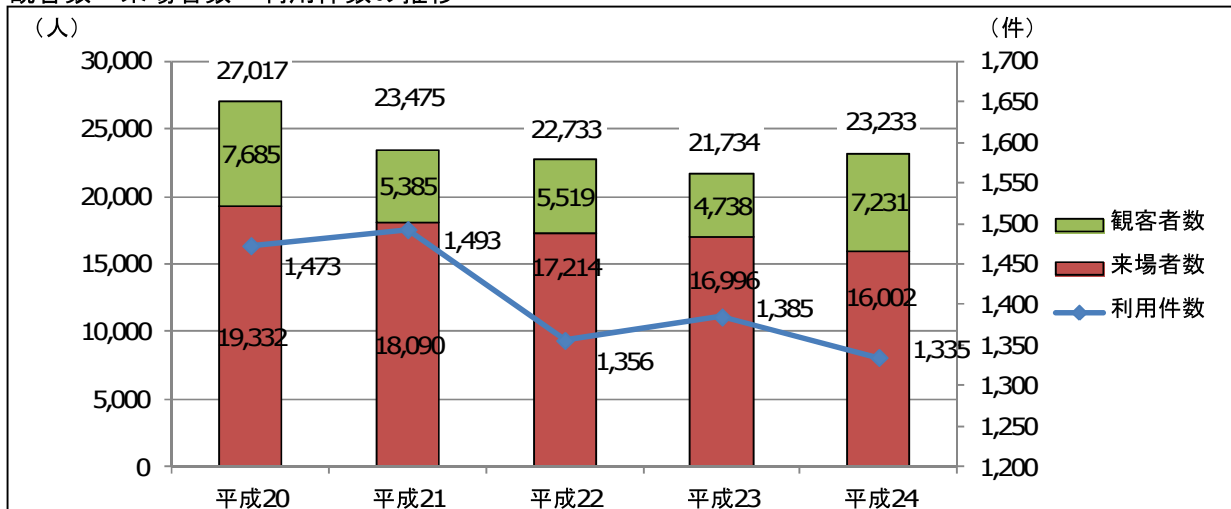
本施設は建物の安全性は問題ありませんが、建設から20年が経過しています。また、バリアフリーの一部や環境対応が未整備となっています。

② 利用状況

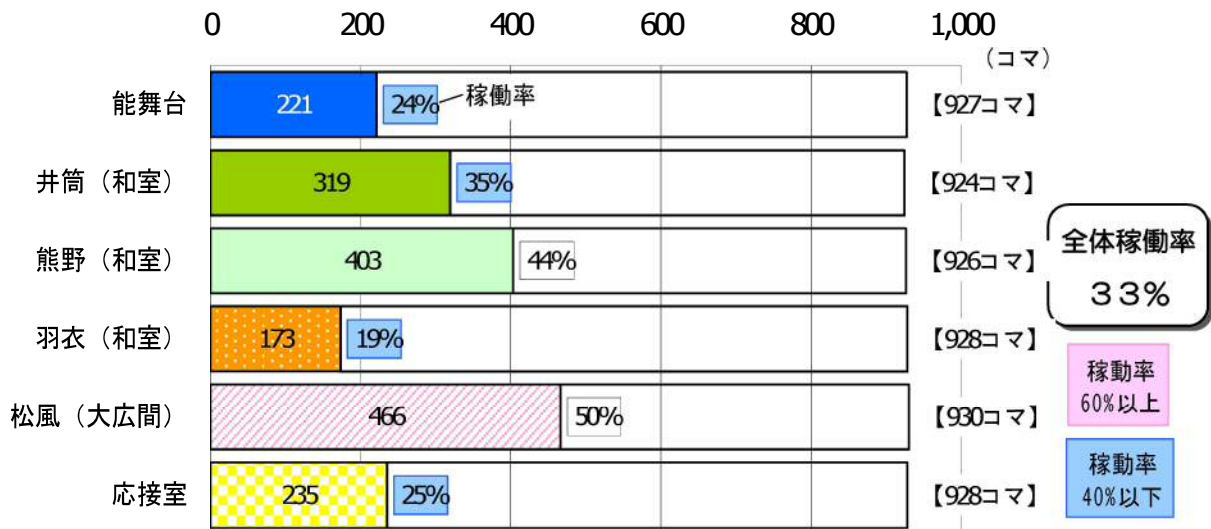
本施設の利用者数の推移をみると、平成20年度（約2万7,000人）から減少傾向となっていました。平成24年度には微増となっています。

施設全体の稼働率は、約33%となっており、部屋別稼働率をみると、熊野及び松風を除く4室は、稼働率が40%以下となっています。

観客数・来場者数・利用件数の推移



部屋別稼働率



3) コスト状況

■ 日本文化伝承の館こしがや能楽堂のトータルコスト

本施設の年間トータルコストは、約 8,000 万円です。

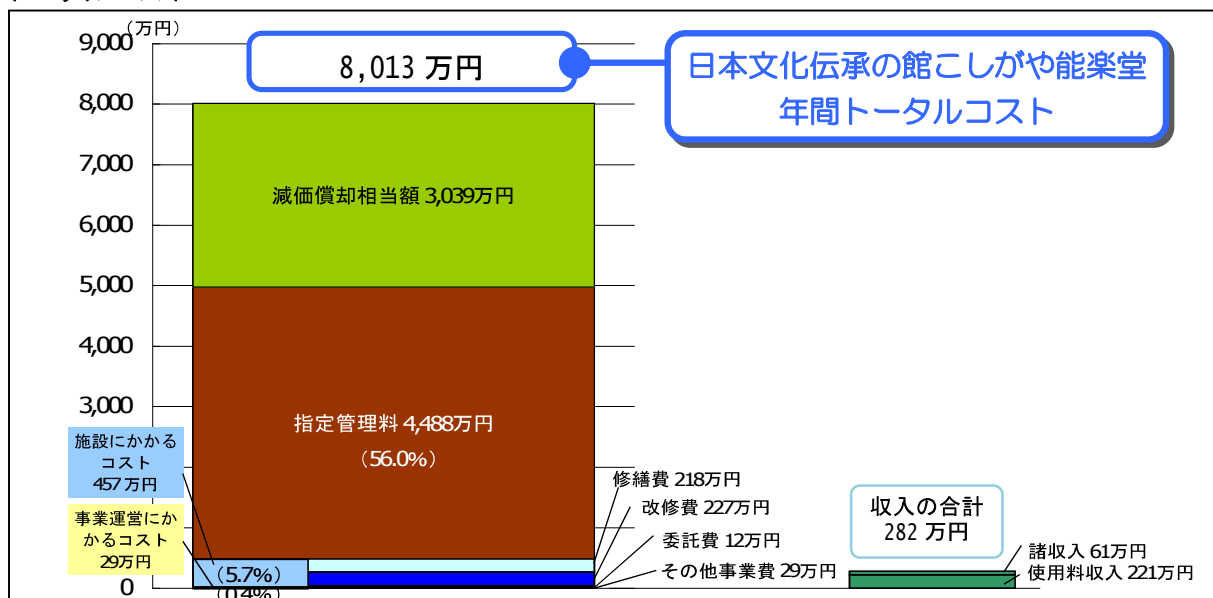
年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、改修費・委託費）は約 460 万円、事業運営にかかるコストは約 30 万円、指定管理料は約 4,500 万円、減価償却相当額は約 3,000 万円となっています。使用料等の収入は約 280 万円で、トータルコストに対する使用料収入の割合である受益者負担率は 3% です。

行政コスト計算書

(円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		日本文化伝承の館こしがや能楽堂
施設にかかるコスト	修繕費	2,178,750
	改修費	2,268,000
	委託費	119,700
	施設にかかるコスト計…A	4,566,450
事業運営にかかるコスト	建物損害保険料	292,951
	事業運営にかかるコスト計…B	292,951
指定管理料…C		44,880,000
現金収支を伴うコスト合計(A+B+C)…①		49,739,401
【収入の部】		
収入	使用料収入	2,211,760
	諸収入	612,500
	収入合計…②	2,824,260
II. 現金収支を伴わないコスト		
減価償却相当額…③		30,393,791
III. 総括		
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		80,133,192
収支差額(④-②)		77,308,932

トータルコスト



4）まとめ

- 本施設は築後20年が経過していますが、耐震改修の必要はありません。運営は、指定管理者制度を導入しています。
- 本施設の稼働率は約33%となっており、部屋別稼働率をみると、熊野及び松風を除く4室は、稼働率が40%以下と稼働率が低くなっています。
- 年間コストは約8,000万円で、そのうち指定管理料が約4,500万円と半数以上を占めています。使用料等の収入は約280万円で、受益者負担率は3%です。
- 本施設は、全国的にも珍しい総檜の能舞台を備え、日本の伝統芸術文化の振興と市民文化の向上やコミュニティづくりの推進に資する貴重な役割を担っています。今後の検討課題として、改修時における部材等の調達及び費用の抑制、能楽以外のソフト事業の充実による稼働率の向上等が挙げられます。

（４）地区センター・公民館

１）施設概要

① 設置目的等

本市では、昭和４０年代後半から各地区に公民館を建設し、地域のコミュニティ活動の拠点としてきました。その後、地域と行政が一緒になり協働でまちづくりを進めるために地区センター機能が追加されて、平成１６年に市内全１３地区に地区センターを設置しました。



出羽地区センター・公民館



大袋地区センター・公民館

施設一覧（平成２６年３月３１日現在）

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造 (主たる建物)	事業内容			複合・併設施設の状況	備考
					貸館 業務	行政 サービス 業務	その他 業務		
1 桜井地区センター・公民館	大字下間久里792番地1	1,918.75	平成12	鉄筋コンクリート造	○	○	○		
2 新方地区センター・公民館	大字大吉470番地1	1,578.85	平成11	鉄筋コンクリート造	○	○	○	・新方地区センター・公民館:1,553㎡ ・新方分団第3部器具置場:26㎡	河川防災 ステーション
3 増林地区センター・公民館	増林三丁目4番地1	3,714.07	平成19	鉄筋コンクリート造	○	○	○	・増林地区センター・公民館:2,301㎡ ・教育センター:1,413㎡	
4 大袋地区センター・公民館	大字大竹160番地2	714.71	昭和47	鉄筋コンクリート造	○	○	○		
5 千間台記念会館	千間台西一丁目9番地9	501.51	昭和57	鉄筋コンクリート造	○	—	—		
6 荻島地区センター・公民館	大字南荻島190番地1	1,825.96	平成18	鉄筋コンクリート造	○	○	○	・荻島地区センター・公民館:1,803㎡ ・荻島分団第1部器具置場:23㎡	
7 出羽地区センター・公民館	七左町四丁目248番地1	1,989.69	平成25	鉄筋コンクリート造	○	○	○		
8 蒲生地区センター・公民館	登戸町33番16号	2,027.44	平成10	鉄筋コンクリート造	○	○	○	・蒲生地区センター・公民館:2,002㎡ ・蒲生分団第2部器具置場:26㎡	
9 川柳地区センター・公民館	川柳町二丁目485番地	439.97	昭和50	鉄筋コンクリート造	○	○	○		
10 大相模地区センター	相模町三丁目42番地1	1,992.09	平成21	鉄筋コンクリート造	○	○	○		
11 大相模公民館	大成町一丁目2233番地1	633.88	昭和48	鉄筋コンクリート造	○	—	—		
12 大沢地区センター・公民館	大字大沢二丁目10番40号	462.18	昭和48	鉄筋コンクリート造	○	○	○		
13 北越谷地区センター・公民館	北越谷四丁目8番35号	611.93	平成2	鉄筋コンクリート造	○	○	○		
14 越ヶ谷地区センター・公民館	越ヶ谷四丁目1番1号	568.63	平成4	鉄筋コンクリート造	○	—	○	・越ヶ谷地区センター・公民館:569㎡ ・中央市民会館:8,077㎡ ・障害者福祉センターこぼと館:1,026㎡ ・その他行政機能等:2,617㎡	
15 南越谷地区センター・公民館	南越谷四丁目21番地1	2,262.86	平成14	鉄筋コンクリート造	○	○	○	・南越谷地区センター・公民館:1,947㎡ ・南越谷学童保育室:135㎡ ・プール付帯施設等:181㎡	
合計		21,242.52							

② 開館時間・開館日数

開館時間：貸館業務 午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分

行政事務(※)は祝日を除く月曜～金曜日の午前 8 時 30 分～午後 5 時

休館日：年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

開館日数：地区センター・公民館 359 日（平成 24 年度）

(※)住民票の写しや印鑑証明書、戸籍謄本・抄本等各種証明書の発行業務

③ 事業内容

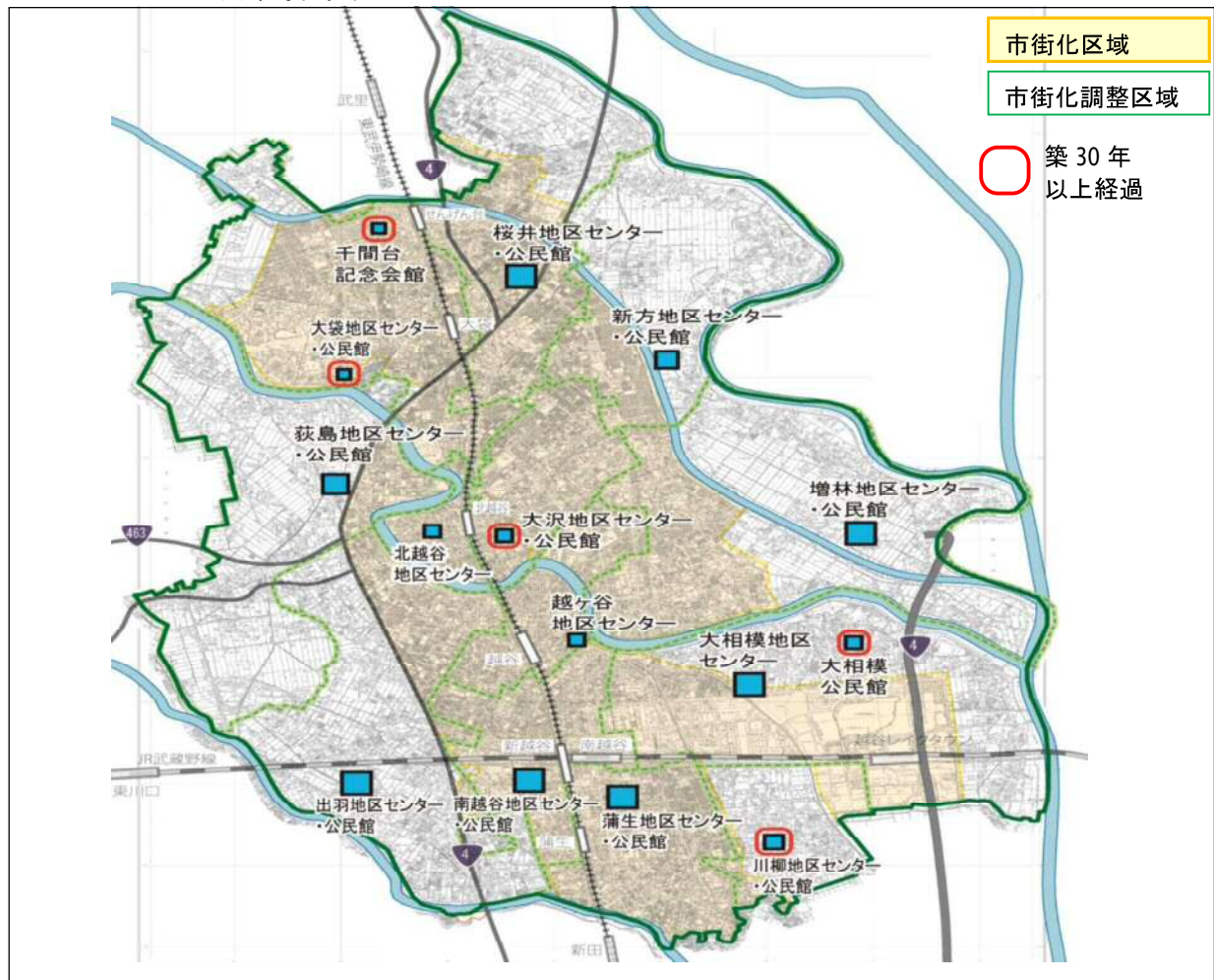
地区センター・公民館等は直営で運営し、コミュニティ活動や生涯学習活動などの拠点施設として、施設内にある会議室や和室、調理室などを利用してクラブやサークル等の自主的な活動のほか、地区のまちづくり事業の推進等を行っています。

また、一部の施設を除いて住民票の写し等の各種証明書の発行や自治会・コミュニティ相談といった、行政事務を行うほか、地域の避難所にも指定しており、大規模災害時の防災施設としての機能を有しています。

④ 配置状況

地区センター・公民館等は、地域活動の拠点施設として整備し、13 地区毎に設置しています。

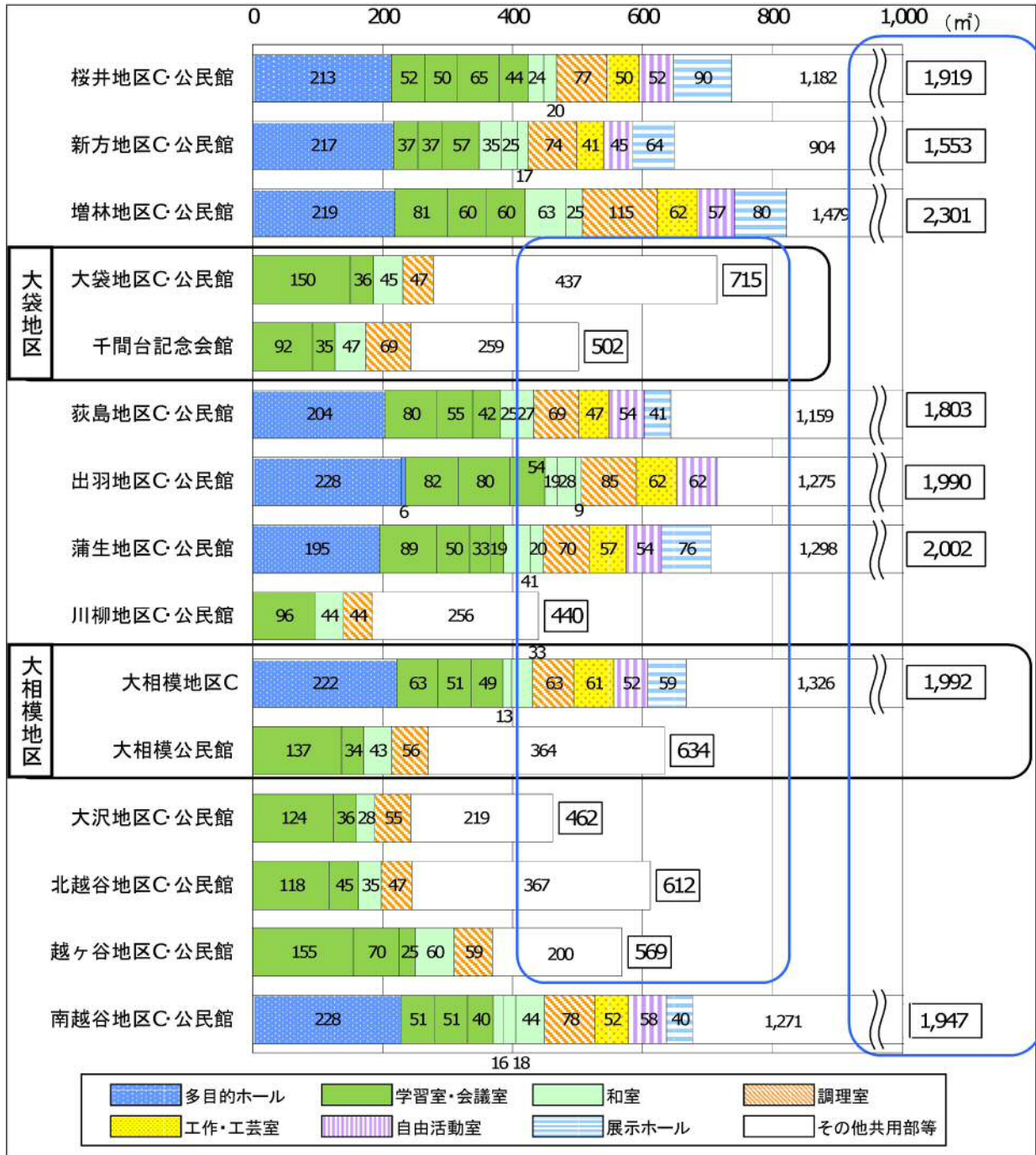
地区センター・公民館等位置図



⑤ スペース構成

地区センター・公民館等は、順次建替えを行っており、建替えられた施設は1,500㎡を超えるなど大型化しています。施設の主な保有スペースは、会議室や和室、調理室となっており、大型化した施設にはこの他に多目的ホールや工作・工芸室、自由活動室、展示ホール等を整備しています。

スペース構成



※「地区センター」を「地区C」と表記

２）利用実態

① 建物の状況

■地区センター・公民館等のスペック情報

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー
1	桜井地区センター・公民館	平成12	1919	不要	13		13	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×
2	新方地区センター・公民館	平成11	1579	不要	14		14	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×
3	増林地区センター・公民館	平成19	3714	不要	6		6	—	○	—	○	○	○	○	×	×	×
4	大袋地区センター・公民館	昭和47	715	未実施	41		41	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
5	千間台記念会館	昭和57	502	不要	31		31	—	×	○	×	×	○	×	×	×	×
6	荻島地区センター・公民館	平成18	1826	不要	7		7	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×
7	出羽地区センター・公民館	平成25	1990	不要	—		—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×
8	蒲生地区センター・公民館	平成10	2027	不要	15		15	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×
9	川柳地区センター・公民館	昭和50	440	未実施	38		38	—	×	○	×	×	○	×	×	×	×
10	大相模地区センター	平成21	1992	不要	4		4	—	○	○	○	○	○	○	×	○	×
11	大相模公民館	昭和48	634	未実施	40		40	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×
12	大沢地区センター・公民館	昭和48	462	未実施	40		40	—	×	×	×	×	○	×	×	×	×
13	北越谷地区センター・公民館	平成2	612	不要	23		23	—	○	○	×	○	○	○	×	×	×
14	越ヶ谷地区センター・公民館	平成4	569	不要	21	平成23	2	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—
15	南越谷地区センター・公民館	平成14	2263	不要	11		11	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×
合計			21243														

記載例	実施済み：○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施：×	
	不要：—	

建替えを行っていない大袋地区センター・公民館をはじめ4施設は、旧耐震基準の建物です。さらに、築30年以上が経過しています。

大袋地区センター・公民館および大相模公民館では、アスベストの除去が未完了となっています。

千間台記念会館と北越谷地区センター・公民館は新耐震基準の建物ですが、建設からそれぞれ30年、20年以上が経過しております。

桜井地区センター・公民館をはじめ大型化した9施設は、建物の安全性に問題はありません。

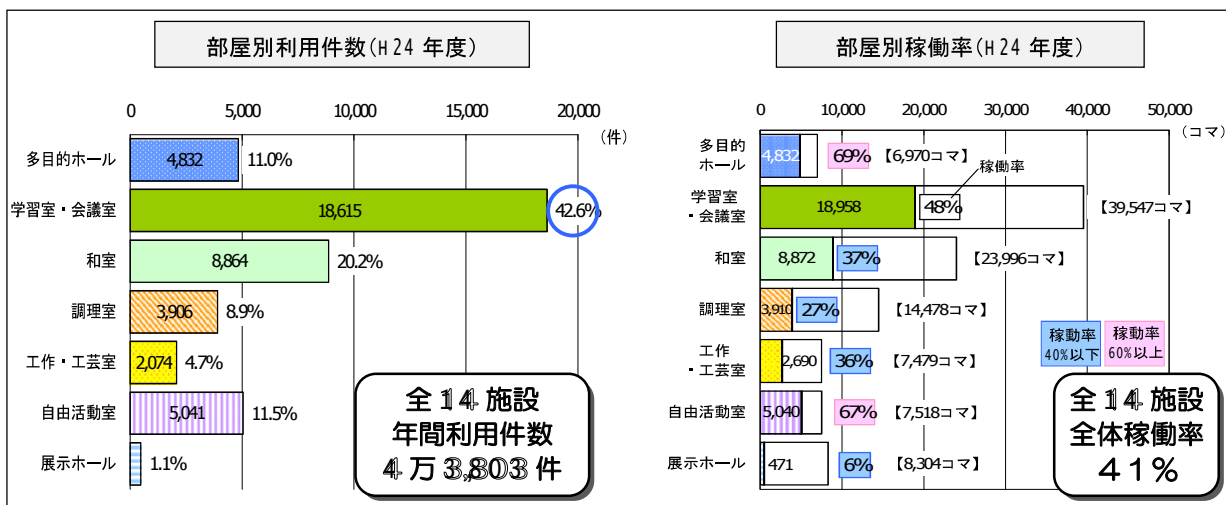
② 利用状況

■ 各施設の利用状況

平成25年度に建替えを行った出羽地区センター・公民館を除いた、14施設の平成24年度の施設の利用件数は約4万4,000件、1施設当たりでは平均約3,100件となっています。部屋ごとにみると、学習室・会議室が約1万9,000件と、全体の約43%を占めています。

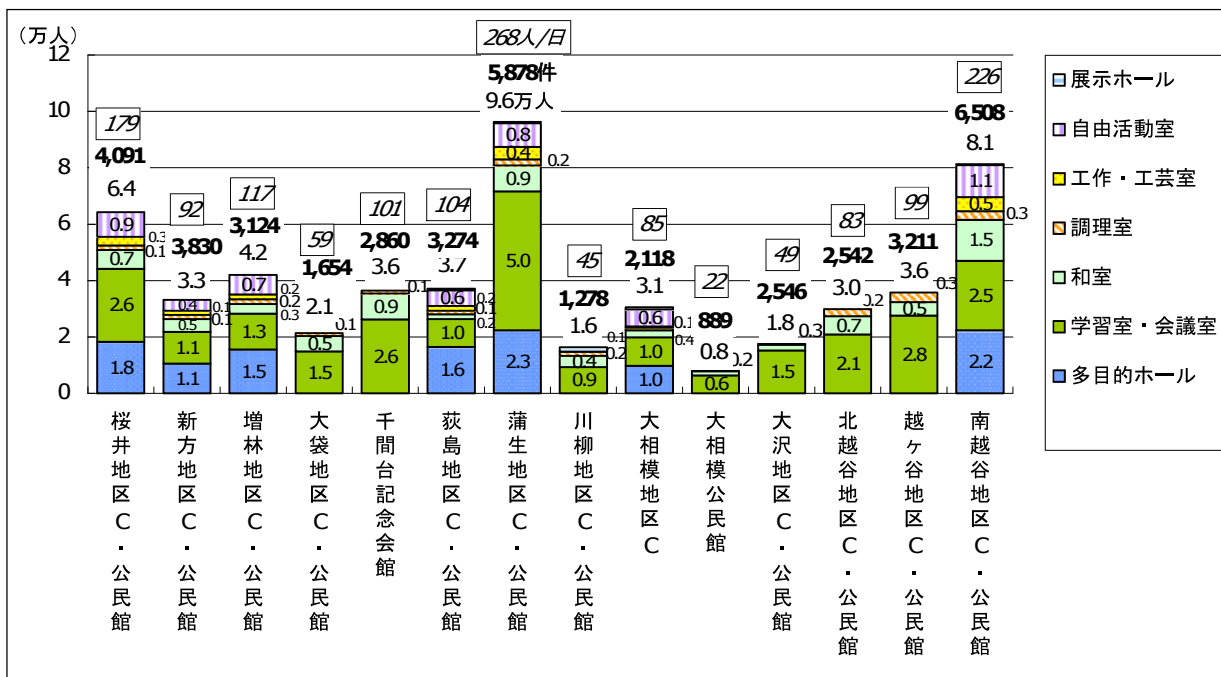
全体の稼働率は41%となっており、部屋ごとにみると、多目的ホールが69%、自由活動室が67%と高くなっている一方、和室が37%、調理室が27%、工作・工芸室が36%と低くなっています。

全14施設の部屋別利用件数及び稼働率



※展示ホールには、ロビーの利用状況を含む

施設別・部屋別利用者数



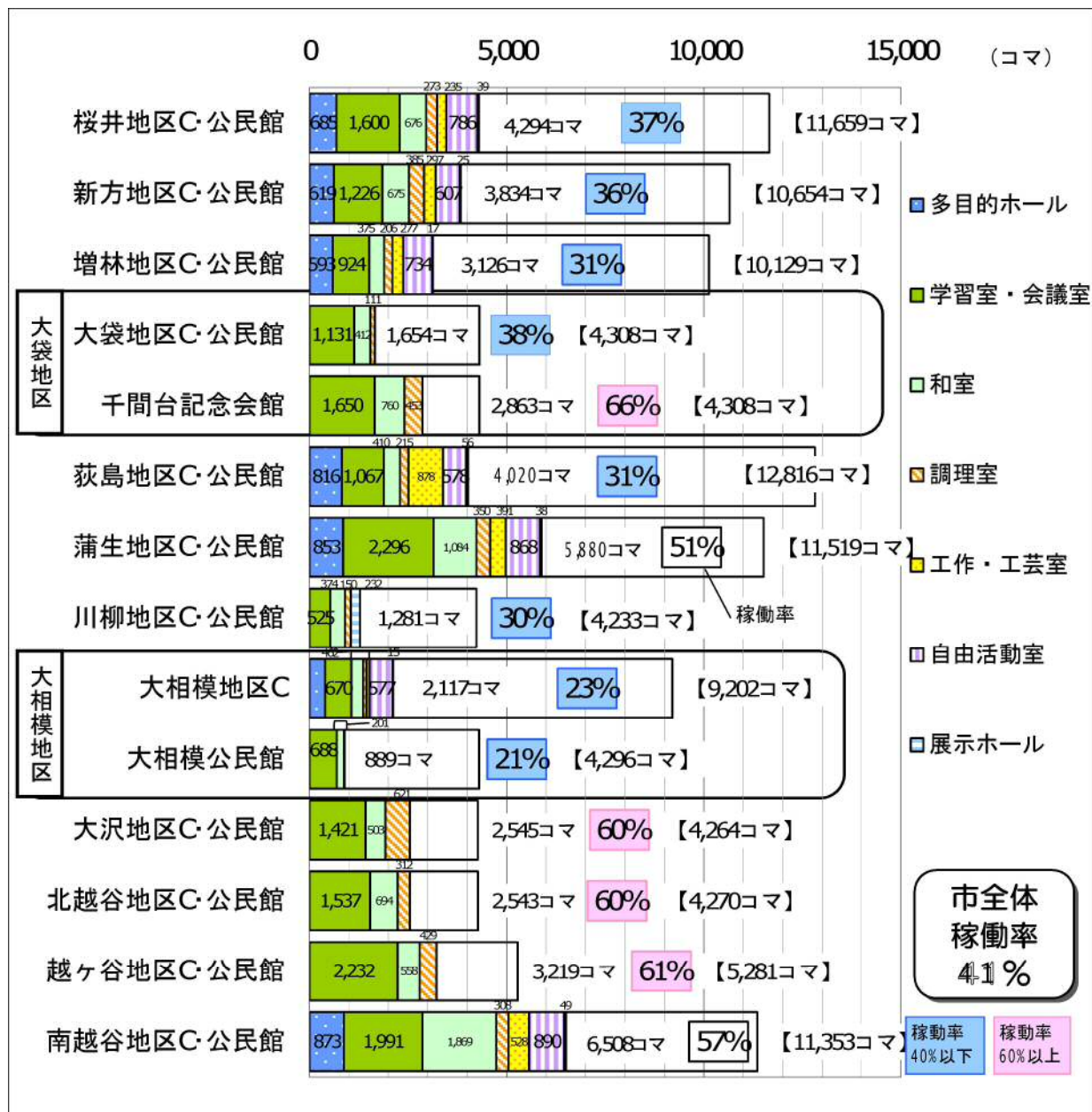
※「地区センター」を「地区C」と表記

■ 施設別稼働率

平成24年度の稼働率は、平成25年度に建替えを行った出羽地区センター・公民館を除き、14施設の平均で41%となっています。施設ごとの稼働率をみると、千間台記念会館が66%、越ヶ谷地区センター・公民館が61%、大沢地区センター・公民館及び北越谷地区センター・公民館が60%と高くなっています。

一方、桜井地区センター・公民館をはじめとした8施設は、稼働率が40%を下回っています。

施設別稼働率

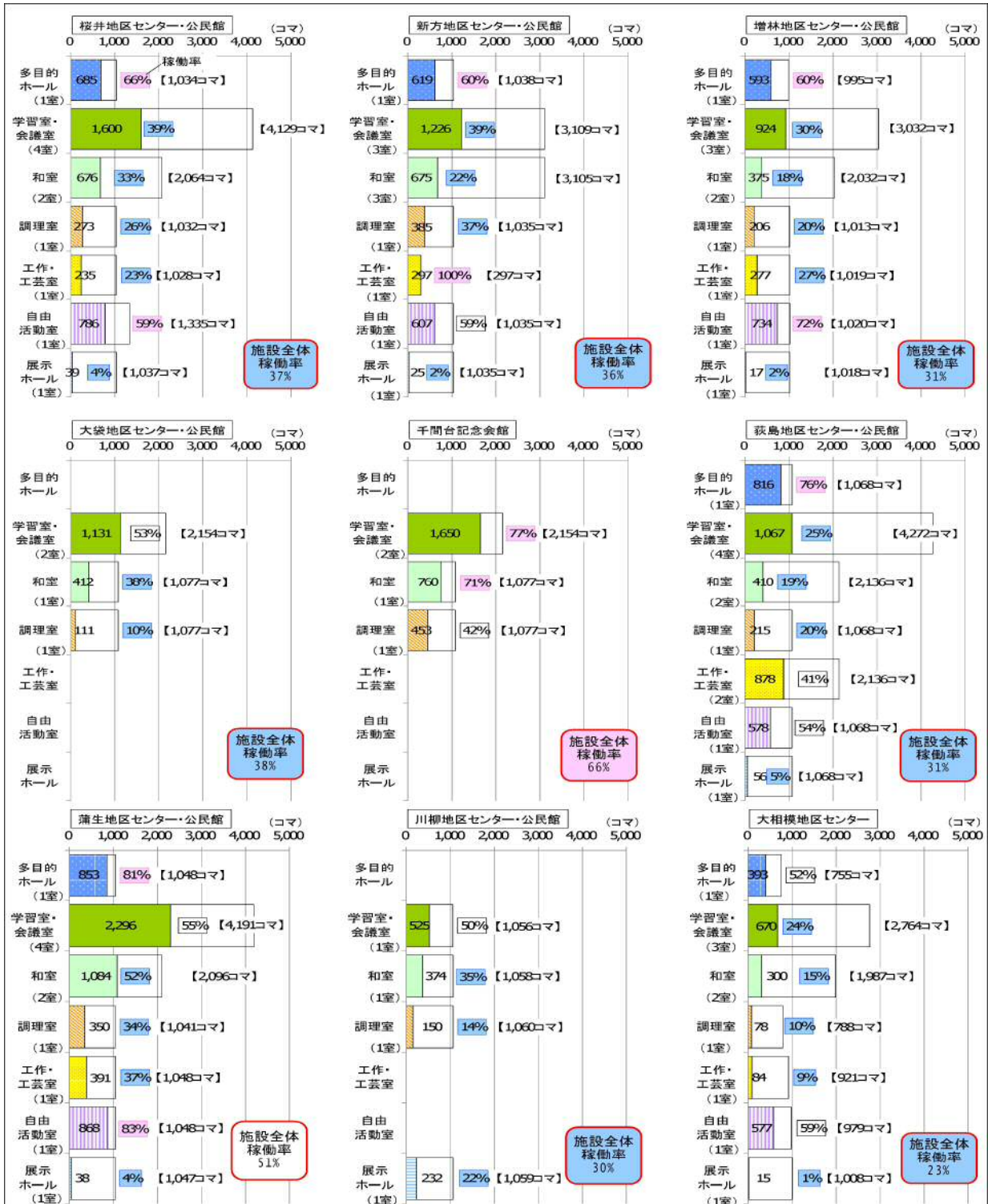


※「地区センター」を「地区C」と表記しています。

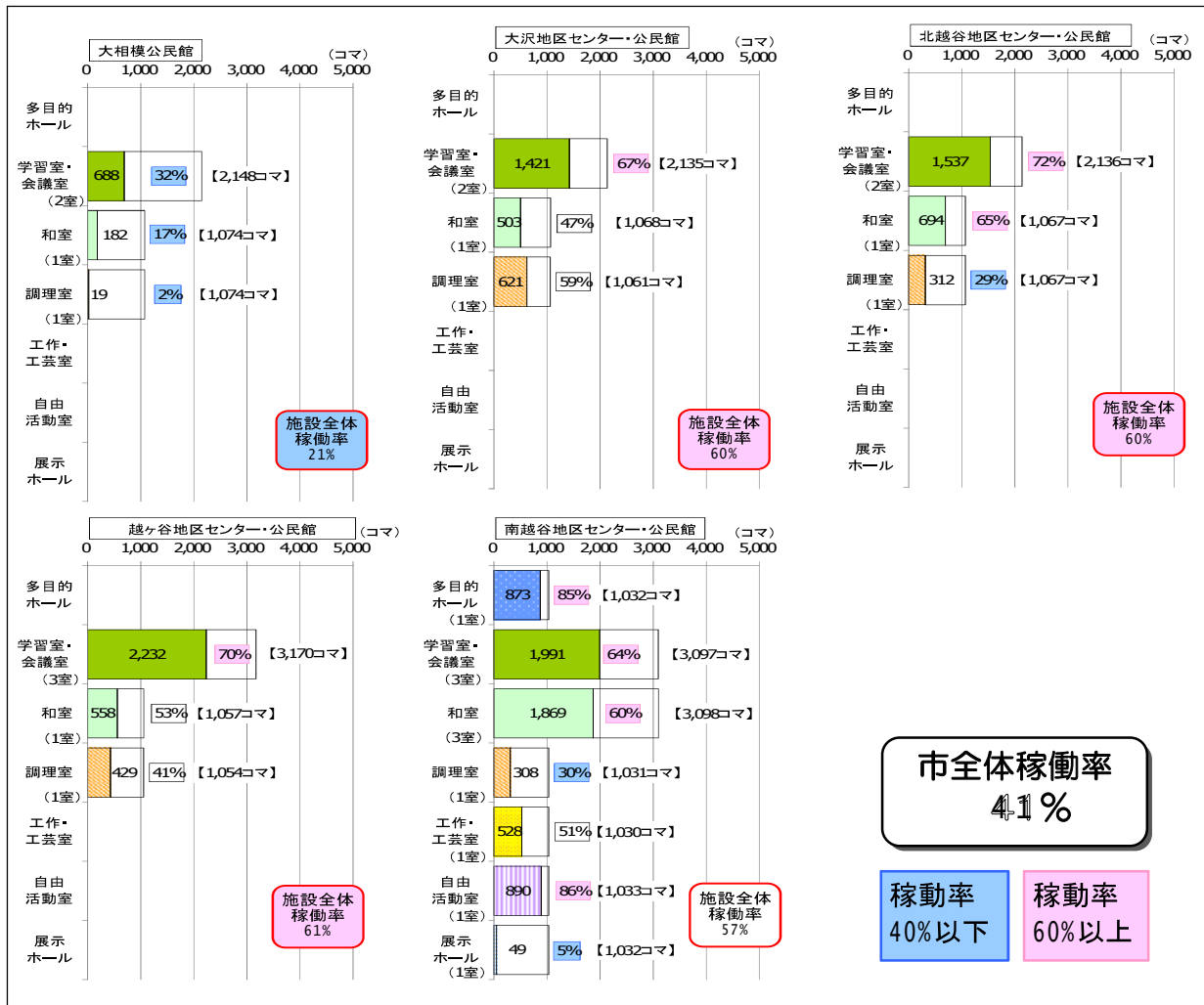
■ 各施設の部屋別稼働率

施設毎の部屋別稼働率をみると、多目的ホールや自由活動室は全ての施設で50%以上と高い利用率となっています。また、会議室の利用率は20%台から70%台と施設により差があります。

施設別・部屋別稼働率

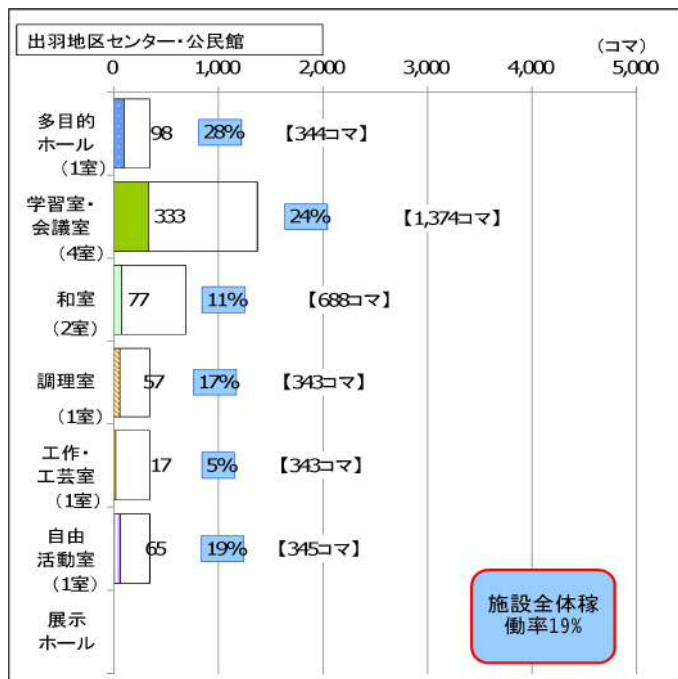


社会教育・コミュニティ施設（４）地区センター・公民館



参考 新出羽地区センター・公民館の利用状況（平成 25 年 12 月～平成 26 年 3 月）

新しい出羽地区センター・公民館の平成 25 年度の稼働率をみると、全体の稼働率は 19%となっています。また、部屋別にみても、全ての部屋で 30%を下回っています。

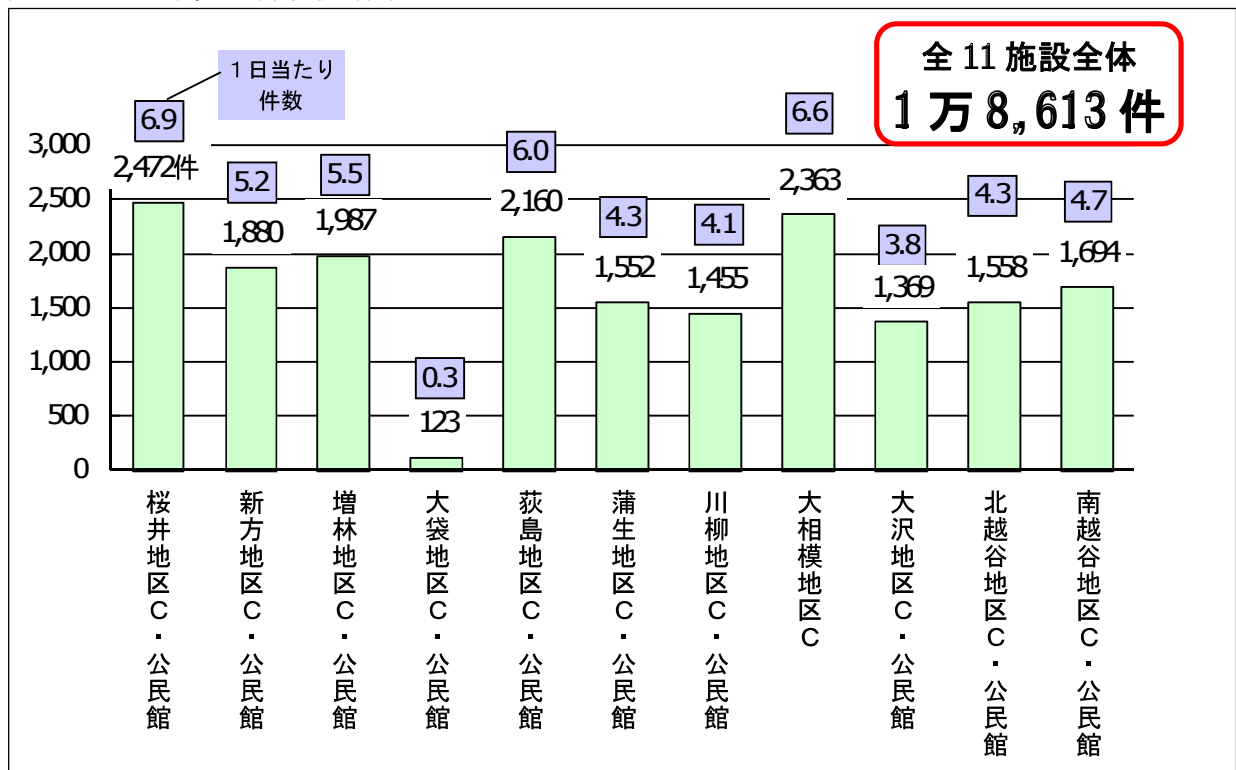


■ 行政サービス業務の利用状況

地区センター・公民館の中で、住民票の写しや印鑑証明書、戸籍謄本・抄本の発行といった行政サービスを行っています。業務を行う11施設の平成24年度の年間利用件数は、約1万9,000件となっています。

施設別の年間利用件数をみると、最も多い桜井地区センター・公民館では、年間約2,500件（1日当たり6.9件）、最も少ない大袋地区センター・公民館では、北部出張所が近くにあることもあり、年間約120件（1日当たり0.3件）となっており、施設間で差があります。

行政サービス業務の年間利用件数



※「地区センター」を「地区C」と表記しています。

3) コスト状況

■ 地区センター・公民館のトータルコスト

平成25年度に建替えを行った出羽地区センター・公民館を除いた、14施設の平成24年度の年間トータルコストは約7億2,000万円となっており、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約1億円、事業運営にかかるコスト（人件費・その他事業費等）は約4億8,000万円、減価償却相当額が約1億4,000万円となっています。

地区センター・公民館の全施設トータルコストをみると、市職員等の職員人件費が約4億4,000万円と全体の約62%を占めております。

使用料等の収入は約860万円で、トータルコストに対する使用料収入の割合である受益者負担率は約1%となっています。

施設別行政コスト計算書

(円)

		桜井地区 センター ・公民館	新方地区 センター ・公民館	増林地区 センター ・公民館	大袋地区 センター ・公民館	千間台 記念会館	荻島地区 センター ・公民館	蒲生地区 センター ・公民館	川柳地区 センター ・公民館
I.現金収支を伴うもの									
【コストの部】									
施設にか かる コスト	修繕費	1,078,339	577,710	1,030,687	1,544,550	386,315	638,715	1,076,376	271,131
	改修費	2,352,000	1,008,105	0	756,000	0	0	397,425	432,600
	光熱水費	3,638,926	2,660,666	6,684,582	2,102,928	1,547,872	2,946,100	5,659,263	1,881,998
	委託費	4,354,951	5,976,816	8,592,858	630,516	795,537	4,086,515	5,504,509	573,438
	土地借上料	94,815	163,905	135,135	619,336	53,655	73,080	134,715	0
	施設にかかるコスト計…A	11,519,031	10,387,202	16,443,262	5,653,330	2,783,379	7,744,410	12,772,288	3,159,167
事業運 営にか かる コスト	職員人件費	21,112,381	18,788,651	18,803,498	21,196,022	4,100,000	18,856,648	22,181,034	18,803,498
	講師等謝礼	731,400	543,000	521,500	665,000	0	528,500	819,000	528,000
	委託費	106,420	106,420	106,420	106,420	0	106,420	106,420	106,420
	使用料及び賃借料	100,023	49,518	91,854	74,340	9,576	57,582	83,860	9,576
	車両・備品購入費	0	481,950	0	0	0	0	365,400	365,400
	その他事業費	1,835,384	1,835,384	1,865,304	1,847,384	614,170	1,835,384	1,835,384	1,847,383
	小計…(ア)	23,885,608	21,804,923	21,388,576	23,889,166	4,723,746	21,384,534	25,391,098	21,660,277
	主催事業 職員人件費	16,400,000	16,400,000	16,400,000	16,400,000	4,100,000	16,400,000	16,400,000	16,400,000
	小計…(イ)	16,400,000	16,400,000	16,400,000	16,400,000	4,100,000	16,400,000	16,400,000	16,400,000
	事業運営にかかるコスト計 (ア+イ)…B	40,285,608	38,204,923	37,788,576	40,289,166	8,823,746	37,784,534	41,791,098	38,060,277
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①	51,804,639	48,592,125	54,231,838	45,942,496	11,607,125	45,528,944	54,563,386	41,219,444	
【収入の部】									
収入	使用料収入	719,000	694,480	677,190	602,687	1,500	408,400	366,900	262,200
	諸収入	76,130	204,190	281,630	250,440	0	153,500	200,160	43,180
	収入合計…②	795,130	898,670	958,820	853,127	1,500	561,900	567,060	305,380
II.現金収支を伴わないコスト									
減価償却相当額…③	20,296,572	17,962,320	18,911,646	4,111,714	2,853,840	9,821,344	19,703,037	2,483,200	
III.総括									
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)	72,101,211	66,554,445	73,143,484	50,054,210	14,460,965	55,350,288	74,266,423	43,702,644	
収支差額(④-②)	71,306,081	65,655,775	72,184,664	49,201,083	14,459,465	54,788,388	73,699,363	43,397,264	

社会教育・コミュニティ施設（４）地区センター・公民館

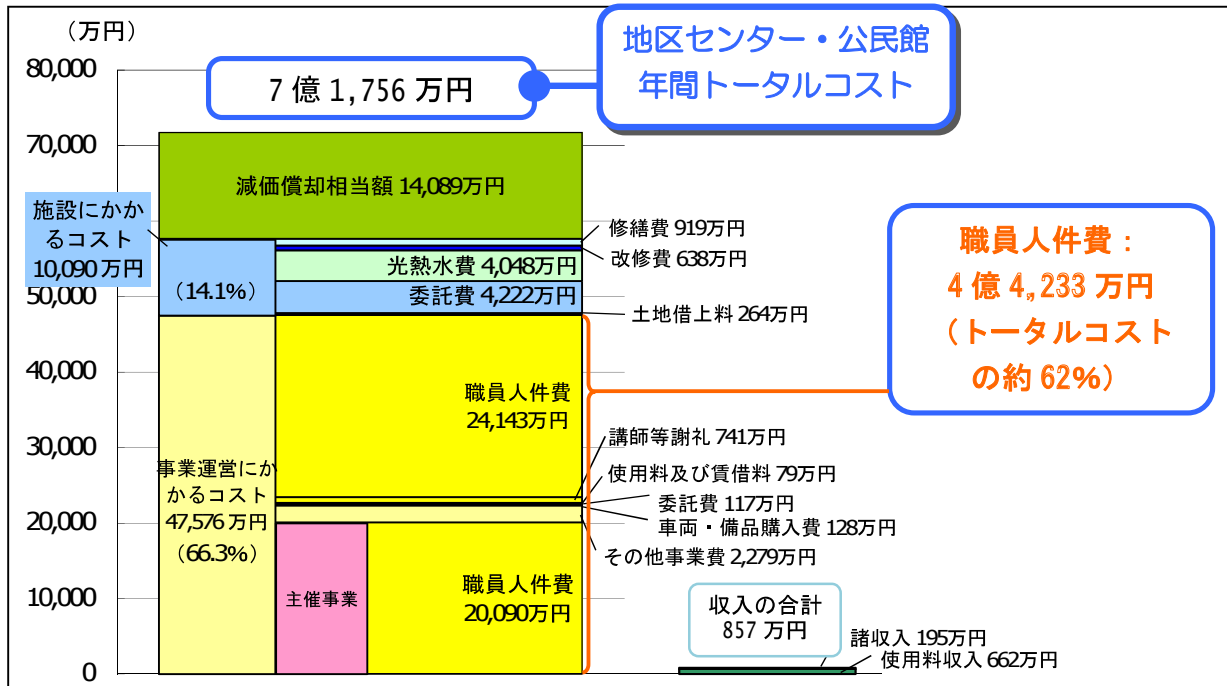
施設別行政コスト計算書

(円)

		大相模地区 センター	大相模 公民館	大沢地区 センター ・公民館	北越谷地区 センター ・公民館	越ヶ谷地区 センター ・公民館 (中央市民 会館内)	南越谷地区 センター ・公民館	合計
I. 現金収支を伴うもの								
【コストの部】								
施設にかか る コスト	修繕費	313,530	472,773	797,625	295,050	241,395	461,443	9,185,639
	改修費	803,250	0	0	630,000	0	0	6,379,380
	光熱水費	3,574,211	1,775,948	1,640,339	2,165,443	0	4,200,917	40,479,193
	委託費	4,246,020	1,368,922	863,991	1,153,805	0	4,068,988	42,216,866
	土地借上料	72,870	1,014,806	42,945	84,210	0	151,935	2,641,407
	施設にかかるコスト計…A	9,009,881	4,632,449	3,344,900	4,328,508	241,395	8,883,283	100,902,485
事業運 営にか か る コスト	職員人件費	18,756,763	3,272,046	19,021,964	18,803,498	18,926,419	18,803,498	241,425,920
	講師等謝礼	567,500	0	548,000	525,000	682,000	749,000	7,407,900
	委託費	106,420	0	106,420	106,420	0	106,420	1,170,620
	使用料及び賃借料	88,053	37,212	14,876	20,160	9,576	145,348	791,554
	車両・備品購入費	0	0	66,570	0	0	0	1,279,320
	その他事業費	1,835,384	1,736,688	1,861,313	1,835,383	150,350	1,853,684	22,788,579
	小計…(ア)	21,354,120	5,045,946	21,619,143	21,290,461	19,768,345	21,657,950	274,863,893
	職員人件費	16,400,000	0	16,400,000	16,400,000	16,400,000	16,400,000	200,900,000
	小計…(イ)	16,400,000	0	16,400,000	16,400,000	16,400,000	16,400,000	200,900,000
	事業運営にかかるコスト計 (ア+イ)…B	37,754,120	5,045,946	38,019,143	37,690,461	36,168,345	38,057,950	475,763,893
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①	46,764,001	9,678,395	41,364,043	42,018,969	36,409,740	46,941,233	576,666,378	
【収入の部】								
収入	使用料収入	858,767	729,600	112,700	325,500	290,100	569,000	6,618,024
	諸収入	192,850	1,400	169,540	132,200	22,350	225,050	1,952,620
	収入合計…②	1,051,617	731,000	282,240	457,700	312,450	794,050	8,570,644
II. 現金収支を伴わないコスト								
減価償却相当額…③	14,262,380	1,146,000	2,008,928	4,338,262	0	22,994,256	140,893,499	
III. 総括								
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)	61,026,381	10,824,395	43,372,971	46,357,231	36,409,740	69,935,489	717,559,877	
収支差額(④-②)	59,974,764	10,093,395	43,090,731	45,899,531	36,097,290	69,141,439	708,989,233	

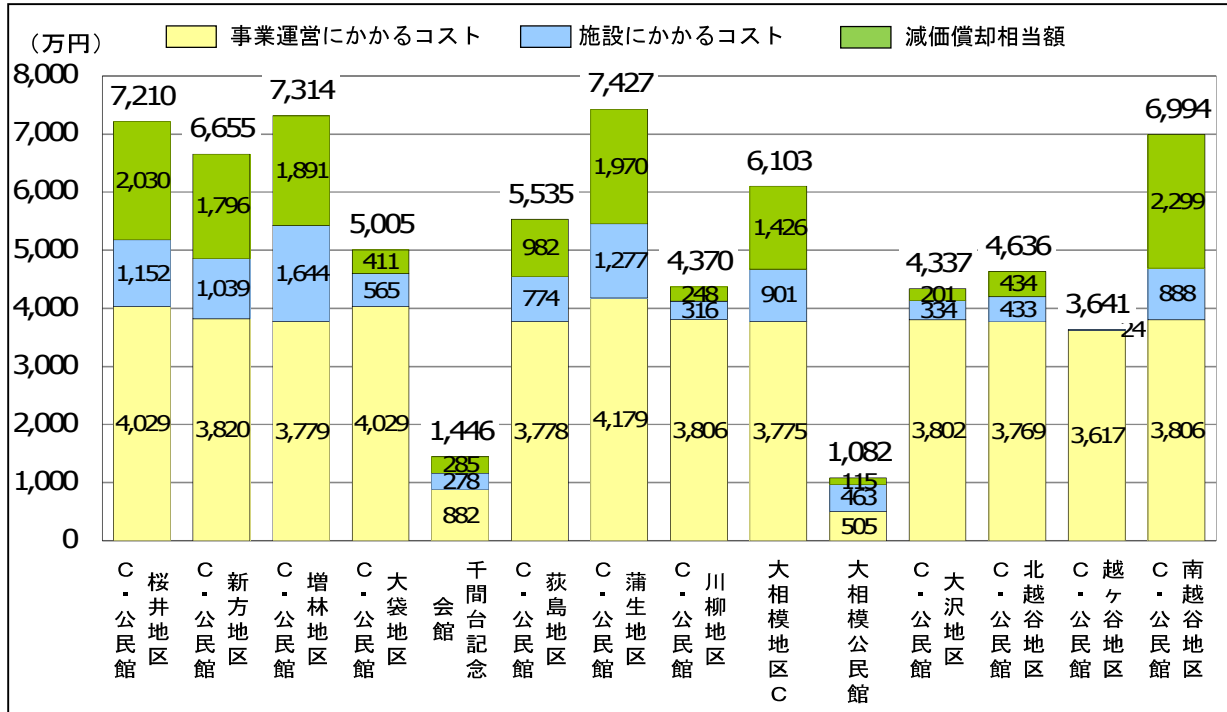
※越ヶ谷地区センター・公民館の減価償却相当額は中央市民会館に含む

全施設トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

施設別トータルコスト



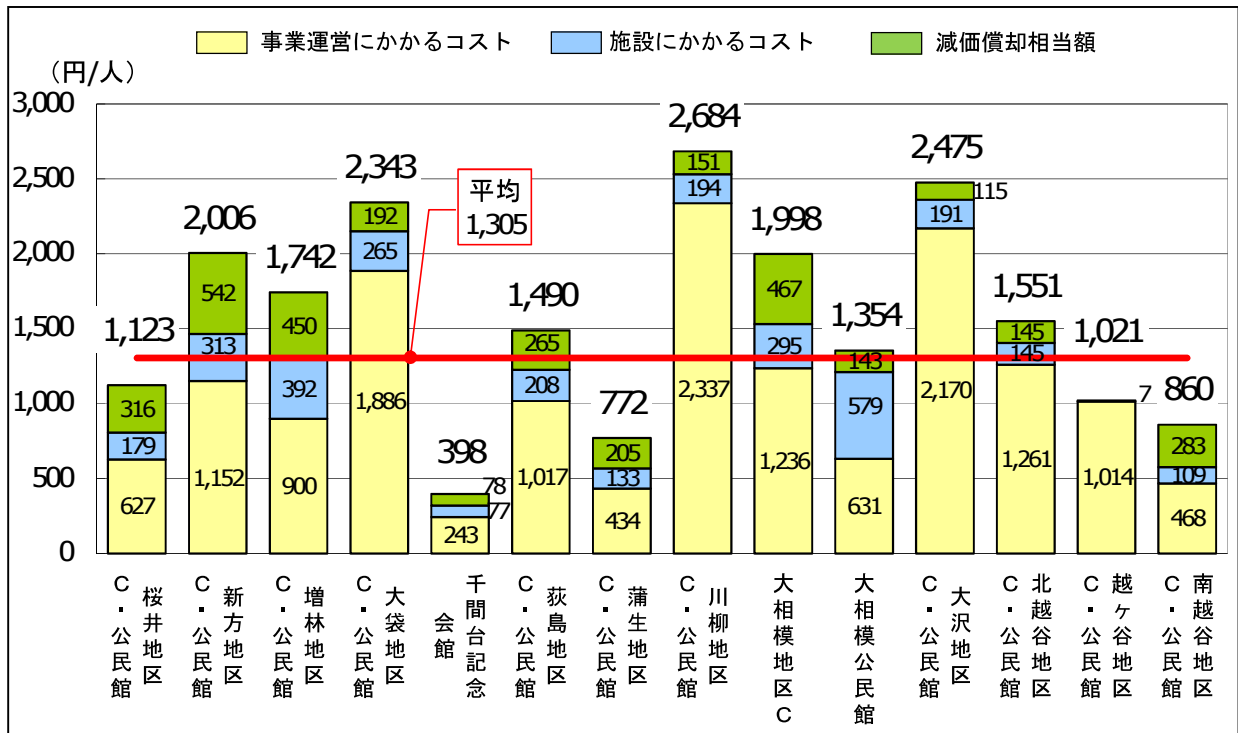
※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

■ 利用者 1 人当たりのコスト

各施設の利用者とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出しました。

利用者 1 人当たりのコストは、千間台記念会館の約 400 円から川柳地区センター・公民館の約 2,700 円となっており、平均は約 1,300 円となっています。

施設別 利用者 1 人当たりにかかるコスト



※少数点以下を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4) まとめ

- ・老朽化した施設は、計画的に大型館へ建替えを行っており、現在、大沢地区センター、大袋地区センターについて、検討を進めています。
- ・運営は直営で行われ、年間コストは約 7 億 2,000 万円で、人件費が約 62% を占めています。使用料等の収入は約 860 万円で、受益者負担率は約 1% となっています。
- ・大型化した施設では、蒲生地区センター・公民館、南越谷地区センター・公民館の稼働率が高く、その他の施設は、比較的余裕があります。
- ・地区センター・公民館は、地域コミュニティや生涯学習の拠点として重要な役割を担っていますが、今後建替えを検討する場合には、現状の稼働率や受益住民の数を検証し、適正規模や設備の見直しを行うとともに、施設のあり方について検討することが求められます。

（５）交流館

１）施設概要

① 設置目的等

交流館は地域のコミュニティ活動や生涯学習、地域福祉などの活動を支える公民館と集会所の中間的な役割を担う場として活用されています。現在、市内に 8 つの施設を設置していますが、蒲生交流館や新方交流館など 4 施設は、旧公民館を改修した施設であり、また、南部交流館は、土地区画整理事業により設置した旧記念会館を改修した施設です。

※新方交流館は平成 26 年度での閉鎖が決まっています。



蒲生交流館



大袋北交流館

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	避難所	備考
1 赤山交流館	赤山町三丁目128番地1	372.00	平成7	鉄筋コンクリート造	●	
2 大沢北交流館	大字大里326番地1	372.00	平成8	鉄筋コンクリート造	●	
3 蒲生交流館	蒲生寿町4番9号	690.07	昭和44	鉄筋コンクリート造	●	(旧公民館)
4 南部交流館	南町一丁目22番13号	667.50	昭和57	鉄筋コンクリート造	●	(旧記念会館)
5 新方交流館	大字北川崎258番地	530.48	昭和47	鉄筋コンクリート造	●	(旧公民館)
6 大袋北交流館	大字袋山565番地4	372.60	平成12	鉄筋コンクリート造	●	
7 桜井交流館	大字大泊730番地2	614.14	昭和47	鉄筋コンクリート造	●	(旧公民館)
8 南越谷交流館	南越谷五丁目15番地4	437.06	昭和52	鉄筋コンクリート造	●	(旧公民館)
合 計		4,055.85				

② 開館時間・休館日・開館日数

開館時間：午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分

休館日：毎週月曜日（祝日のときは翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

開館日数：新方交流館、南越谷交流館 307 日（平成 24 年度）

その他の交流館 308 日（平成 24 年度）

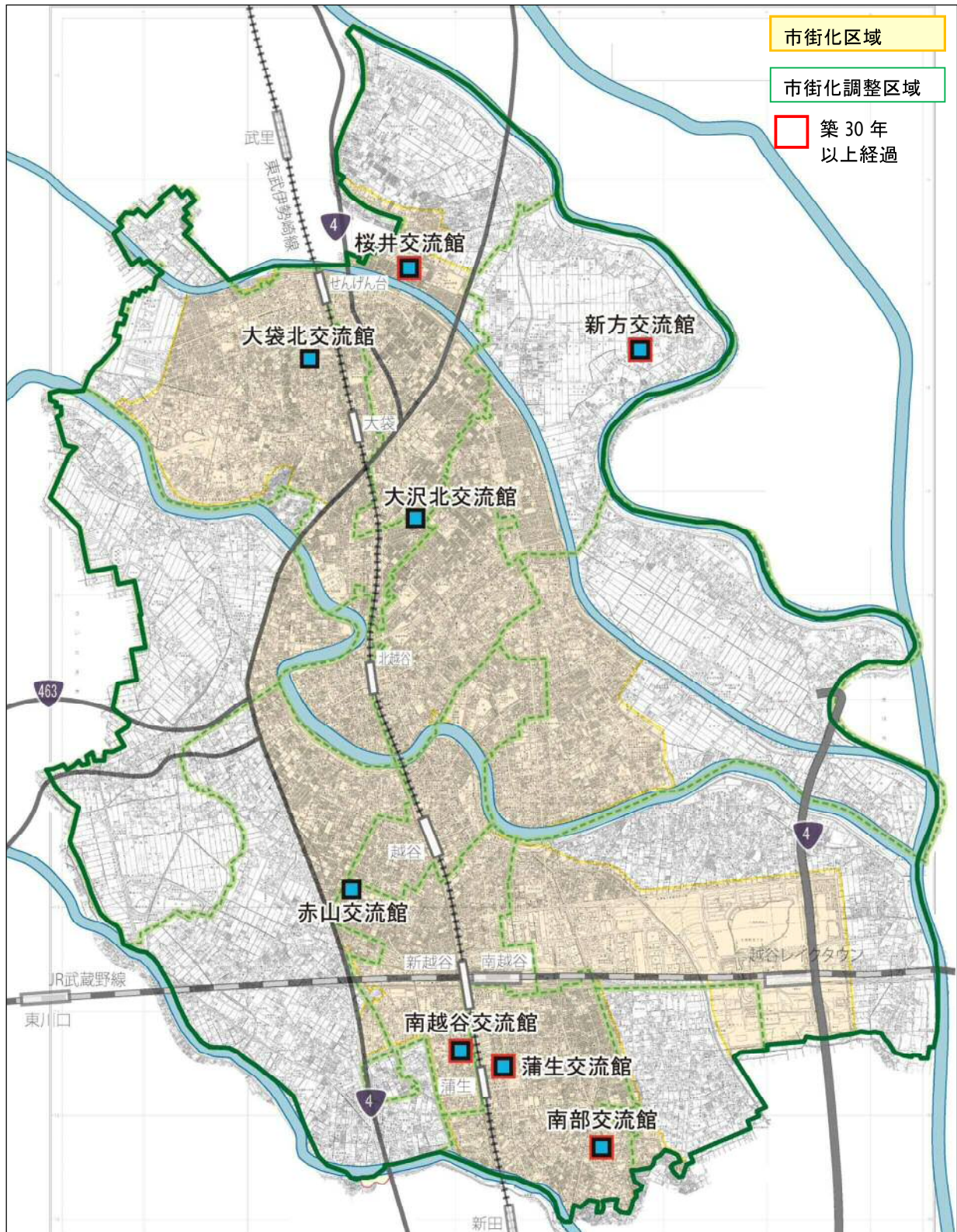
③ 事業内容

交流館は、指定管理者制度を導入し、指定管理者である地元の運営協議会が運営しており、市民相互の交流やコミュニティづくりの推進、市民参加による地域福祉活動の推進、市民の自主的な学習や生涯学習の支援などを行っています。

また、地域の避難所に指定し、大規模災害時の防災施設としての機能を有しています。

④ 配置状況

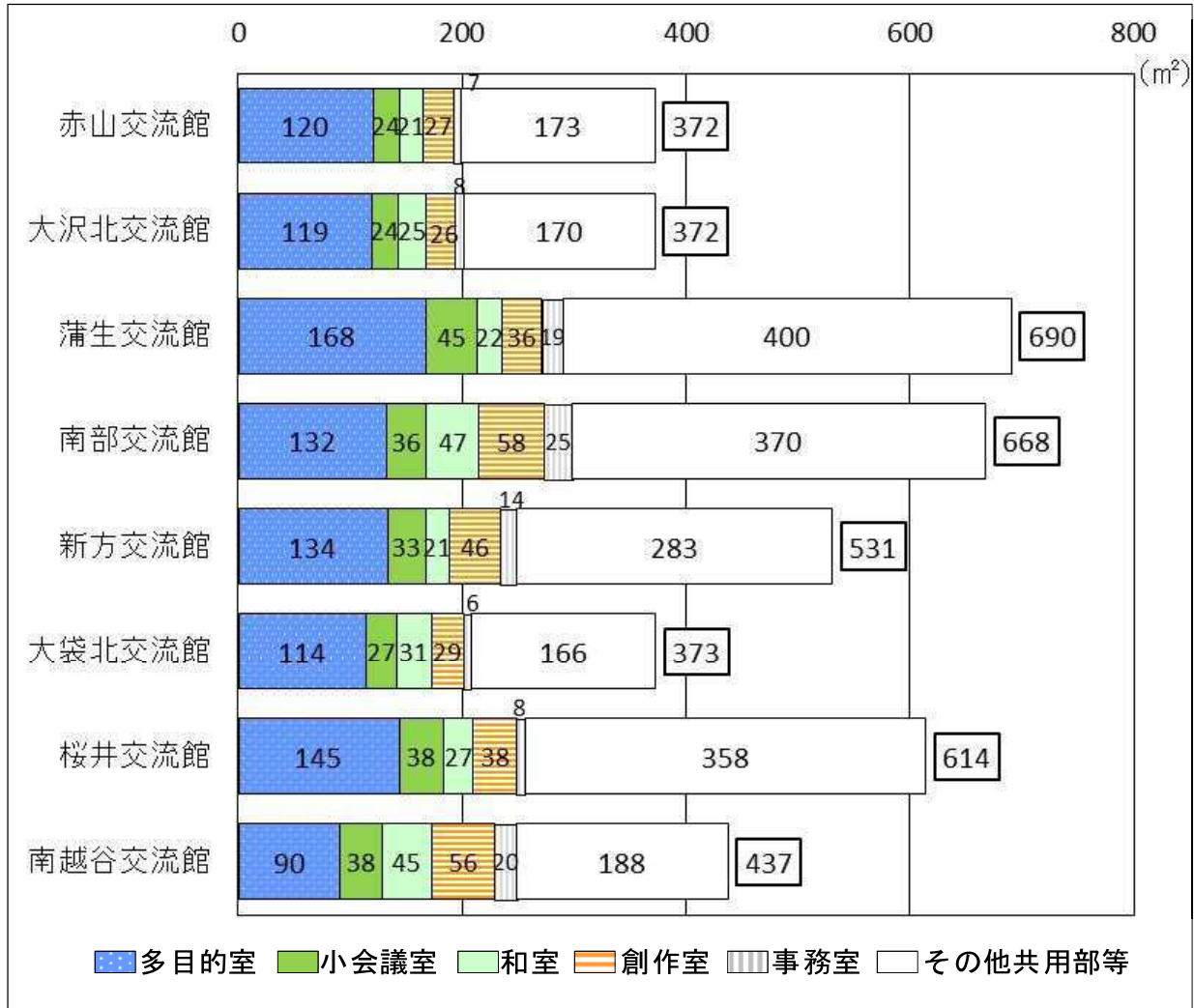
交流館位置図



⑤ スペース構成

交流館の規模は、赤山交流館、大沢北交流館の372㎡から蒲生交流館の690㎡となっています。主な保有スペースは、全8施設とも多目的室、小会議室、和室、創作室、事務室、その他共用部等と、同様の部屋構成となっています。

スペース構成



２）利用実態

① 建物の状況

■ 交流館のスペック情報

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応			
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等
1	赤山交流館	平成7	372	不要	18		18	—	○	○	○	×	○	×	×	×	×
2	大沢北交流館	平成8	372	不要	17		17	—	○	○	○	×	○	×	×	×	×
3	蒲生交流館	昭和44	690	未実施	44		44	—	×	×	×	×	○	×	×	×	×
4	南部交流館	昭和57	668	不要	31		31	—	○	○	×	×	○	×	×	×	×
5	新方交流館	昭和47	530	未実施	41		41	—	○	○	×	○	○	×	×	×	×
6	大袋北交流館	平成12	373	不要	13		13	—	○	○	○	×	○	×	×	×	×
7	桜井交流館	昭和47	614	未実施	41		41	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×
8	南越谷交流館	昭和52	437	未実施	36		36	—	×	○	×	×	○	○	×	×	×
合計			4,056														

記載例	実施済み：○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施：×	
	不要：—	

蒲生交流館など旧公民館 5 施設は旧耐震基準の建物です。また、桜井交流館はアスベストの除去が未完了となっています。

南部交流館は、新耐震基準の建物ですが、建設から30年以上が経過しています。

また、全施設ともバリアフリー対応等が一部完了していません。

② 利用状況

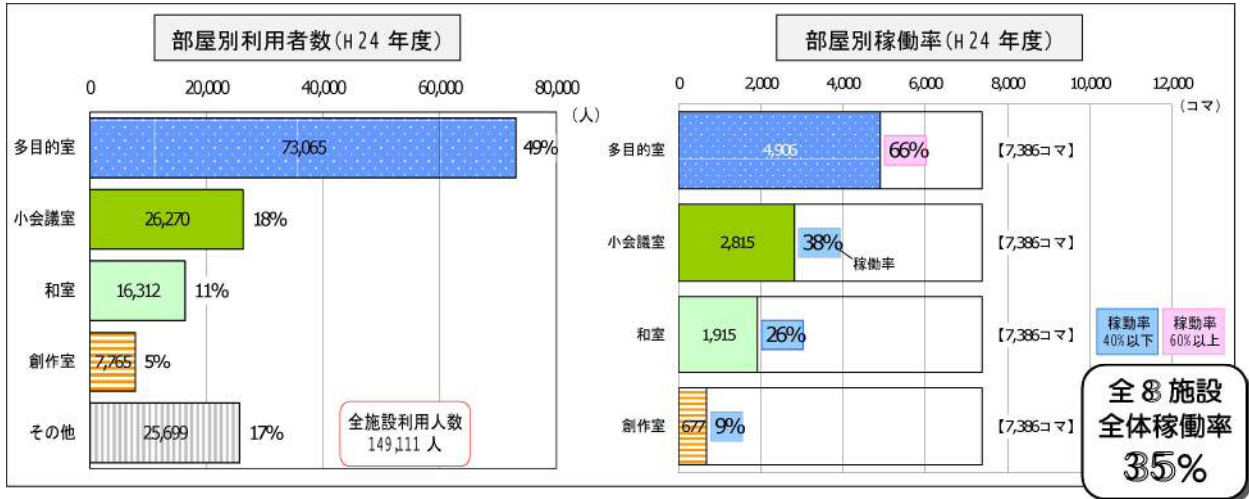
■ 部屋別利用状況

交流館の全体利用者数は約 15 万人、1 施設当たり平均約 1 万 9 000 人となっています。

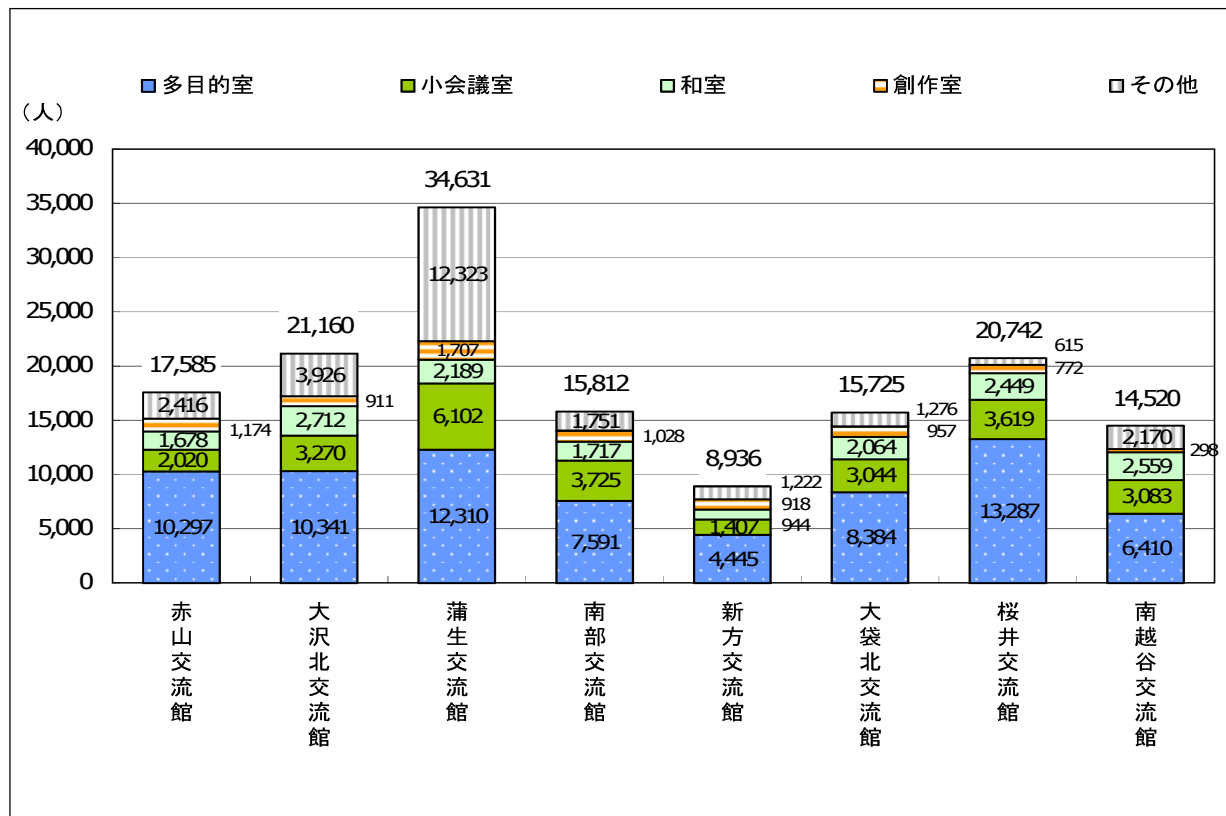
全 8 施設の全体稼働率は 35% であり、特に多目的室の稼働率が高くなっています。

各施設の利用者数をみると、新方交流館の約 9 000 人から蒲生交流館の約 3 万 5 000 人までとなっており、施設間に大きな差があります。

全体・部屋別利用者数及び稼働率



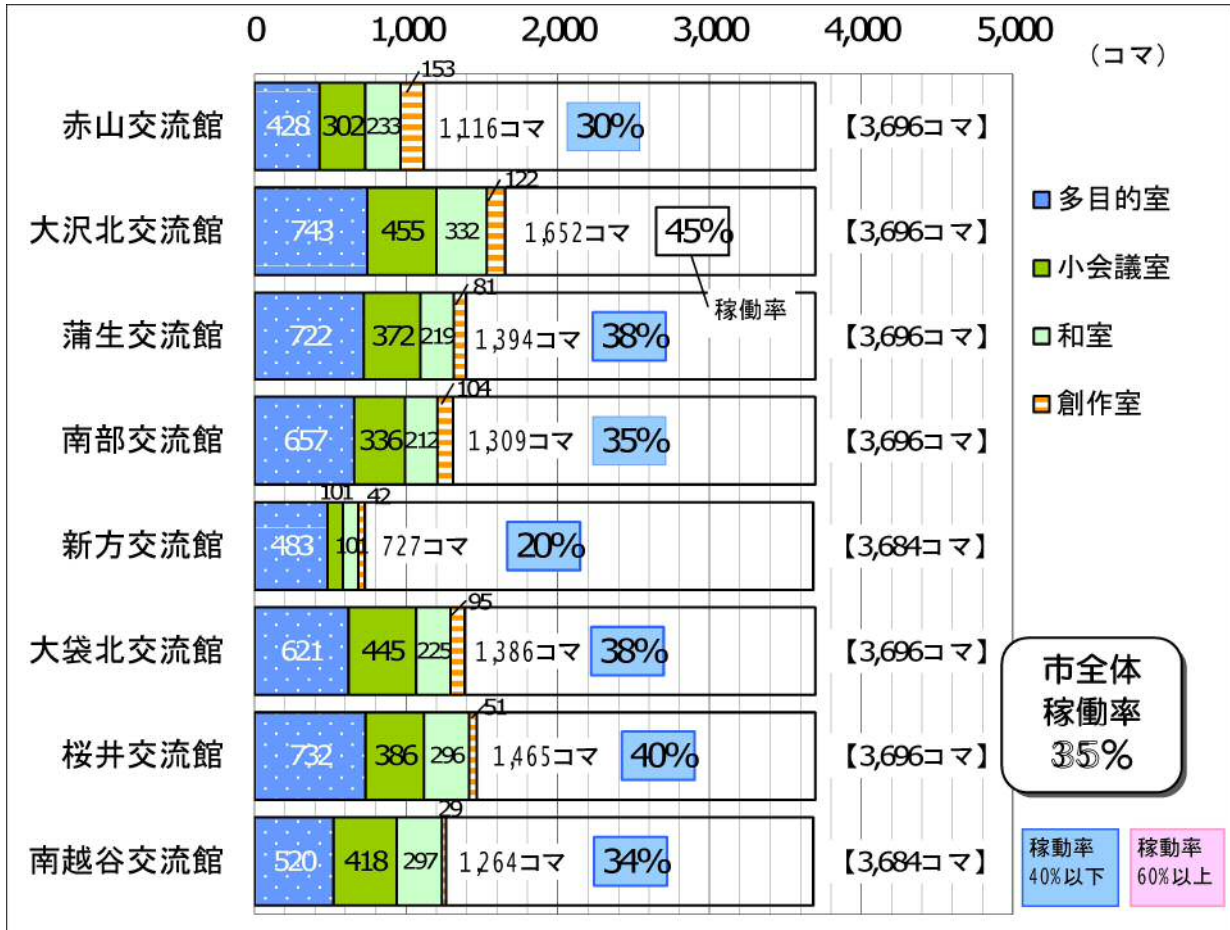
施設別・部屋別利用者数



■ 施設別稼働率

交流館全8施設のうち、大沢北交流館の稼働率は45%と比較的高くなっていますが、7施設は稼働率が40%以下であり、利用状況は低くなっています。

施設別稼働率



３）コスト状況

■ 交流館のトータルコスト

交流館８施設の年間トータルコストは約 7,500 万円です。1 施設当たりの平均は約 930 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約 2,200 万円、事業運営にかかるコスト（使用料及び賃借料、その他事業費等）は約 250 万円、指定管理料は約 2,600 万円、減価償却相当額が約 2,400 万円となっています。

また、利用者による使用料等の収入は約 700 万円で、トータルコストに対する使用料収入の割合である受益者負担率は、9%となっています。

施設別行政コスト計算書

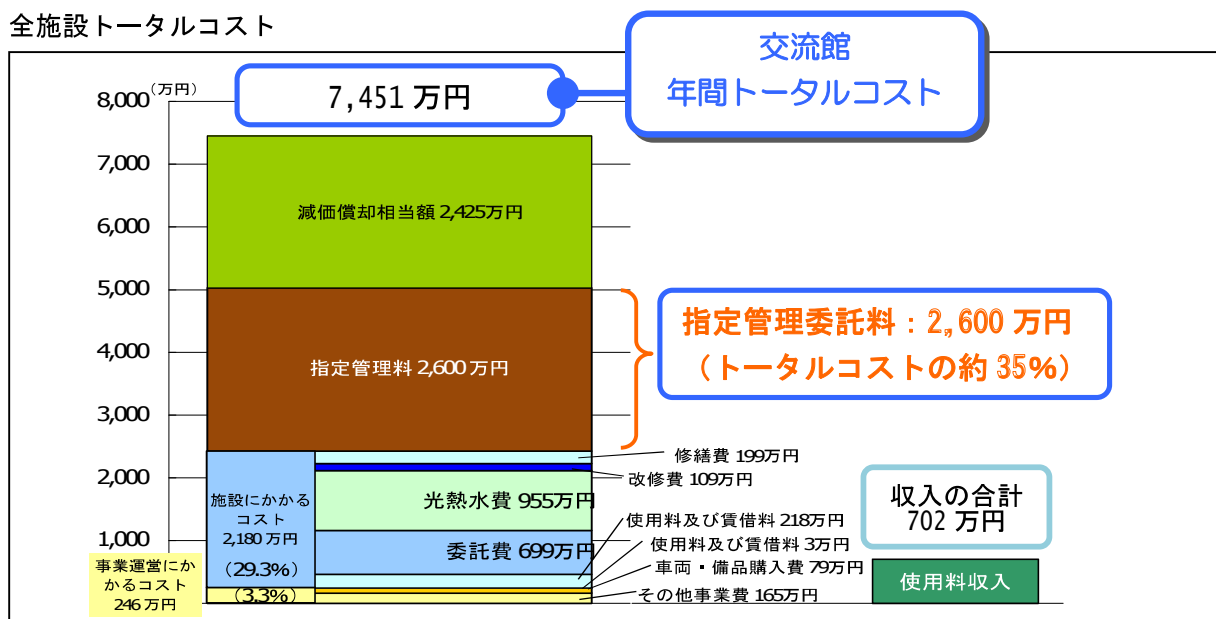
(円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		赤山交流館	大沢北交流館	蒲生交流館	南部交流館	新方交流館	大袋北交流館	桜井交流館	南越谷交流館	合計
コストにかか る施設	修繕費	6,300	393,750	38,850	71,925	479,745	260,574	398,995	336,955	1,987,094
	改修費	0	0	0	399,000	0	0	693,000	0	1,092,000
	光熱水費	935,812	1,190,378	1,479,695	1,068,436	1,529,515	1,025,890	1,368,819	953,027	9,551,572
	委託費	1,153,317	1,254,117	613,626	629,073	1,132,983	1,242,853	537,569	426,475	6,990,014
	使用料及び賃借料	43,575	17,430	38,745	13,125	1,239,226	16,905	787,202	19,215	2,175,423
	施設にかかるコスト計…A	2,139,004	2,855,675	2,170,916	2,181,559	4,381,469	2,546,222	3,785,585	1,735,672	21,796,103
事業運営に かかるコスト	使用料及び賃借料	0	0	0	14,532	0	0	0	14,532	29,064
	車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	785,820	785,820
	その他事業費	198,457	198,457	214,238	213,119	206,320	198,487	218,136	201,685	1,648,899
	事業運営にかかるコスト計…B	198,457	198,457	214,238	227,651	206,320	198,487	218,136	1,002,037	2,463,783
指定管理料…C	3,250,000	3,250,000	3,250,000	3,250,000	3,250,000	3,250,000	3,250,000	3,249,777	25,999,777	
現金収支を伴うコスト合計(A+B+C)…①	5,587,461	6,304,132	5,635,154	5,659,210	7,837,790	5,994,708	7,253,721	5,987,486	50,259,663	
【収入の部】										
収入	使用料収入	556,500	1,120,800	1,023,400	966,900	613,100	883,000	994,500	864,000	7,022,200
収入合計…②		556,500	1,120,800	1,023,400	966,900	613,100	883,000	994,500	864,000	7,022,200
II. 現金収支を伴わないコスト										
減価償却相当額…③		2,153,320	2,377,824	2,884,000	4,739,537	3,281,235	2,942,166	3,646,340	2,229,062	24,253,484
III. 総括										
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		7,740,781	8,681,956	8,519,154	10,398,747	11,119,025	8,936,874	10,900,061	8,216,548	74,513,147
収支差額(④-②)		7,184,281	7,561,156	7,495,754	9,431,847	10,505,925	8,053,874	9,905,561	7,352,548	67,490,947

※光熱水費には燃料費を含む

交流館の全施設トータルコストのうち指定管理料が約 2,600 万円と全体の約 35%を占めています。

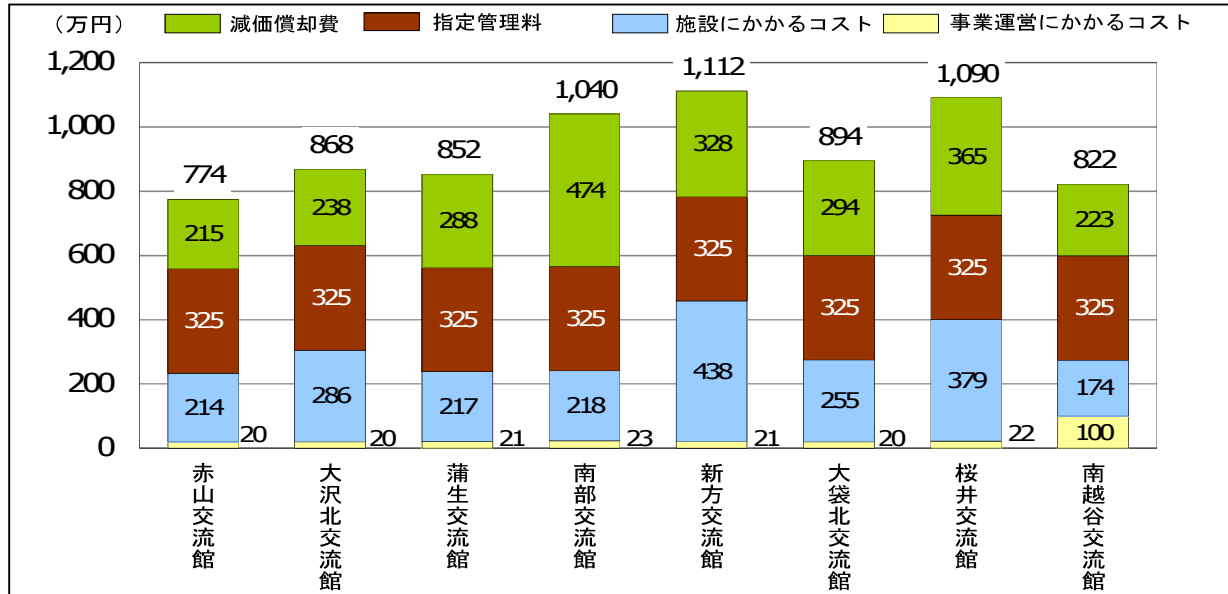
全施設トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

施設別トータルコストでは、指定管理料は1施設当たり約325万円と一律となっており、施設間に大きな差はありません。施設別のトータルコストでは赤山交流館の約770万円から新方交流館の約1,110万円となっています。

施設別トータルコスト

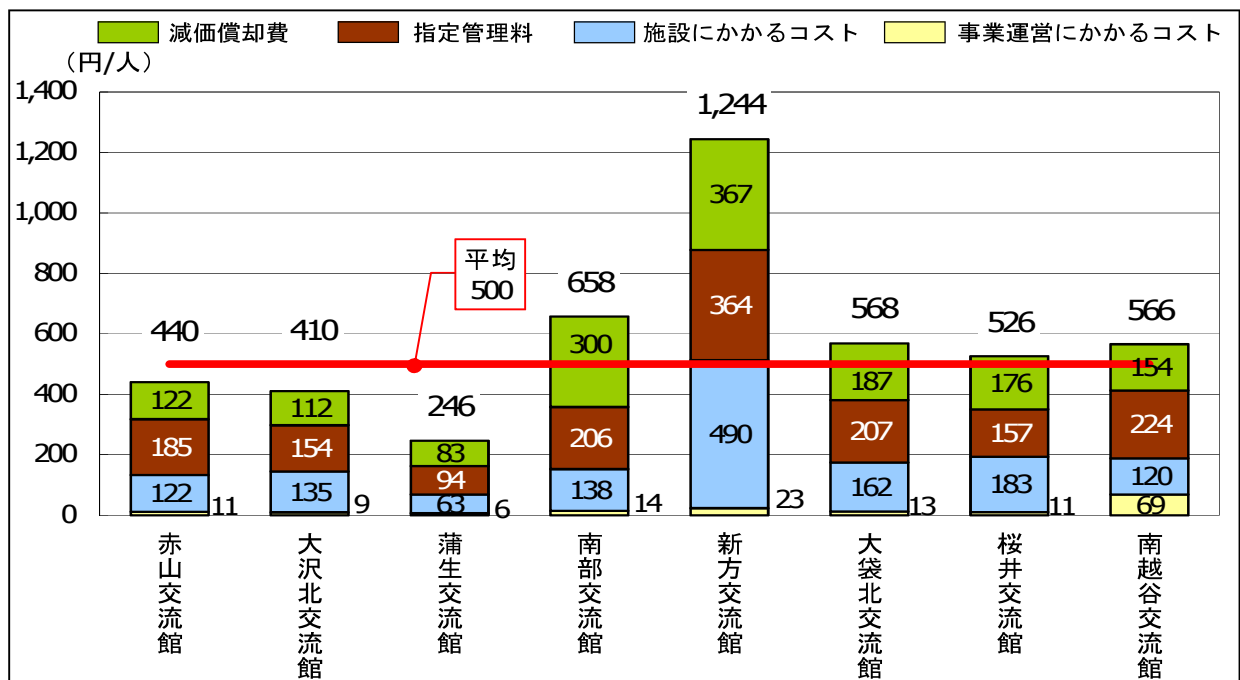


※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

■ 利用者1人当たりのコスト

利用者1人当たりのコストは、利用者が最も多い蒲生交流館の約200円から利用者が最も少ない新方交流館の約1,200円となっています。交流館の平均は約500円となっています。

施設別 利用者1人当たりにかかるコスト



※少数点以下を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

４）まとめ

- 全８施設中、建築年度の古い順では昭和４４年の蒲生交流館、４７年桜井交流館、５２年の南越谷交流館となり、これらの施設は旧耐震基準の施設であることから、今後も引き続き使用する場合は、耐震改修工事を行う必要があります。また、南部交流館は、築後３０年以上が経過し老朽化が進行しています。
運営は、指定管理者制度を導入し地元市民による運営協議会が担っています。
- 年間の利用状況は、多い施設では約３万５,０００人（蒲生交流館）、少ない施設では約９,０００人（新方交流館）となっており、地域差があります。部屋別で見ると、多目的室の稼働率が６６％を占め最も多く、次いで小会議室３８％、和室が２６％となっており、創作室は９％に留まっています。
- 年間コストは約７,５００万円で、１施設平均９４０万円となります。また、利用者による使用料等の収入は全施設で約７００万円となっており、受益者負担率は９％です。
- 交流館のうち、旧公民館を改修した老朽施設については、地区センター・公民館及び市民会館、加えて集会機能をもつ自治会館の整備状況を踏まえて、そのあり方を検討する必要があります。

（6）市民活動団体支援施設

1）施設概要

① 設置目的等

本施設は営利を目的としない自主的で、主体的な市民活動への参加を促進し、市民活動を行う団体を支援することを目的として、越谷ツインシティBシティ5階に設置しました。



市民活動支援センター

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	複合・併設施設の状況	備考
市民活動支援センター	弥生町16番1号	2,052.47	平成23	鉄骨造	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援センター: 1,032㎡ ・市民活動支援センター中央図書室: 788㎡ ・パスポートセンター: 232㎡ 	

※市民活動支援センター（1,032㎡）には観光・物産情報コーナー（103㎡）を含んでいる。

② 開館時間・休館日・開館日数

開館時間：午前9時～午後9時30分

休館日：年末年始（12月29日～1月3日）

開館日数：298日（平成24年度：平成24年6月1日から平成25年3月31日まで）

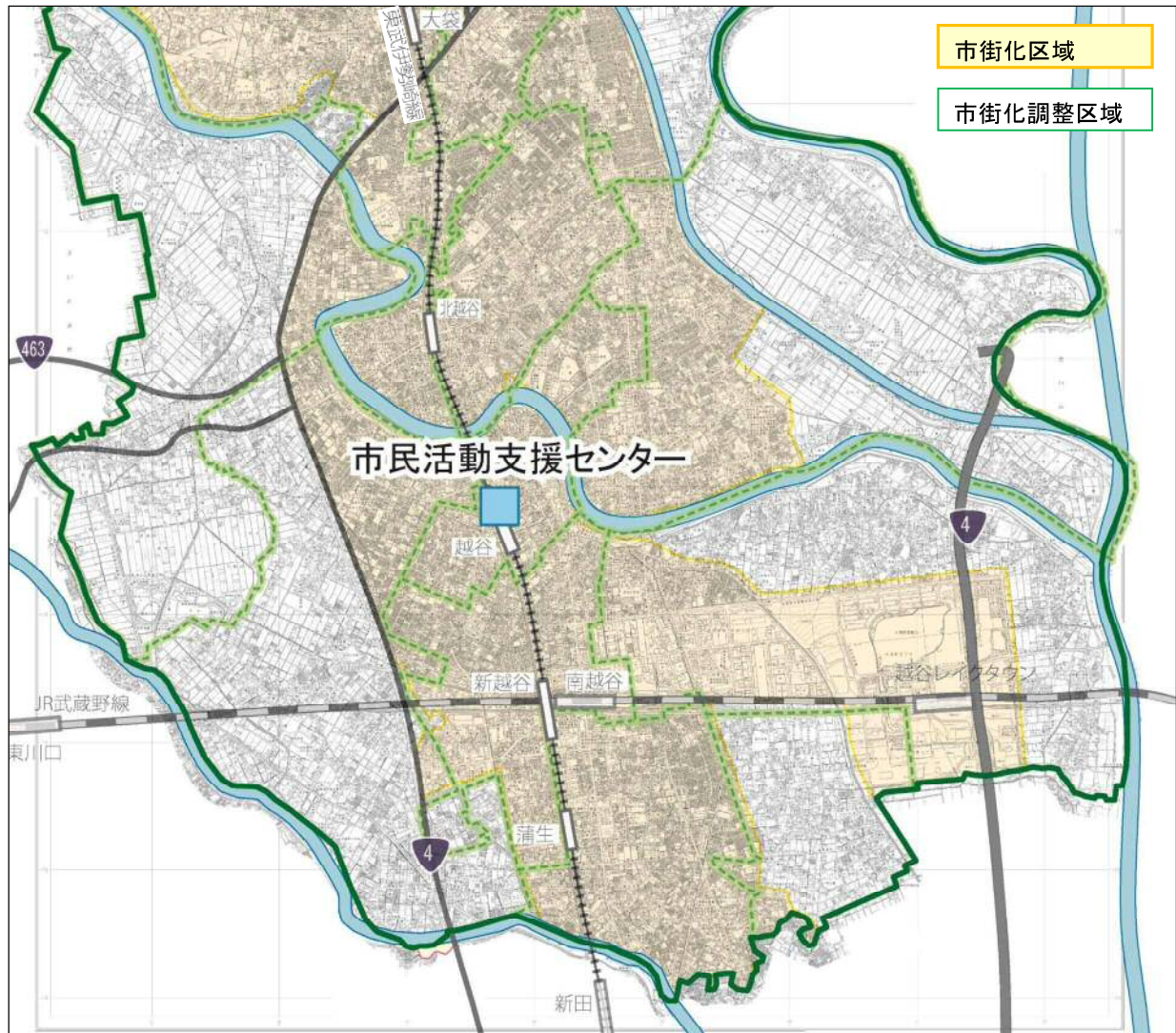
③ 事業内容

本施設内には活動室や多目的スペースを備え市民活動を行う場を提供することで、市民が自由に市民活動に参加するための学習の支援や、情報の提供や収集等ができるような支援を行なっています。

運営は指定管理者制度を導入しています。

④ 配置状況

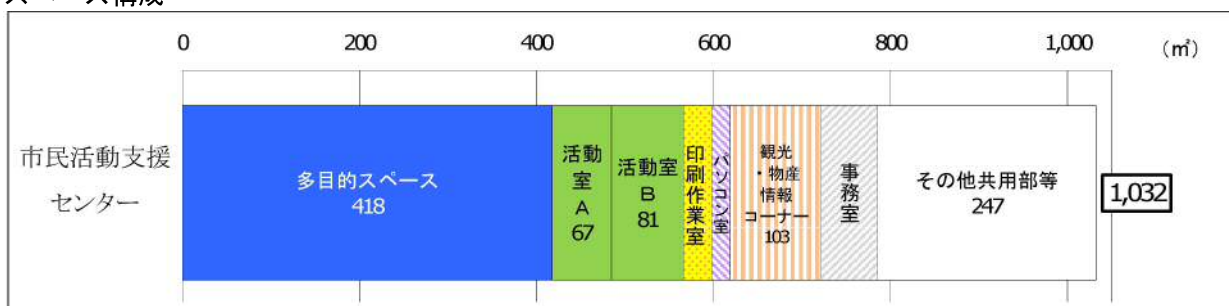
市民活動団体支援施設位置図



⑤ スペース構成

本施設は、多目的スペースを中心としたスペース構成です。その他に活動室や印刷作業室、パソコン室といった市民活動団体等が活動できるスペースがあります。

スペース構成



2) 利用実態

① 建物の状況

■市民活動支援センターのスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応				
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
市民活動支援センター	平成23	2,052	不要	2		2	—	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—

記載例

実施済み	○
未実施	×
不要	—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

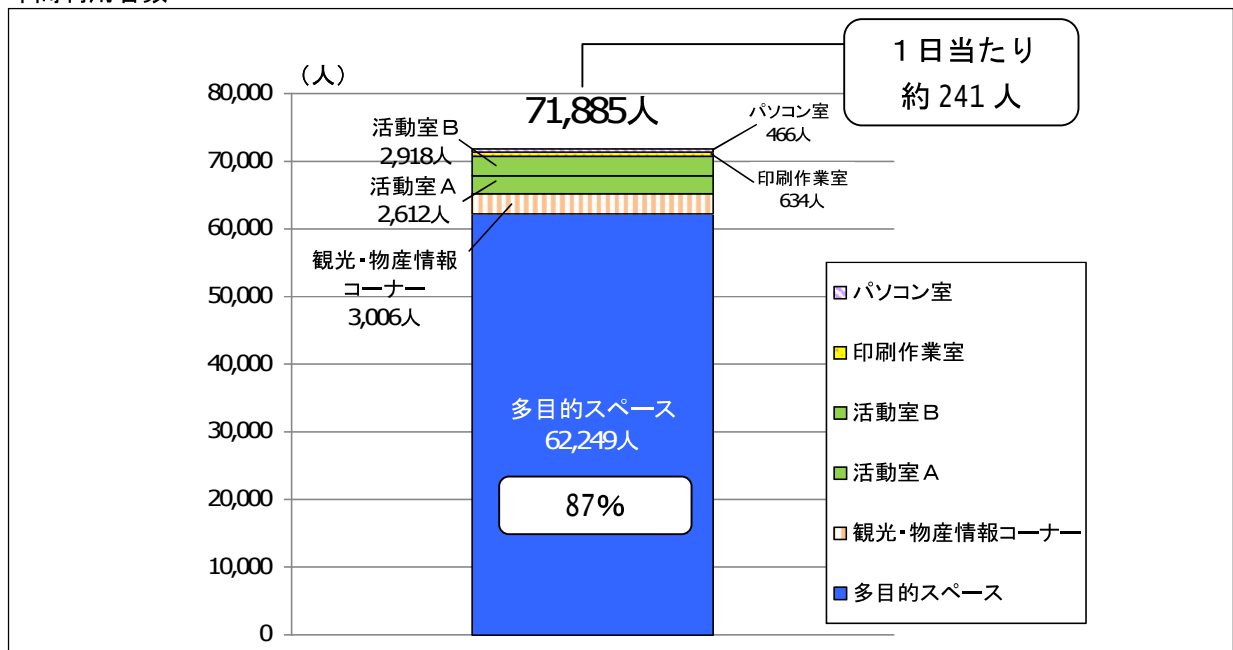
本施設は、新耐震基準の建物であるため、建物の安全性に対する大きな問題はありません。

② 利用状況

本施設の平成24年度の年間利用者数は約7万2,000人、1日当たり約240人となっています。

部屋別の内訳をみると、多目的スペースが約87%を占めています。

年間利用者数



※ プレイルームの利用者数は多目的スペースに含む

3) コスト状況

本施設の年間トータルコストは、約1億2,000万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（改修費、光熱水費等）は約120万円、事業運営にかかるコスト（負担金、補助及び交付金等）が約1,600万円、市民活動支援センター中央図書室の管理を含む指定管理料が約8,800万円、減価償却相当額が約1,000万円となっています。

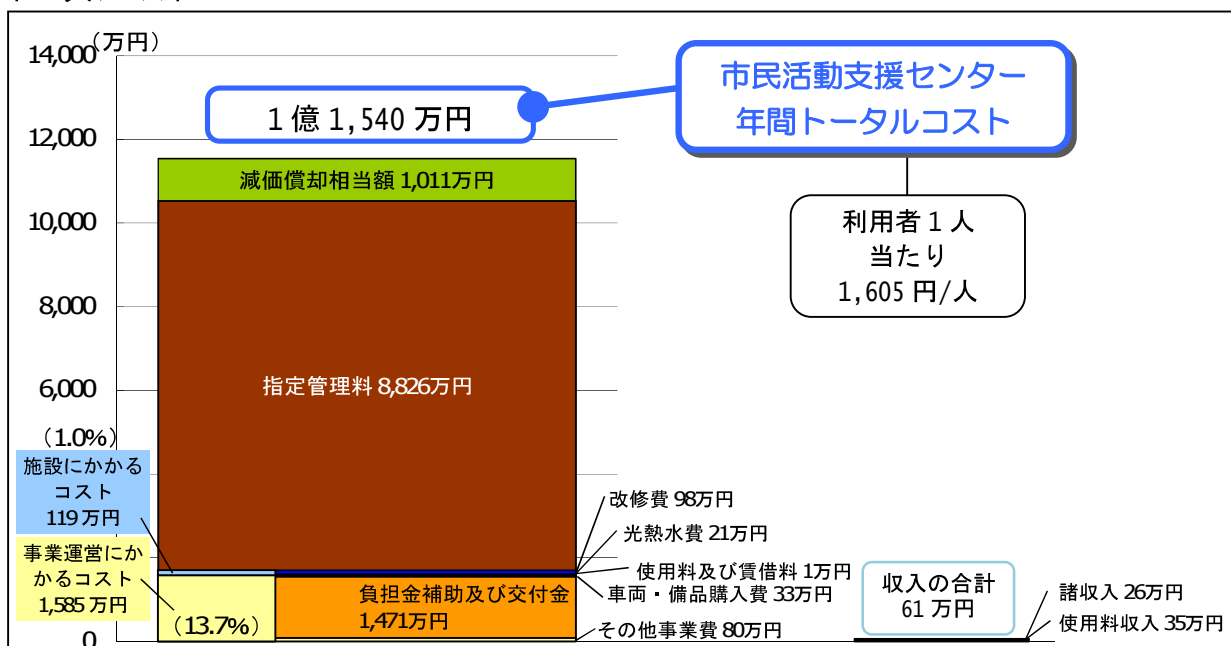
利用者1人当たりにかかるコストは、約1,600円となっています。

行政コスト計算書

(円)

I.現金収支を伴うもの		市民活動支援センター
【コストの部】		
施設にかかるコスト	改修費	976,500
	光熱水費	205,293
	使用料及び賃借料	6,720
	施設にかかるコスト計…A	1,188,513
事業運営にかかるコスト	車両・備品購入費	327,089
	負担金補助及び交付金	14,714,275
	その他事業費	804,963
	事業運営にかかるコスト計…B	15,846,327
指定管理料…C		88,258,150
現金収支を伴うコスト合計(A+B+C)…①		105,292,990
【収入の部】		
収入	使用料収入	354,966
	諸収入	259,320
	収入合計…②	614,286
II.現金収支を伴わないコスト		
減価償却相当額…③		10,109,527
III.総括		
コストの部合計(①+③)…④		115,402,517
トータルコスト		(トータルコスト)
収支差額(④-②)		114,788,231

トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4) まとめ

- 本施設は平成23年度の建設で、耐震性能等に問題はありません。運営は、指定管理者制度を導入しています。
- 年間利用状況は、約7万2,000人となっています。部屋別で見ると、多目的スペースの稼働率が全体の約87%を占めています。
- 年間コストは約1億2,000万円で、施設にかかるコスト（改修費、光熱水費等）は約1,200万円、事業運営にかかるコスト（負担金、補助及び交付金等）が約1,600万円、指定管理料が約8,800万円となっています。

（7）その他集会施設

1）施設概要

① 設置目的等

本市では、土地区画整理事業完成時には地域のコミュニティ施設として記念会館を建設しています。東小林記念会館も土地区画整理事業に伴い流入した地域住民の集会施設として設置され、活用しています。

運営は、周辺の地域住民により行われており、利用者がある場合に鍵の開閉を地域住民が行っています。



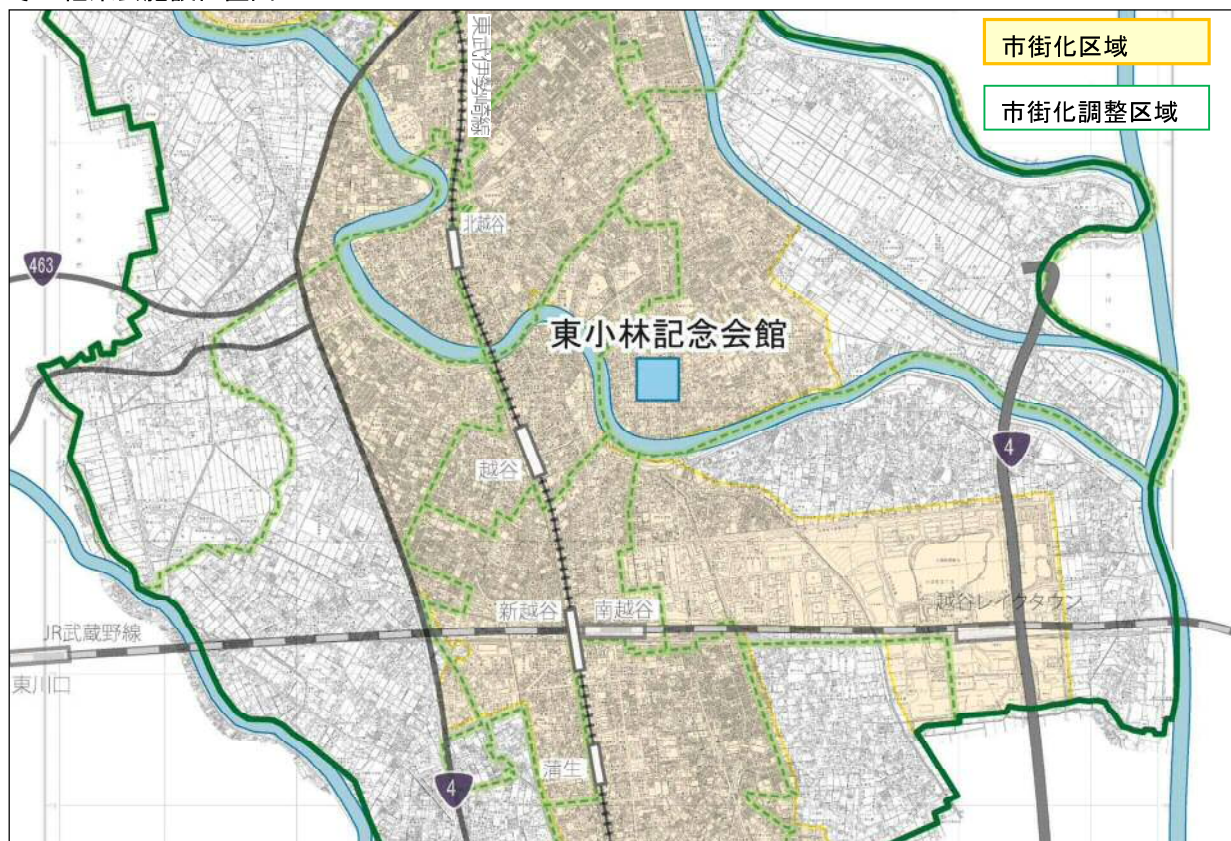
東小林記念会館

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
東小林記念会館	東越谷三丁目10番地7	426.60	昭和45	鉄筋コンクリート造	

② 配置状況

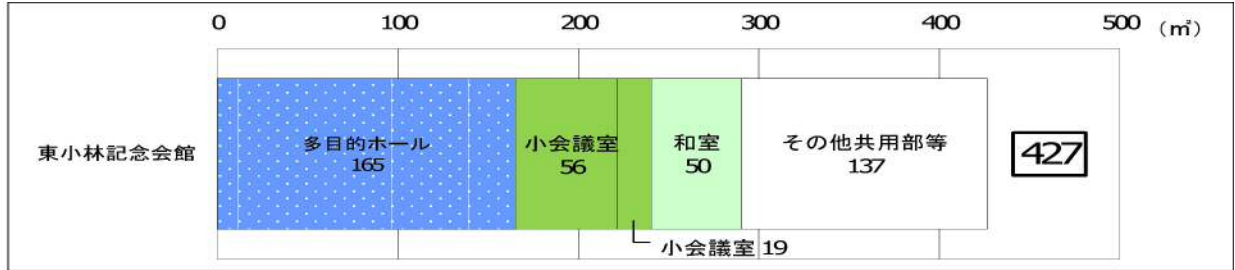
その他集会施設位置図



③ スペース構成

本施設は、多目的ホールを中心としたスペース構成です。その他に小会議室や和室といった活動できるスペースがあります。

スペース構成



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 東小林記念会館のスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応				
	建築年度	延床面積 (m ²)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
東小林記念会館	昭和45	427	未実施	43		43	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

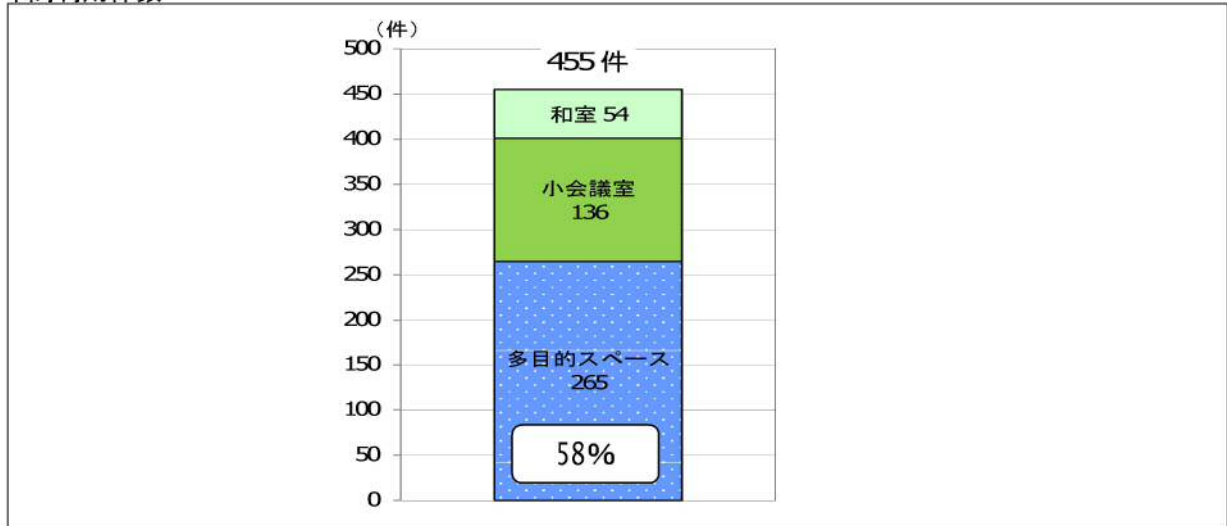
記載例	実施済み	○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施	×	
	不要	—	

本施設は、昭和56年以前に建設された旧耐震基準の建物で築40年以上が経過しています。また、バリアフリーや環境対応も未整備となっています。

② 利用状況

本施設の平成24年度の年間利用件数は約450件となっています。部屋別の内訳をみると、多目的ホールが58%を占めています。

年間利用件数



3) コスト状況

本施設の年間トータルコストは、約92万円です。

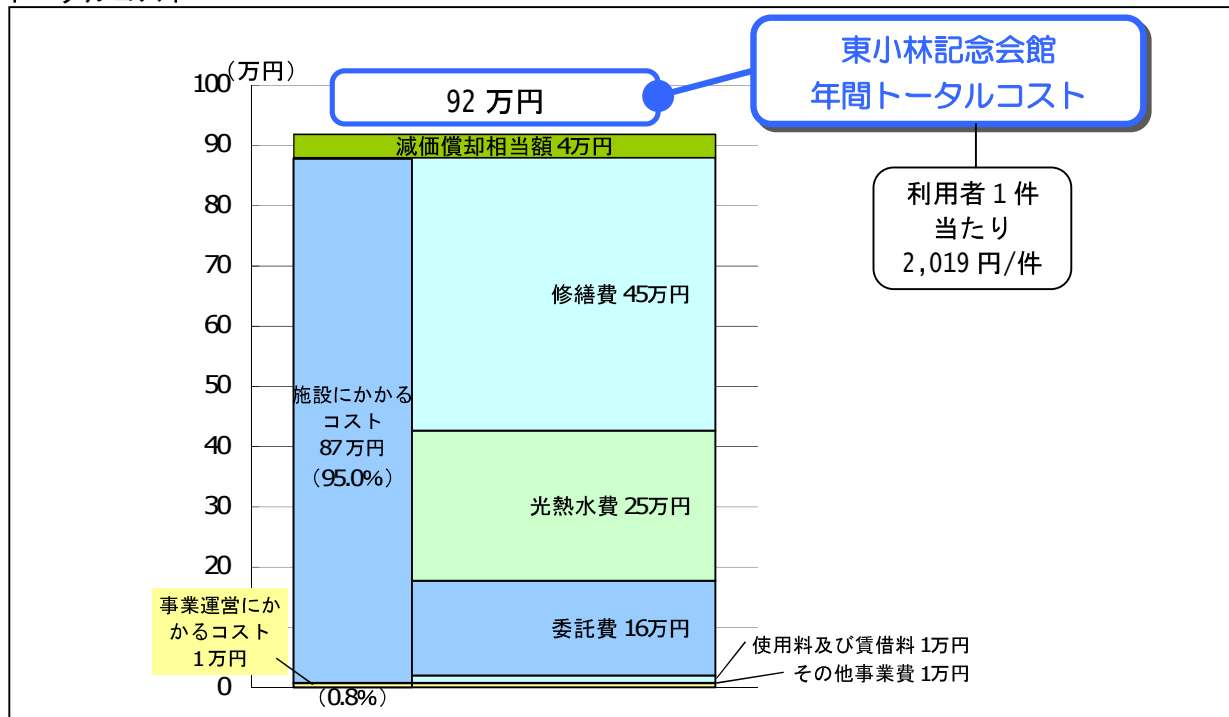
年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約87万円、事業運営にかかるコスト（その他事業費）が約1万円、減価償却相当額が約4万円となっています。

利用1件当たりにかかるコストは、約2,000円となっています。

行政コスト計算書

		(円)
I.現金収支を伴うもの		東小林記念会館
【コストの部】		
施設 コスト にか か る	修繕費	453,600
	光熱水費	249,162
	委託費	157,500
	使用料及び賃借料	12,600
	施設にかかるコスト計…A	872,862
事業運営 にか か る コ ス ト	その他事業費	7,257
	事業運営にかかるコスト計…B	7,257
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		880,119
【収入の部】		
収入合計…②		0
II.現金収支を伴わないコスト		
減価償却相当額…③		38,472
III.総括		
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		918,591
収支差額(④-②)		918,591

トータルコスト



4) まとめ

- 本施設は旧耐震基準の施設であり、耐震改修工事未実施のうえバリアフリー対応等も未整備となっています。築後40年以上が経過し老朽化も顕著となっています。
- 本施設は、普通財産として、地域の自治会連合会に貸し付けているものです。年間利用件数は、約450件となっています。
- 老朽化及び耐震性の状況からみて、今後の活用については地元住民の意見も十分踏まえて、検討する必要があります。

（8）少年自然の家

1）施設概要

① 設置目的等

あだたら高原少年自然の家は自然のなかで子どもたちが集団生活や自主活動を通じて、豊かな情操とたくましい心身を育むための社会教育施設として福島県二本松市のあだたら高原に設置しました。

なお、一般の方でも利用できるため、生涯学習施設としての性質も備えています。



あだたら高原少年自然の家

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
あだたら高原少年自然の家	福島県二本松市大字永田字長坂 国有林14林班あ2小班	4,528.04	昭和56	鉄筋コンクリート造	

② 開所時間・休所日・開所日数

施設名	開所時間	休所日	開所日数
あだたら高原少年自然の家	入所時間：午後3時～午後5時 退所時間：午前8時30分～午前10時	火曜日（ただし、その日が国民の祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）	309日

③ 事業内容

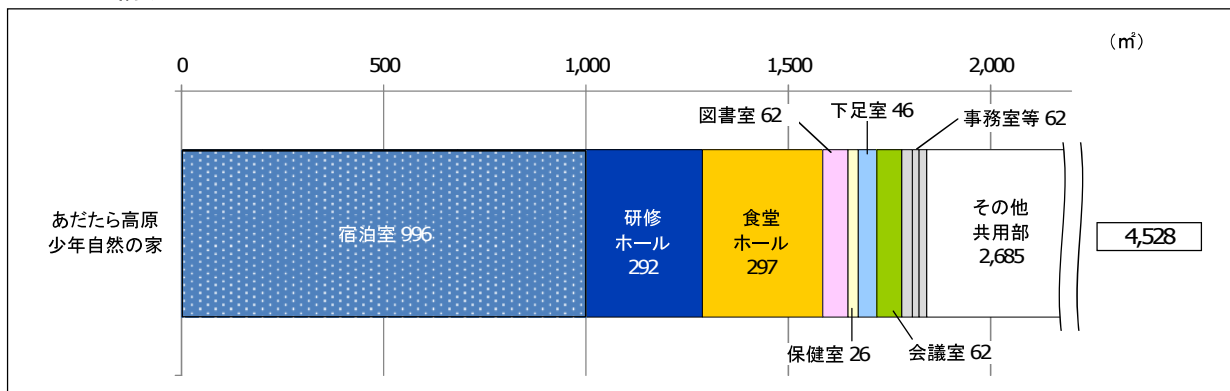
本施設では、市内の小中学生等の集団宿泊訓練の場であると共に、野外観察、自然探究等その他自然に親しむ学習活動の場、体育、レクリエーション及び野外活動の場となっています。

運営は市の職員による直営（一部業務委託）で行っています。

④ スペース構成

本施設は、社会教育施設として、宿泊室、研修ホール、食堂ホール、図書室、保健室、下足室、会議室、事務室等、その他共用部で構成されています。

スペース構成



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 少年自然の家のスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応			
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
あだたら高原少年自然の家	昭和56	4,528	一部未実施	32	平成24	1	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×

記載例	実施済み	○
	未実施	×
	不要	—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

本施設は、平成24年度に大規模改修を行っていますが、耐震安全性の確保がされていないことから、一部耐震化対策が必要な施設となっています。

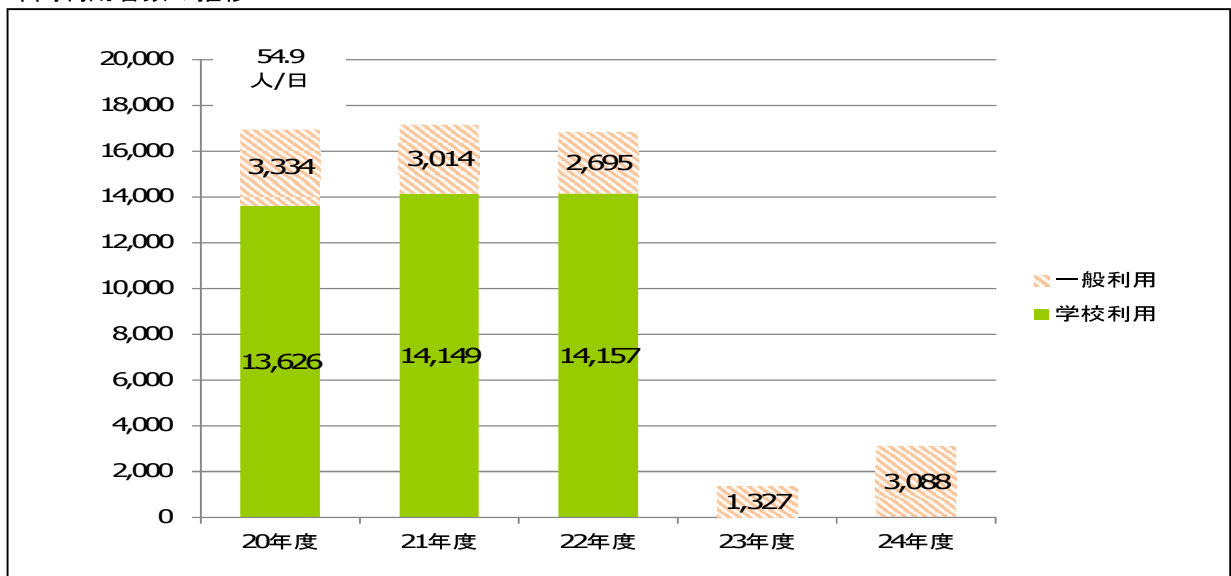
また、バリアフリーの一部や環境対応も完了していません。

② 利用状況

本施設は、市の社会教育施設として、学校施設の林間学校やスキー教室等で利用されていましたが、平成22年度の東日本大震災以降、学校施設の利用を休止しています。

平成24年度の利用者数は、年間約3,100人（1日当たり約10人）です。

年間利用者数の推移



3) コスト状況

■ トータルコスト

本施設の年間トータルコストは、約1億1,000万円です。

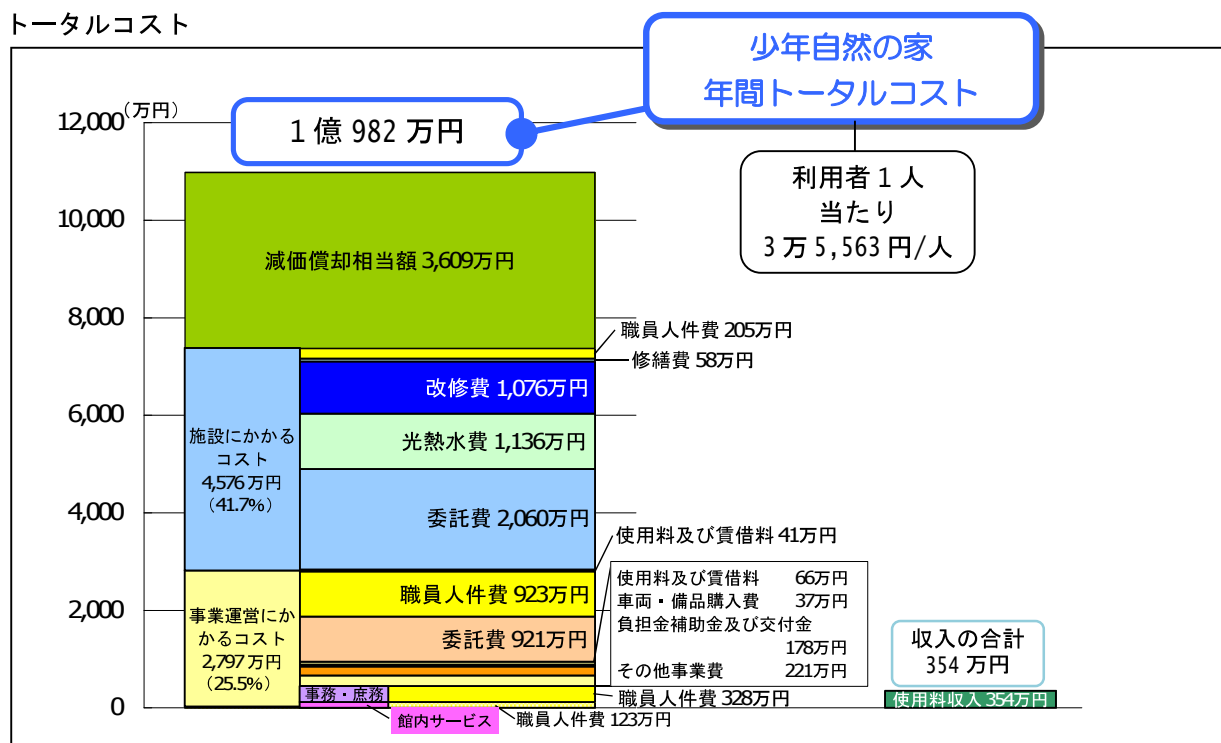
年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約4,600万円、事業運営にかかるコスト（人件費・その他事業費等）は約2,800万円、減価償却相当額が約3,600万円となっています。

利用者の使用料収入は約350万円で、トータルコストに対する使用料収入の割合である受益者負担率は32%です。

行政コスト計算書 (円)

		あだたら高原 少年自然の家	
I.現金収支を伴うもの 【コストの部】			
施設にかかる コスト	職員人件費	2,050,000	
	修繕費	582,899	
	改修費	10,762,500	
	光熱水費	11,357,183	
	委託費	20,598,900	
	使用料及び賃借料	406,500	
	施設にかかるコスト計…A	45,757,982	
	事業運営にかかるコスト	職員人件費	9,226,550
委託費		9,208,500	
使用料及び賃借料		663,475	
車両・備品購入費		367,500	
負担金補助及び交付金		1,783,400	
その他事業費		2,213,538	
小計…(ア)		23,462,963	
事務・ 庶務		職員人件費	3,280,000
小計…(イ)		3,280,000	
サイ ビス 館内		職員人件費	1,230,000
小計…(ウ)	1,230,000		
事業運営にかかるコスト計 (ア+イ+ウ)…B	27,972,963		
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①	73,730,945		
【収入の部】			
収入	使用料収入	3,537,150	
	収入合計…②	3,537,150	
II.現金収支を伴わないコスト			
減価償却相当額…③		36,086,176	
III.総括			
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		109,817,121	
収支差額(④-②)		106,279,971	

トータルコスト



4) まとめ

- 本施設は、旧耐震基準の施設で耐震改修工事一部が未実施のうえバリアフリー対応等も一部未整備となっています。また、築後30年以上が経過し老朽化が顕著となっています。運営は直営で行われています。
- 年間利用状況は、平成22年度の東日本大震災以降、学校利用を休止しているため約3,100人となっており、震災前と比べて約5分の1となっています。
- 年間コストは約1億1,000万円で、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約4,600万円、事業運営にかかるコスト（人件費・その他事業費等）は約2,800万円、となっています。利用者の使用料収入は約350万円で、受益者負担率は3.2%です。

（9）その他社会教育施設

1）施設概要

① 設置目的等

大間野町旧中村家住宅は江戸時代に旧大間野村（現越谷市大間野町周辺）の名主を勤めた中村氏の旧宅で、平成9年に越谷市が寄贈を受け、建築当初の姿に復元し平成16年から一般公開をはじめました。



大間野町旧中村家住宅

敷地内には築百年を超える長屋門、式台付き玄関を持つ主屋、米などを保存していた石蔵、白壁の土蔵の4棟が建築当初（明治時代等）の姿で復元されており、生涯学習や学校教育における地域学習などに利用されています。

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
大間野町旧中村家住宅	大間野町一丁目100番地4	330.54	大正3	木造	主屋

② 開館時間・休館日

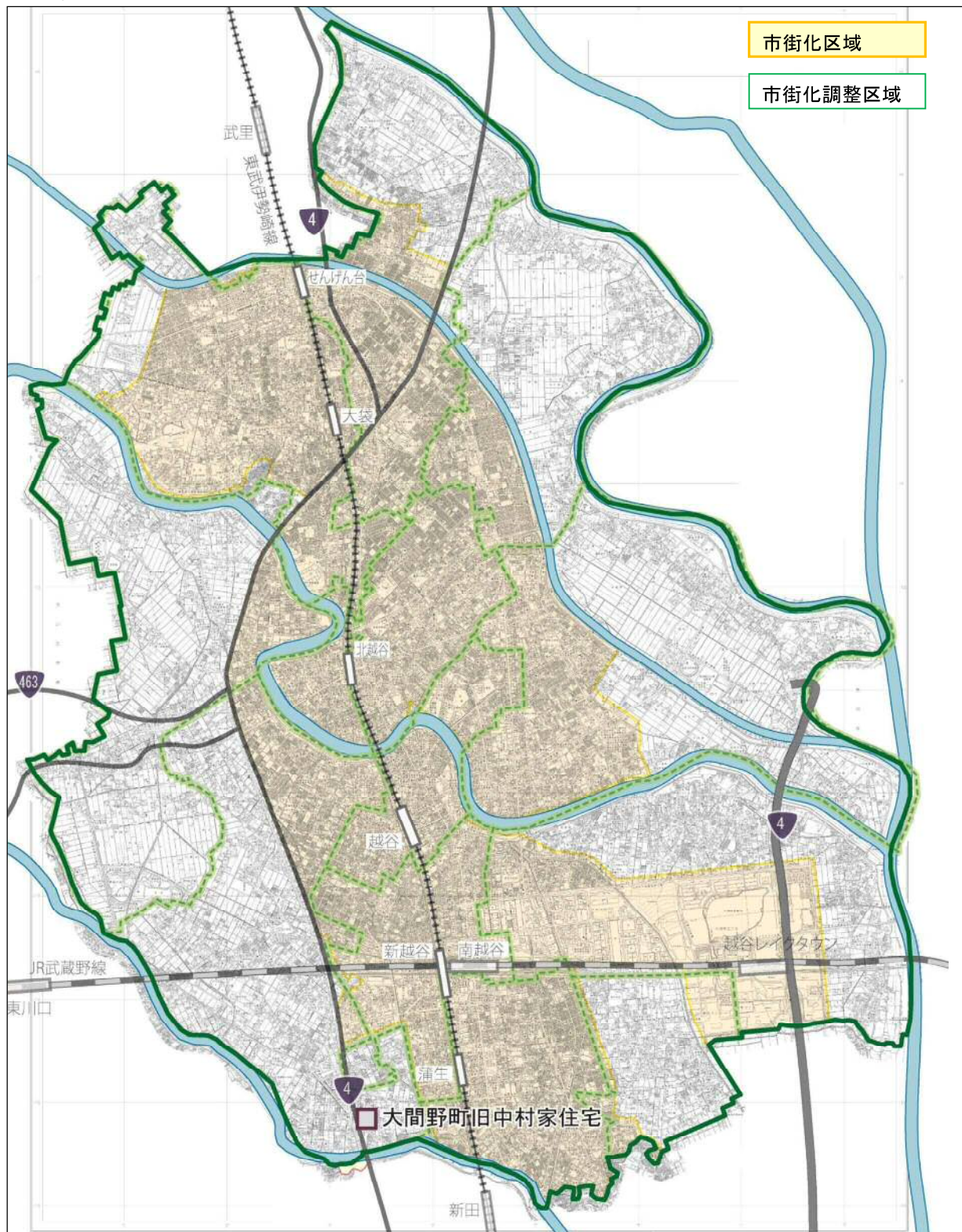
施設名	開館時間	休館日
大間野町旧中村家住宅	午前9時～午後4時30分	毎週月曜日（祝日の場合は、その翌日）、 年末年始（12月29日～1月3日）

③ 事業内容

本施設は、市の職員による直営で行われており、施設の観覧のほか、江戸時代の棟札や民具類等を展示しています。また、小学生などの社会化見学や体験学習の場としても利用されています。

④ 配置状況

大間野町旧中村家住宅位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 大間野町旧中村家住宅のスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応			
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等
大間野町旧中村家住宅	大正3	331	不要	100		100	—	○	×	×	×	×	×	—	—	—

記載例	実施済み : ○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施 : ×	
	不要 : —	

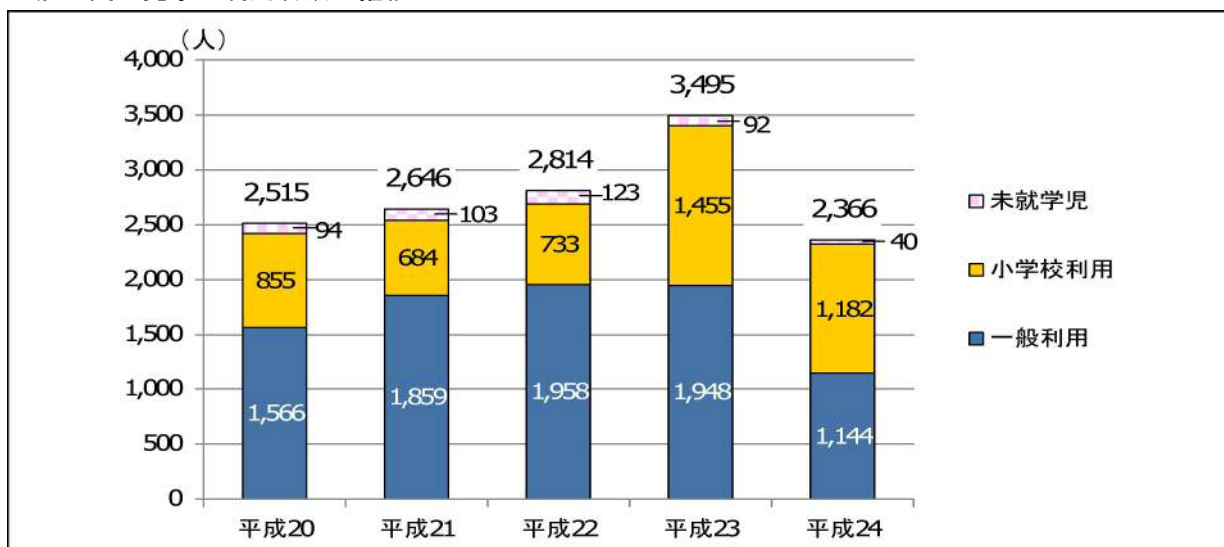
本施設は、大正3年に建てられた歴史的建造物であることから、耐震改修を行うことは困難な施設です。今後も老朽化の進行に対し計画的に修繕を行うことが必要となっています。

② 利用状況

本施設は、一般公開・見学を行っている他、主催・共催事業の開催、小学校の見学会等を行っています。

一般公開・見学の年間利用者数の推移をみると、平成23年度までは増加傾向となっていました。平成24年度は台風の影響及びインフルエンザの流行により約2,400人と減少しています。

一般公開・見学の利用者数の推移



3) コスト状況

本施設の年間トータルコストは、約1,500万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約140万円、事業運営にかかるコスト（人件費・その他事業費）は約660万円、減価償却相当額は約680万円となっています。

行政コスト計算書

(円)

I.現金収支を伴うもの 【コストの部】		大間野町旧 中村家住宅
施設にか か る コ ス ト	修繕費	283,500
	光熱水費	121,212
	委託費	938,343
	使用料及び賃借料	79,569
	施設にかかるコスト計…A	1,422,624
事業運 営に か か る コ ス ト	職員人件費	6,286,268
	その他事業費	279,986
	事業運営にかかるコスト計 …B	6,566,254
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		7,988,878

【収入の部】

収入	入場料収入	69,850
	諸収入	0
	収入合計…②	69,850

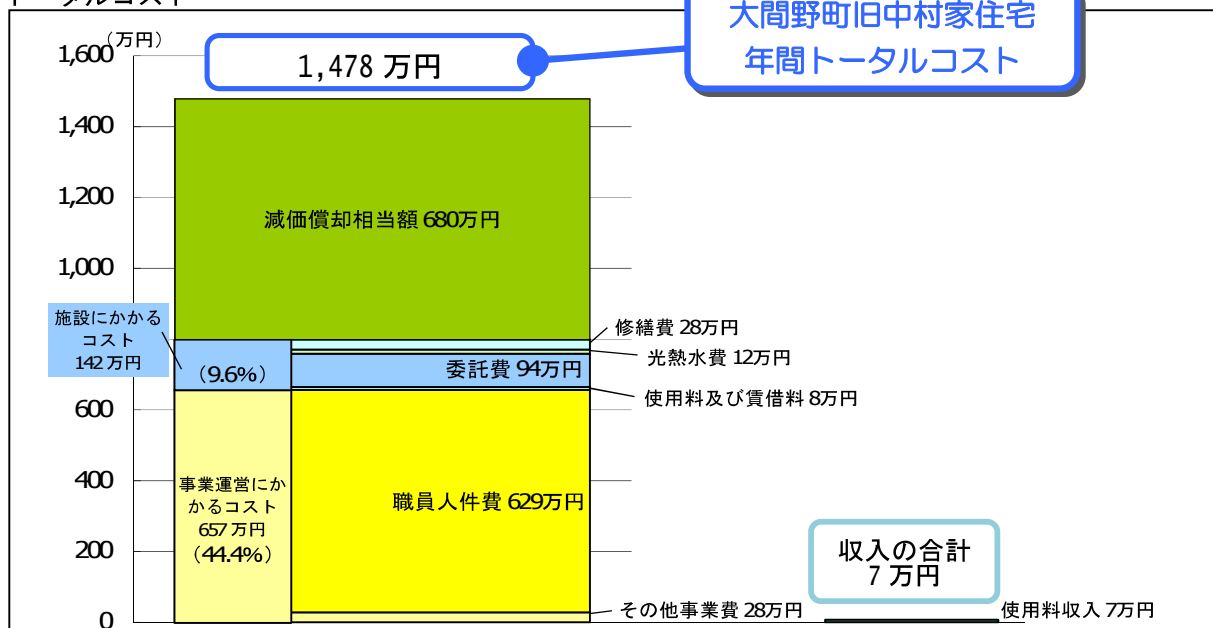
II.現金収支を伴わないコスト

減価償却相当額…③	6,795,676
-----------	-----------

III.総括

コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)	14,784,554
収支差額(④-②)	14,714,704

トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4) まとめ

- 本施設は歴史上価値の高い施設で築後100年近く経過しています。耐震改修を行うことは施設の性質上困難ですが、一定の耐震性は確認されています。運営は、市の直営で行われており、過去5年間の平均利用状況は約2,800人となっています。
- 年間コストは約1,500万円となっており、施設にかかるコスト（修繕費、光熱水費・委託費等）は約140万円、事業運営にかかるコスト（人件費・その他事業費）は約660万円、となっています。
- 本施設は、社会教育の一環として市民文化の向上に資する施設ですが、施設整備状況及び現状の利用状況等から費用対効果を斟酌すれば、運営手法の見直しや民間活力の導入等について検討する必要があります。

（10）図書館・図書室

1）施設概要

① 設置目的等

本市の図書館は、昭和28年に越ヶ谷小学校内に町立図書館が設置されたのが始まりで、福祉会館への移設を経て、「くらしの中に図書館を」をスローガンに、市民の生涯学習の拠点施設として現在の市立図書館が整備されました。

その後、より利用しやすく、きめの細かい図書館サービスを目指し、地域に密着した図書室が市の北部、南部、中央の順に設置されました。なお、市立図書館以外の各図書室は、他の施設内に併設された複合施設となっています。



市立図書館

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	複合・併設施設の状況	備考
1 市立図書館	東越谷四丁目9番地1	3,235.03	昭和57	鉄筋コンクリート造		
2 北部市民会館図書室	大字恩間181番地1	314.87	昭和63	鉄筋コンクリート造	<ul style="list-style-type: none"> ・北部市民会館図書室: 315㎡ ・北部市民会館: 2,623㎡ ・北部出張所: 182㎡ 	
3 南部図書室	南越谷一丁目2876番地1	689.25	昭和54	鉄骨鉄筋 コンクリート造		借上げ 施設
4 市民活動支援センター 中央図書室	弥生町16番1号	788.27	平成23	鉄骨造	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援センター中央図書室: 788㎡ ・市民活動支援センター: 1,032㎡ ・パスポートセンター: 232㎡ 	
合計		5,027.42				

※南部図書室は平成26年9月に、サンシティショッピングセンターの6階へ移設。（面積2,302.17㎡）

② 事業内容

各施設間の連携をとりながら、サービスの充実に努めており、市立図書館では、貸出業務のほかに、子ども・親子向け行事や、講座・講演会、映画会といった活動も行っています。

また、2台の移動図書館「しらこぼと号」が市内32か所を巡回し、本の貸出サービス等を行っています。

運営は、市立図書館のみが直営で行われており、各図書室は指定管理者制度を導入し、指定管理者により行われています。

③ 開館(室)時間等

施設名	開館(室)時間	休館(室)日
市立図書館	火曜日～金曜日： 午前10時～午後7時 土曜・日曜日、祝日： 午前9時30分～午後5時	月曜日、振替休日等、年末年始、 館内整理日、特別整理期間
北部市民会館 図書室	午前9時00分～午後9時30分	毎月第2・第4月曜日、年末年始、 室内整理日、特別整理期間
南部図書室	月曜日～金曜日： 午前10時～午後9時 土曜・日曜日、祝日： 午前9時30分～午後9時	6月・9月・12月・3月の第2月曜日、 年末年始、室内整理日、特別整理期間
市民活動支援 センター 中央図書室	午前9時30分～午後9時30分	6月・9月・12月・3月の第2月曜日、 年末年始、室内整理日、特別整理期間

④ 利用方法

図書館(室)での資料閲覧サービスは、誰でも利用できます。ただし、貸出などのサービスを利用するためには、あらかじめ利用券の交付を受ける必要があります。利用券は、市内の全ての図書館(室)で無料で発行しています。

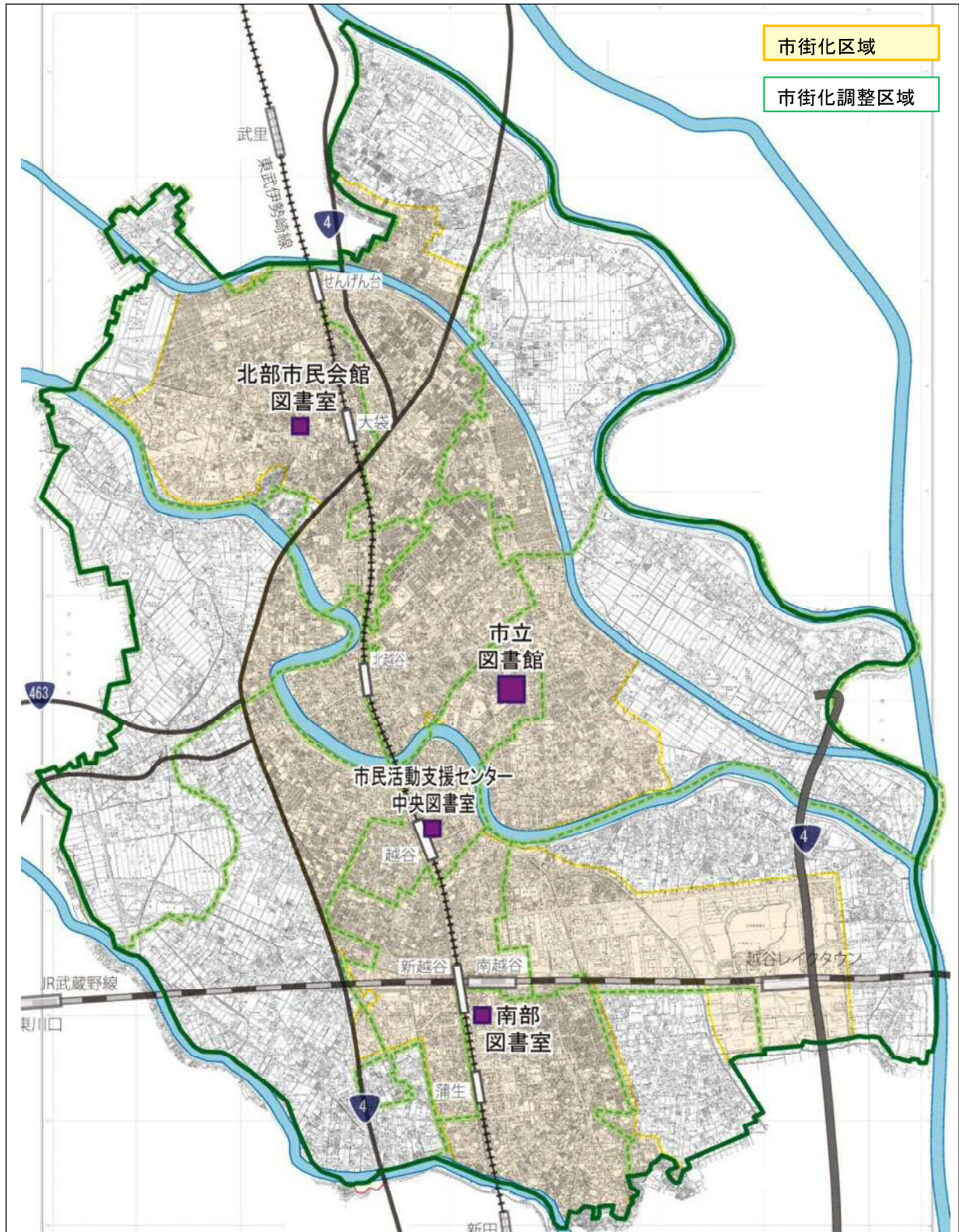
利用券の発行は、下記のいずれかの条件を満たす方が対象です。

- ・ 5市1町(越谷市、草加市、三郷市、八潮市、吉川市、松伏町)、川口市、春日部市に在住している
- ・ 越谷市に通勤または通学している

⑤ 配置状況

市立図書館を中心に、北部・南部・中央のサービス拠点として、利便性のよい場所に各図書室が設置されています。

図書館・図書室位置図



⑥ 資料数

平成24年度末の市立図書館及び各図書室等の資料数は、約58万点となっています。内訳をみると、一般書が約40万冊と全体の約68%を占めており、児童書は約18万冊（約31%）で、一般書と児童書が全体の約99%を占めています。そのほかに、視聴覚資料が約5,000点あります。

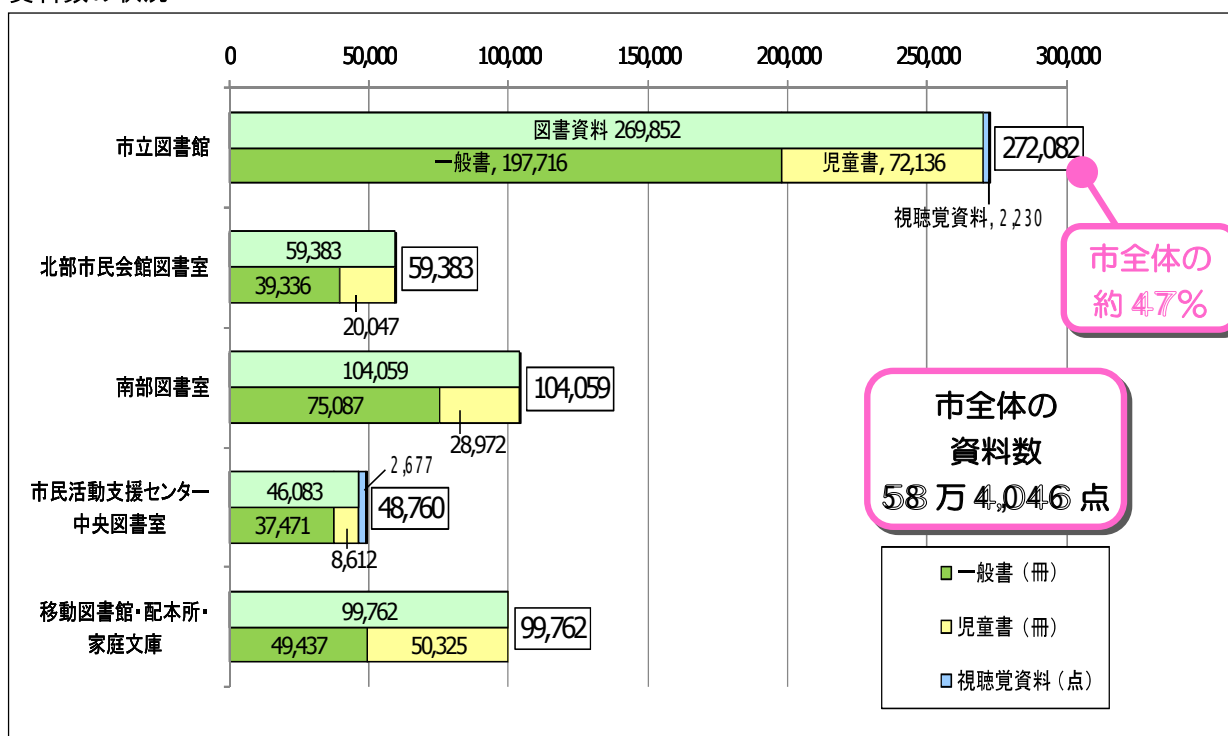
施設別にみると、市立図書館が約27万2,000点と市全体の約47%を占めています。移動図書館・配本所・家庭文庫の資料数は、約10万冊となっています。

資料数の一覧

（単位：冊・点）

	一般書	児童書	視聴覚資料	合計
市立図書館	197,716	72,136	2,230	272,082
北部市民会館図書室	39,336	20,047	0	59,383
南部図書室	75,087	28,972	0	104,059
市民活動支援センター 中央図書室	37,471	8,612	2,677	48,760
移動図書館・配本所・ 家庭文庫	49,437	50,325	0	99,762
合計	399,047	180,092	4,907	584,046
構成比	68.3%	30.9%	0.8%	

資料数の状況



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 図書館・図書室のスペック情報

スペック一覧

No.	施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応						環境対応			
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等
1	市立図書館	昭和57	3,235	不要	31	実施中	—	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
2	北部市民会館図書室	昭和63	315	不要	25	平成22	3	×	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—
3	市民活動支援センター中央図書室	平成23	788	不要	2		2	—	○	—	○	○	○	○	—	—	—	—
合計			4,338															

※南部図書室は借上施設のため評価しない。

記載例	実施済み	○
	未実施	×
	不要	—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

市立図書館は、建設から30年が経過しており、計画的な老朽化対策が必要です。また、アスベストの除去が未完了となっています。バリアフリーへの対応はできていますが、環境対応が未整備になっています。

図書室については、複合施設であり、建物の性能上の大きな問題はありません。

② 利用状況

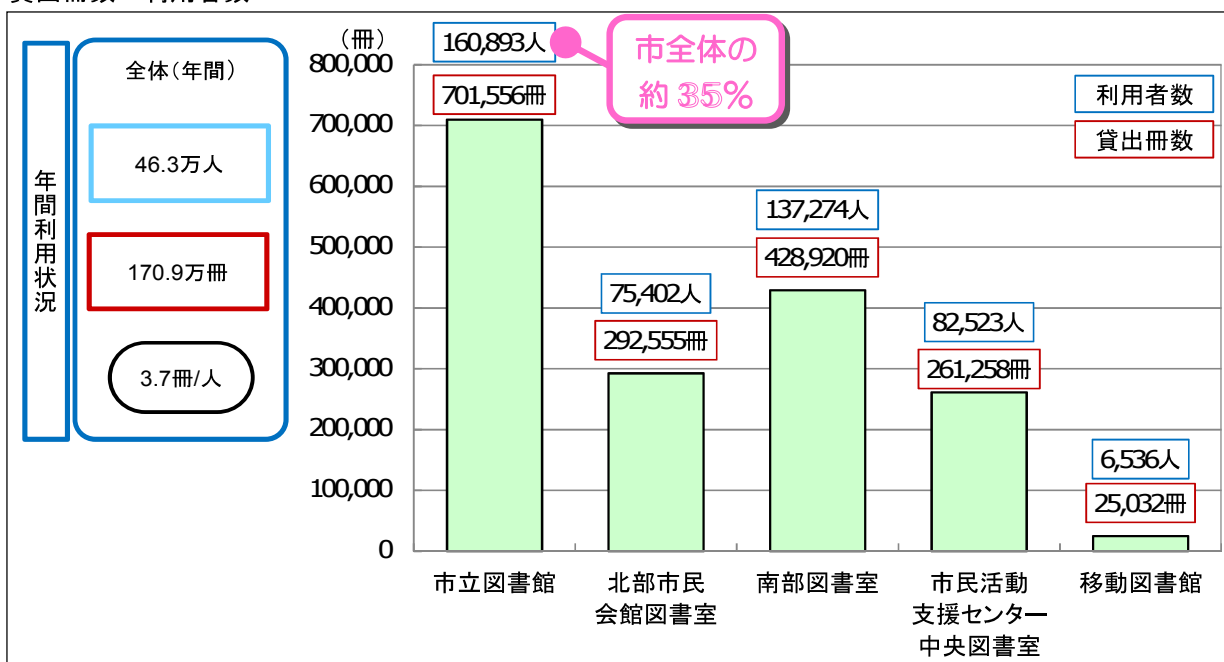
■ 貸出冊数・利用者数等（平成24年度）

年間の貸出冊数は約170万冊で、年間の利用者数は約46万人となっています。

施設別にみると、市立図書館の貸出冊数は約70万冊で、市全体の約41%を占め、利用者数は約16万人と市全体の約35%を占めています。

市立図書館の主催事業として、おはなし会は、市立図書館・北部市民会館図書室・市民活動支援センター中央図書室で行っており、児童文学講座や、郷土歴史講座、日本古典文学鑑賞講座等は、市立図書館で行っています。

貸出冊数・利用者数



※団体貸出、視聴覚資料の貸出を除く。
 ※利用者数には、視聴覚資料のみの利用者も含む。

主催事業参加者数

(単位: 人)

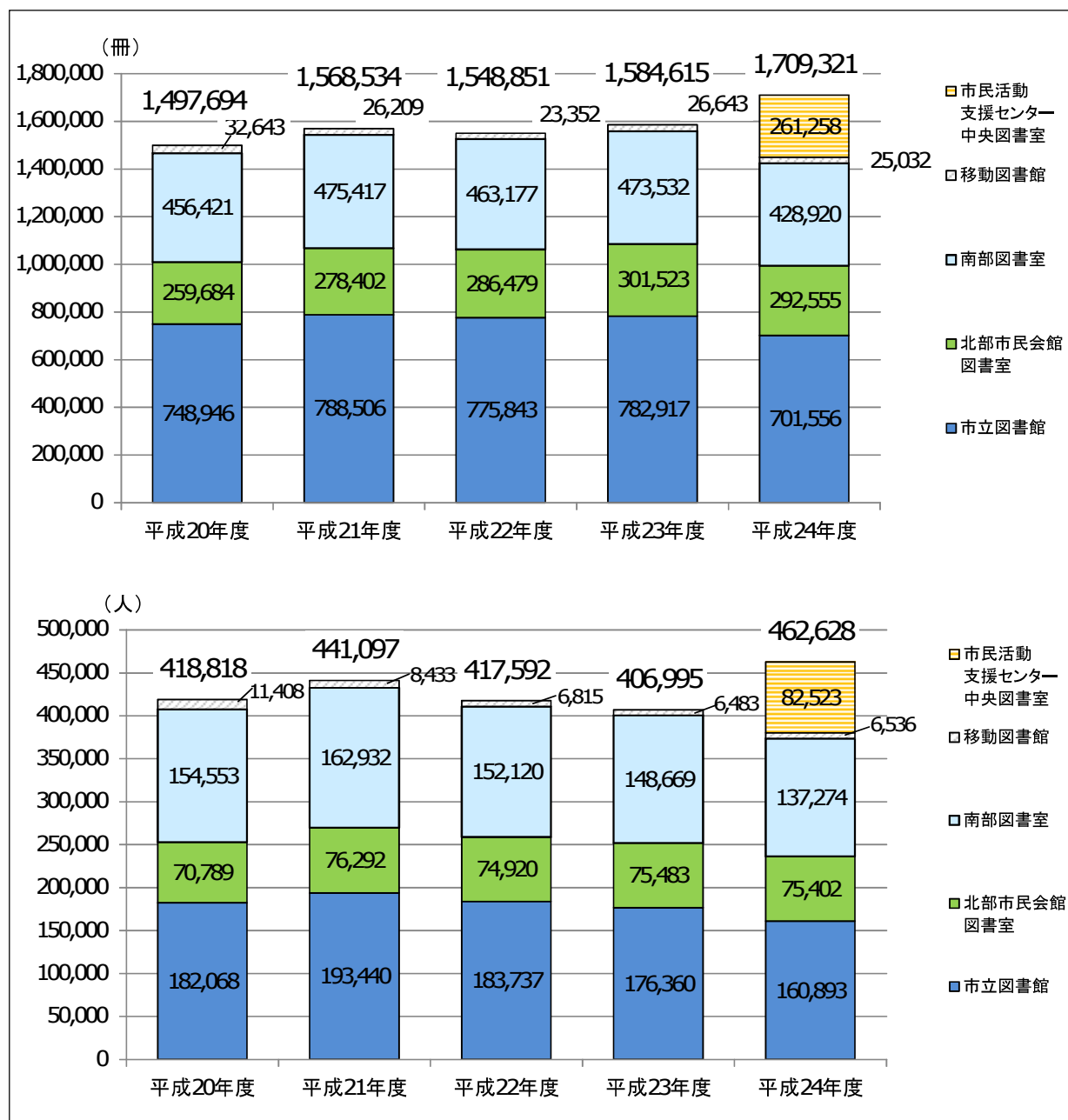
区分	市立図書館	北部市民会館図書室	南部図書室	市民活動支援センター中央図書室	移動図書館
映画会	702	—	—	—	—
おはなし会	478	64	—	44	—
うさこちゃんのおへや	367	—	—	—	—
ちびうさちゃんのおへや	291	—	—	—	—
夏の子ども会	87	—	—	—	—
児童文学講座	194	—	—	—	—
児童文学講演会	108	—	—	—	—
図書館見学	448	—	—	—	—
市民読書会	130	—	—	—	—
図書館ボランティア講座	90	—	—	—	—
郷土歴史講座	160	—	—	—	—
日本古典文学鑑賞講座	462	—	—	—	—
音訳者講習会	50	—	—	—	—
障がい者用録音資料作製講習会	54	—	—	—	—
野口富士男文庫講演会	210	—	—	—	—

■ 貸出冊数・利用者数の推移

貸出冊数の推移をみると、平成20年度の約150万冊から平成23年度の約160万冊までは微増傾向となっており、平成24年度は市民活動支援センター中央図書室の開室に伴い、約170万冊に増加しています。

また、利用者数は、平成21年度の約44万人から平成23年度の約41万人まで微減傾向となっていました。平成24年度は、中央図書室の開室もあり、約46万人に増加しています。

貸出冊数・利用者数の推移

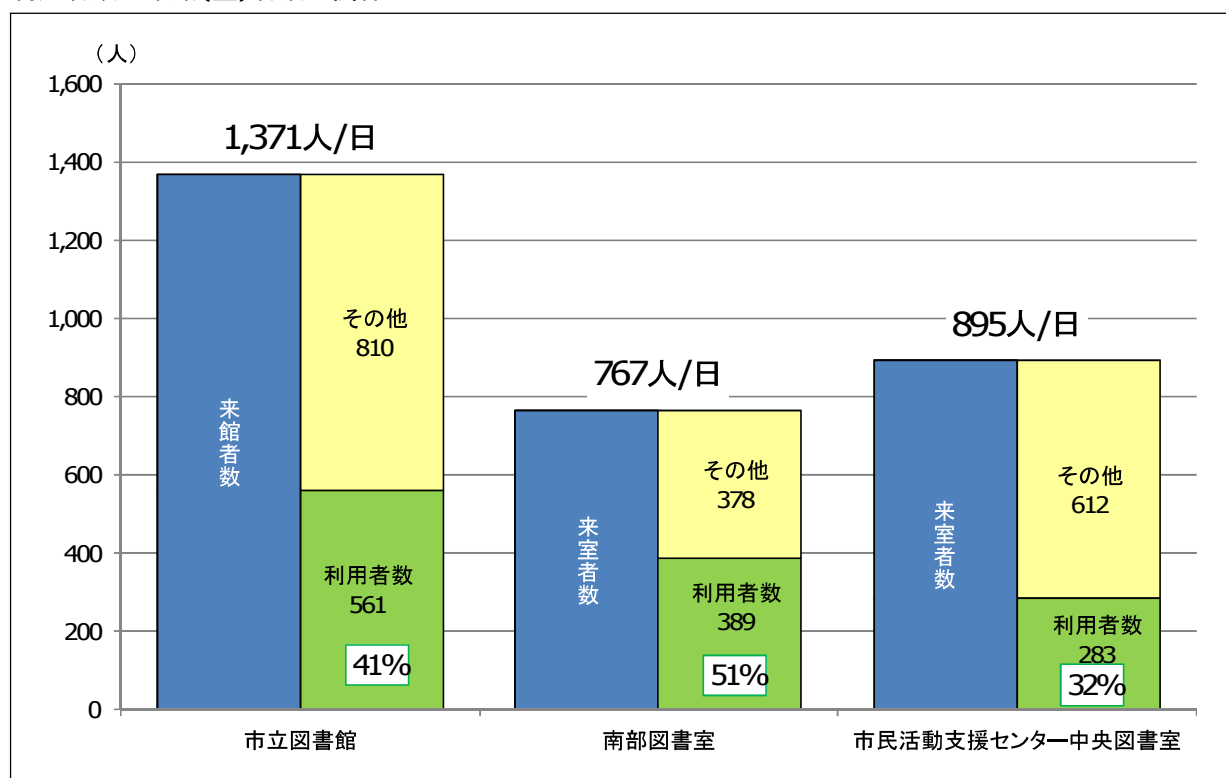


※団体貸出、視聴覚資料の貸出を除く。
 ※利用者数は、視聴覚資料のみの利用者も含む。

■ 利用者数と来館(室)者数の関係（平成24年度）

各施設の1日当たりの来館(室)者数は、市立図書館が約1,400人、南部図書室が約800人、市民活動支援センター中央図書室が約900人で、来館(室)者数に対する利用者数の割合は32%から51%となっています。

利用者数と来館(室)者数の関係



※北部市民会館図書室は来室者数カウンター未設置。

3) コスト状況(市立図書館・平成24年度)

市立図書館の年間トータルコストは、約3億6,000万円となっています。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費・光熱水費・委託費等）は約5,500万円、事業運営にかかるコスト（職員人件費・図書購入費等）は約2億8,000万円、減価償却相当額が約2,600万円となっています。

市立図書館行政コスト計算書

		(円)	
I.現金収支を伴うもの【コストの部】		市立図書館	
施設にかかるコスト	職員人件費	9,840,000	
	修繕費	3,497,025	
	改修費	13,142,850	
	光熱水費	11,741,567	
	委託費	16,042,920	
	使用料及び賃借料	243,705	
	施設にかかるコスト計…A	54,508,067	
事業運営にかかるコスト	委員報酬	2,634,474	
	報償費等	1,135,490	
	修繕費	85,575	
	委託費	37,529,168	
	使用料及び賃借料	800,415	
	図書購入費等	52,959,205	
	その他事業費	6,040,490	
	小計…(ア)	101,184,817	
	窓口・受付	職員人件費	50,019,444
	小計…(イ)	50,019,444	
事務・庶務	職員人件費	84,230,989	
	小計…(ウ)	84,230,989	
サービスクラス	職員人件費	44,810,341	
	小計…(エ)	44,810,341	
事業運営にかかるコスト計(ア+イ+ウ+エ)…B		280,245,591	
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		334,753,658	
【収入の部】			
収入	諸収入	399,770	
	収入合計…②	399,770	
II.現金収支を伴わないコスト			
減価償却相当額…③		25,659,648	
III.総括			
コストの部合計(①+③)…④(トータルコスト)		360,413,306	
収支差額(④-②)		360,013,536	

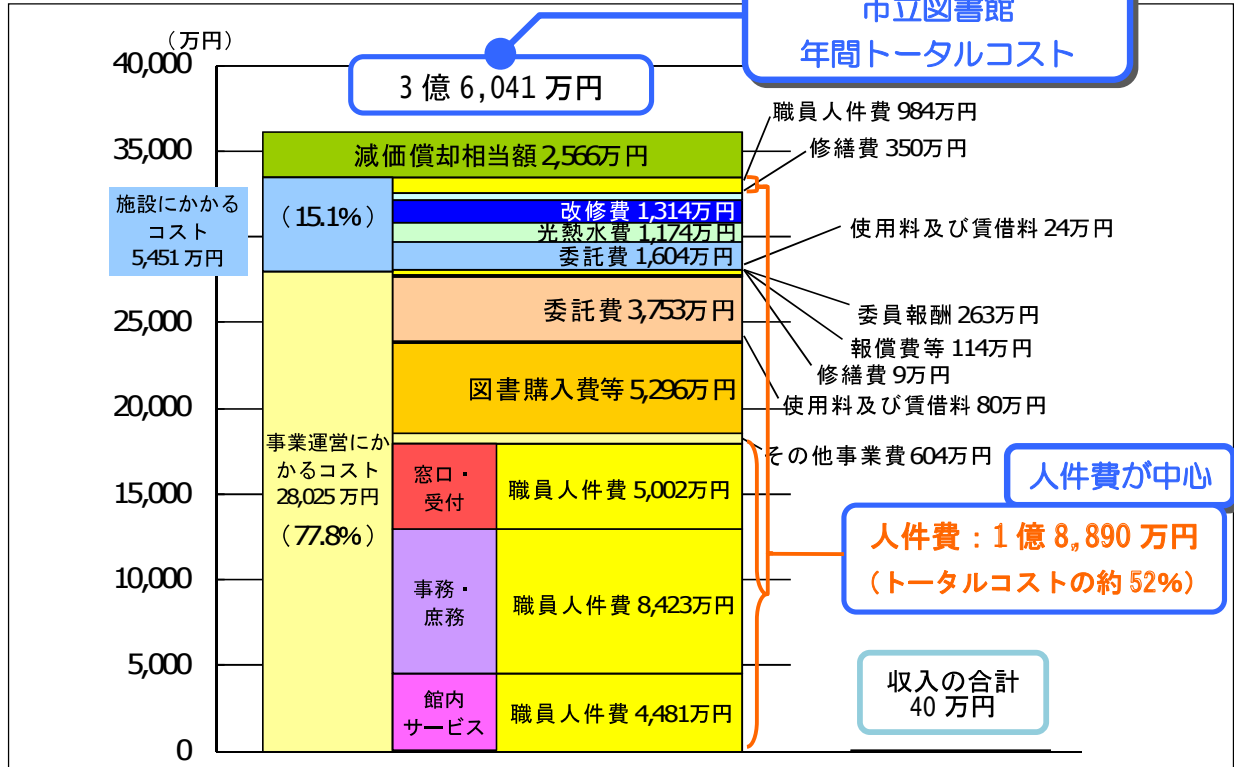
※図書館システムにかかる費用や図書購入費等は、各図書室・移動図書館のものも市立図書館に含まれています。

〈参考〉その他事業の行政コスト計算書

		(円)	
I.現金収支を伴うもの【コストの部】		移動図書館・配本所・家庭文庫	
施設にかかるコスト	修繕費	144,236	
	光熱水費	339,131	
	施設にかかるコスト計…A	483,367	
事業運営にかかるコスト	事業運営	その他事業費	122,840
	小計…(ア)	122,840	
	サービスクラス	職員人件費	13,238,067
		小計…(イ)	13,238,067
事業運営にかかるコスト計(ア+イ)…B		13,360,907	
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		13,844,274	
II.現金収支を伴わないコスト			
減価償却相当額…③		0	
III.総括			
コストの部合計(①+③)…④(トータルコスト)		13,844,274	
収支差額(④-②)		13,844,274	

市立図書館の年間トータルコストのうち、人件費が約1億9,000万円と全体の約52%を占めています。

市立図書館トータルコスト



※各図書室は、他の施設に設置された複合施設であり、運営も指定管理者制度による複合施設の一括運営となっているため、市立図書館のコストの算出には含めておりません。なお、図書館システムにかかる費用や図書購入費等は、各図書室・移動図書館のものも市立図書館に含まれています。

※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4) まとめ

- ・市立図書館(本館)は、直近で大規模改修工事を順次実施していますが、建設から30年が経過しており、引き続き、老朽化対策に向けた計画的な改修工事及び修繕が必要です。
- ・運営は、市立図書館(本館)は直営で行われています。一方、3つの図書室は北部市民会館、越谷コミュニティセンター、市民活動支援センターの業務になっており、それぞれ指定管理者により運営が行われています。
- ・市立図書館の年間コストは約3億6,000万円で、施設にかかるコスト(修繕費・光熱水費・委託費等)は約5,500万円、事業運営にかかるコスト(人件費・図書購入費等)は約2億8,000万円となっています。